震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト

報告書

2013年4月

Save the Children JAPAN

目　次

はじめに …… 1
小出 拓己 ／ 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　東日本大震災復興支援事業部部長

プロジェクトの概要 …… 2

本プロジェクトのまとめ …… 7
安部 芳絵氏 ／ 早稲田大学文学学術院助教

Ⅰ　インタビューの実施 …… 11

インタビューから見えてきたこと …… 12
南雲 勇多氏 ／ 早稲田大学文学研究科博士後期課程

インタビュー
周りの人たちにも喜ばれて（岩手県山田町） …… 14
支援をしながら「もらったもの」（宮城県大崎市） …… 18
中学生らしいことができた（宮城県東松島市） …… 20
地域って、つながりってすごいな（宮城県仙台市） …… 24
記録を読んで追体験すること（山形県山形市） …… 26
手を差し伸べることで、きっと自分に返ってくることがある（福島県会津若松市） …… 30
「忘れない」ために、私にできること（兵庫県） …… 32
子どもたちが想い・考えを出せる場を（兵庫県） …… 34
阪神淡路大震災の年に生まれて、東日本大震災を支える（兵庫県） …… 38

Ⅱ　投稿紹介 …… 41

岩手県からの投稿 …… 42

宮城県からの投稿 …… 53

福島県からの投稿 …… 78

秋田県・山形県・東京都からの投稿 …… 84

兵庫県からの投稿 …… 87

発行 …… 103

はじめに

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、子どもの権利を基盤とした復興支援を、岩手県、宮城県、福島県で5か年計画に基づいて展開しています。

国際NGO（民間非政府組織）であるセーブ・ザ・チルドレンは、《すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指す》ことをヴィジョンとして掲げています。東日本大震災の復興においても私たちの使命は、被災した子どもたちや保護者が日常性を回復することをサポートし、地域の復興に対して、子どもたちが意見を表明し参加できる社会を、子どもたちとともにつくることにあります。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、この復興支援活動の一つとして、一般財団法人地域創造基金みやぎと協働し「こども☆はぐくみファンド」を立ち上げました。この事業は、地域の方々が子どもを取り巻く復興課題を自ら解決し、子どもの健やかな成長環境の改善を目的とする自発的な市民活動を、助成を通じて支援するものです。これまでに70以上の事業を支援してまいりましたが、本書の編纂事業も「こども☆はぐくみファンド」の一環として進められたものです。

子どもたちは、この未曾有の大災害からの復興過程において、ただ守られるだけの存在でしょうか？震災後、子どもたちはもっぱら“支援される存在”としてとらえられることが多かったように感じます。確かに、震災後の状況においては、子どもの保護への配慮が必要な権利課題が数多く発生することは間違いありません。しかしながら、子どもが声をあげ、社会に参加し、おとなや社会が子どもに寄り添い、声を聴き、子どもたちの声を反映する――そうすることによって、子どもたちは着実にエンパワメントされ、“復興における主体者”となっていくのではないでしょうか。

本書が掲載する震災直後の中高生の姿は、子どもたちが未来だけではなく、まさに“今”を担っていることを私たち大人に語っています。

この「震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト」は、震災直後の状況下で子どもたちが地域において担った役割を風化させてはならない、《記憶から記録へ》という企図のもとにすすめられました。また、行政や教育関係者、企業、地域、保護者等の“子ども観”の醸成、そして、さらなる「子ども参加」についての関心を高め、災害大国である日本の今後の復興のあり方、様々なステークホルダーが地域の一員である子どもたちと一緒に目指すより良い地域づくりについて参考の一助となれば幸いです。

最後に、本書を通じて伝えたい私たちのメッセージは、

「子どもは、私たちおとなの、社会の大切なパートナーです」。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
東日本大震災復興支援事業部
部長　小出　拓己

プロジェクトの概要　～ 記憶から記録へ ～

1. 企画趣旨

a）東日本大震災の発災直後、高台への避難誘導から避難所での困難な生活を余儀なくされていた期間を通じ、各地で大人と共に中学・高校生が懸命にその時期を乗り越えようと頑張っていたという話が言われます。例えば、高齢者の福祉施設からの避難を手伝う高校生、自分の通っていた高校が避難所に様変わりし、教員と共に水や食事を配った高校生、給水車からの水を高齢者に代わって届けてまわった中学生、避難所のなかで年下の子どもと一緒に遊んだ中高生のグループなど、多岐にわたります。

b）その一人ひとりの想いや願い、取組みを広範に記録して多くの方に知って頂くべく、多様な機会を通じて投稿を呼びかけ、冊子にまとめて広く一般に配布します。

c）また同時に、避難所生活を経験した中高生から、避難所生活に必要なものを「避難所であったほうがよかったもの」として意見を集め今後の避難所等における災害備蓄品を検討する上で参考になればと考えています。例えば、画用紙やクレヨンを備蓄品として追加するだけでも、子どもの心理的ストレスの緩和につながる可能性があるなどの視点です。※別表参照

d）大規模災害に留まらず、地域の防災・減災、或いは円滑な避難を実現する上で、昼間の時間帯を中心に地域にいる中学・高校生は大きな役割を果たしうる存在であり、彼らをどのように巻き込み、共に地域を支えられるかどうかは、大変大きな要素になると考えられます。大規模災害時の保護の対象としての子どもと同時に、中高生を中心に過度にならない範囲で子どもが果たしうる役割や期待を整理する参考になれがと考えています。

※本企画は「任意」に中学・高校生に投稿を呼びかけるものであり、投稿するかしないかは個人の判断にゆだねています。学校等を通じた働きかけにおいても、その点を十分に留意しポスターの掲示に留めています。

2. 対象者

a）中学・高校生（小学校高学年や、当時高校生だった人も対象）

① 東北６県（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）に暮らす中学・高校生

② 東北６県以外に居住するが、その期間に東北域内で活動をしていた中学・高校生

b）大人

中学・高校生に助けられた、中学・高校生の働きを実際に見かけた人

3. 告知

a）ポスター約3,000枚、やチラシ約1,000枚を作成し、掲示の協力を依頼　※別表参照

b）東北地区で購読されている新聞社（全国紙、ブロック紙等）やテレビ局・ラジオ局、約100社へプレスリリースを配信

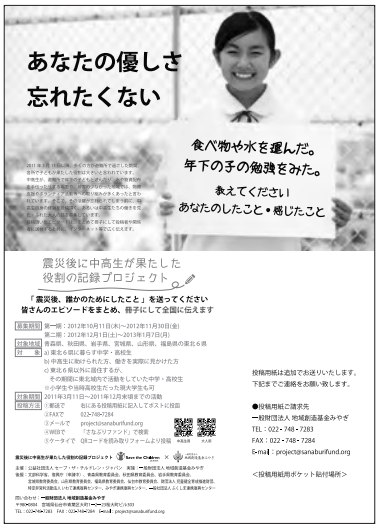
c）その他ウェブサイト等で発信

4. 投稿受付方法

a）郵送、FAX、E メール、インターネット上（PC 版・携帯版）の投稿フォーム

ポスター及び投稿用紙送付先

種　　別		送付箇所
中学校	(岩手・宮城・福島)	791
高等学校	(青森・岩手・秋田・宮城・福島)	445
特別支援学校	(岩手・宮城・福島)	37
短期大学	(岩手・宮城・福島・山形)	6
大学	(岩手・宮城・福島・山形)	29
NPO 等	(岩手・宮城・福島)	208
復興商店街	(岩手・宮城・福島)	6
児童館・クラブ	(岩手・宮城・福島)	297
図書館	(岩手・宮城・福島)	126
施設等	(岩手・宮城・福島)	13
合　計		1958



ポスター

投稿集計結果

投稿数合計：205 通

投稿方法と投稿数

	投稿方法	投稿数
中高生	郵送	147
	ウェブ	9
	計	156
大　人	郵送	43
	ウェブ・メール	6
	計	49

都道府県別

都道府県	中高生	大　人	計
岩　手	22	12	34
宮　城	54	32	86
福　島	19	5	24
秋　田	2		2
山　形	1		1
東　京	1		1
兵　庫	57		57
計	149	49	205

※うち、白紙 7

避難所であったほうがよかったもの

分　類	数
毛布やストーブなどの防寒用具	30
温かい食べ物や水などの食料	19
ライトやラジオなどの電化製品	19
ウエットティッシュや雑巾などの衛生用品	13
トランプやボールなどの遊び道具	5
靴や衣類	3
紙やペンなどの文房具	2
支援者などの人手	2
その他 (パーテーション・スコップ・勉強場所など)	22

応援があったらやりやすかったこと

分　類	数
人手	28
情報	3
食料	3
その他	12

5. インタビュー

ａ）７グループの投稿者にインタビューを行った。（実施時期：2013年1月～ 3月）

① 【岩手県山田町】Ｙさん、Ｓさん（高校3年生）、Ｎさん（父）、Ｔさん（母）

② 【宮城県大崎市】Ｓさん、Ｙさん、Ｔさん、Ｎさん、
Ａさん（高校3年生）、教員 Ｃさん（宮城県田尻さくら高等学校）

③ 【宮城県東松島市】Ｎさん（中学3年生）

④ 【宮城県仙台市】Ｎさん（中学2年生）、Ｋさん（中学3年生）

⑤ 【福島県会津若松市】Ｎさん、Ｍさん、Ｙさん、Ｈさん
（看護学校専攻科1年生）

⑥ 【山形県山形市】Ｓさん（大学1年生）

⑦ 【兵庫県神戸市】Ｈさん、Ｒさん、Ｍさん、Ｆさん（兵庫県立舞子高等学校　環境防災科　1年生）／
Ａさん、Ｎさん、Ｅさん、Ｔさん（同 2年生）／Ｋさん、Ｎさん、Ｓさん、Ｙさん、Ｏさん（同 3年生）
教員 Ｗさん

6. 実施体制

ａ）本事業の実施にあたり、子ども参加に関する専門家の立場から安部さんには企画段階からアドバイスを頂いた他インタビューにもかかわって頂き、総括原稿をお願いした。南雲さんには、インタビューに行って頂き、まとめの原稿を頂いた。

・安部 芳絵さん　早稲田大学文学学術院　助教

・南雲 勇多さん　早稲田大学文学研究科　博士後期課程

ｂ）地域創造基金みやぎでは、鈴木祐司、志賀恭子、根本晴美が本業務にあたった。

主　催：公益社団法人　セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

実　施：一般財団法人　地域創造基金みやぎ

後　援：文部科学省・復興庁・青森県教育委員会・秋田県教育委員会・岩手県教育委員会
宮城県教育委員会・山形県教育委員会・福島県教育委員会・仙台市教育委員会
財団法人 児童健全育成推進財団・特定非営利活動法人 いわて連携復興センター
みやぎ連携復興センター・一般社団法人 ふくしま連携復興センター

参考　中高生用投稿用紙

中高生用

震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト　投稿用紙

震災後、避難所をはじめたくさんの場所で、中高生の皆さんが果たした役割があったと新聞等で言われています。小さな子どものお世話をした高校生、水や食料など重いものを率先してもった中学生、自ら考えて動く中高生の姿に、大人は助けられ、たくさんの勇気をもらいました。そこで、その活躍が忘れられてしまう前に、中高生の皆さんが果たした役割を教えてもらうプロジェクトを行います。どんな小さなことでもかまいません。中高生の皆さんが考えて動いたことを教えてください。応募していただいたみなさんの声は、まとめて冊子にし、東北地域とその他の地域に伝えていきたいと思っています。

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町 （住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？ （だいたいの人数でよいです）

①どんな役割を果たしましたか？　（実際に行ったことを教えてください）

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）

③やってどう思いましたか？　（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）

④周囲の反応はどうでしたか？　（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと

連絡先住所	電話番号もしくはメールアドレス

※みなさんの応募をもとに、中高生の声をまとめた冊子を作成します。そのとき、もう少し詳しいお話をきかせていただく場合があります。連絡先の情報は、そのときに使用するだけで、ほかに個人情報をもらしたりはしません。プライバシーの保護のため、報告書やインターネットに皆さんのお名前や連絡先等を掲載することはありません。

大人用

震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト　投稿用紙

震災後、避難所をはじめたくさんの場所で、中高生のみなさんの活躍が報じられました。小さな子どものお世話をしてくれた高校生、水や食料など重いものを率先してもってくれた中学生、自ら考えて動く中高生の姿に、大人はたくさんの勇気をもらいました。そこで、これらの活躍が忘れ去られてしまう前に、中高生のみなさんが果たした役割を教えてもらうプロジェクトを行います。どんな小さなことでもかまいません。中高生や子どもたちの働きを見た、或いは助けられた方のお話を教えてください。応募していただいたみなさんの投稿は、まとめて冊子にし、東北地域やその他の地域に伝えていきたいと思っています。

タイトル　（あなたの見た、或いは助けられた活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢

いつ頃　※○月～○月頃	どこで　※○○県○○市・町	だれが（人数、年齢など）

①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？

②中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？（あなたや周りの大人に与えた影響など）

③未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください。

連絡先住所
電話番号もしくはメールアドレス

※みなさんの応募をもとに、投稿をまとめた冊子を作成します。その際にもう少し詳しいお話を聞かせていただく場合があります。連絡先の情報は、その際に使用し、その他、第三者に譲渡・公開は致しません。また、プライバシーの保護のため、お名前や連絡先を報告書に掲載することもありません。

本プロジェクトのまとめ

早稲田大学文学学術院 助教　安部　芳絵　氏

はじめに

なぜ、私たちは、震災後に中高生が果たした役割を記録する試みを行ったのか。そして、中高生からはどのような声が寄せられ、そこから私たちは何を読み取ることができるのか、子ども支援の視点から振り返っていきたい。

1. 震災後、子どもが果たした役割

震災後の厳しい状況にあって、子どもは希望であった。多くの人々が子どもの笑顔に癒され、救われた。私たちおとなはまた、避難所や仮設住宅で、中高生世代が自ら考え率先して動き、誰かを支える姿を目の当たりにした。親を亡くした高校生が、炊き出しを手伝う姿。自らも被災している中学生が、高齢者を背負って移動を助ける様子。小さな体で重い水や物資を運んだ子もいる。保育所や幼稚園の再開がままならないとき、「中高生たちが幼い子どもと遊んでくれたから、生活を再建する第一歩を踏み出せた」という親の声もあった。被害が少なかった地域からも、物資の仕分けや泥かき、学習支援などのボランティアに多くの中高生が参加した。

しかし、東日本大震災から2年が経ったいま、子どもたちが果たした役割が記憶から忘れ去られようとしている。そこで、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが主催し、一般財団法人地域創造基金みやぎが実施主体となって「震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト」を進めることになった。このプロジェクトの目的は、中高生が震災後に果たした多くの役割を、忘れられてしまうかもしれない「記憶」にとどめておくのではなく、「記録」として残し、広く社会に伝え共有することである。

2012年10月11日～2013年1月7日まで、震災後に「中高生が誰かのためにした」、あるいはおとなが「中高生のはたらきをみた」というエピソードを、東北6県を中心に募ったところ、中高生から156通、おとなから49通、合計205通もの声が寄せられた。

2. 中高生の役割を奪うまなざし

ところで、中高生世代をとりまくイメージはどんなものだろうか。

新聞やテレビ等メディアで取り上げられるとき、中高生は、いじめ、校内暴力、少年犯罪などいわゆる「問題行動」とともに語られてきた。電車の中で化粧をする、公共施設でたむろっている、自転車の乗り方が悪い、道を広がって歩くなど、マナーの悪さという形でも中高生に関する報道が見られる。ところが、3.11以降の短期間ではあるがその風向きが大きく変わった。中高生が避難所を運営する力となり、おとなたちが助けられているさまが毎日のように報道され始めた。それを見聞きし、励まされたおとなも多かった。

それでは、震災を機に中高生たちが変わったのだろうか。確かに、自分や周囲には大きな変化があっただろう。しかし、中高生よりも変わったのは、情報を伝える側、そして情報を受けるおとなの側ではなかったか。

私たち子ども支援の現場にいる者は、被災地かどうかに関わらず、中高生が自分たちなりに考え、行動できることを知っている。だが、多くのおとなはどうであろうか。

2002年にニューヨークで開催された国連子ども特別総会（UNGASS）では、18歳未満の代表400人による「私たちにふさわしい世界」というメッセージが出された。UNGASSには、ストリートチルドレン、児童労働や虐待の被害にあった子ども、HIV/AIDS孤児など多様な背景を有する子どもたちが参加した。彼らは「世界の子どもたちは誤解されている」と訴える。その意味は、「私たちは問題の根源ではありません。私たちは問題解決のために必要な資源です」という一文に凝縮されている。多くのおとなは、中高生を問題の根源として捉えがちである。だが、そのまなざしが、彼らが社会の中で役割を果たす機会を奪っているとしたら、それは非常に残念なことではないか。

震災後に中高生が果たした役割を記録する意義は、ここにもある。中高生は問題の根源ではなく、災害復興の主体となりえる力を持っている。東日本大震災からの復興が進む今こそ、その記録を残し伝えなければならない。

3. 緊急事態下における意見を聴かれる子どもの権利

1989年に国連総会において全会一致で採択された国連子どもの権利条約は、「子どもにとって一番いいことをしよう」という国同士の約束事である。日本政府は1994年に批准、193という人権条約では最大の締約国を誇り、子どもに関するあらゆることを実施していく際の、いわば「ものさし」である。条約では、18歳未満の子どもは、単なる保護の客体ではなく権利行使の主体として位置づけられているが、災害復興においてはどうだろうか。

2009年に採択された一般的意見第12号「意見を聴かれる子どもの権利」（CRC/C/GC/12）の「10. 緊急事態下における実施」では、たとえ緊急事態下にあっても意見を聴かれる子どもの権利はなくならないこと、そして「緊急事態後の復興において子どもたちが重要な貢献を行えることを示す証拠」が蓄積されつつあることに言及している。今回のプロジェクトは、まさにその「証拠」である。東日本大震災という緊急事態下にあって、子どもたちがどのような貢献を果たしたのか、中高生自身あるいは身近でそれを見たおとなの言葉には手を加えることなく、そのまま記録にすることにした。ぜひ、ご一読いただければと思う。

さて、詳しい話を伺うことを応募時に了承してくれた人のうち、合計7人にインタビューを実施することができた。

4. 中高生にこそ伝えたい記録―インタビューから―

⑴ 205通とその背景に想いをめぐらす

インタビューをふりかえる前に、投稿してくれたなかにあった「何もできませんでした」という一文について考えたい。これを書いたあなたは、自ら被災して役割を果たすどころではなかったのかもしれない。このプロジェクトに怒りや憤りを感じたかもしれない。あるいは、ボランティアをする同世代を見ながら、何もできなかった自分を責めたかもしれない。実は何かをしたのだけれど、あなたにとってはとるにたらない小さなことだったのかもしれない。

「何もできませんでした」という一文を、読み飛ばすことはできなかった。どんなに想いを巡らせても、あなたの置かれた状況を正確にわかることはできないけれど、それでも、「何もできませんでした」と書いたあなたのことを考えた。中高生の果たした役割というと、震災という大変な状況の中にあってもなにかを成し

遂げた中高生はすごくて、何もできなかった人はだめだ、という誤解を与えてしまったかもしれない。このプロジェクトは、中高生による美談を集めることが目的ではない。目的は、彼らが震災後に果たしたありのままの役割を記録することである。だから、「何もできませんでした」という一文を投稿してくれたあなたに、「ありがとう」を伝えたいと思った。

この一文が示唆するのは、今回応募してくれた205通の背景に、応募できなかった／しなかった中高生の声がまだまだたくさんあるということであり、それらにも想いを巡らす必要があるということだろう。そして、応募してくれた205通を記録としてどう保存し、読み合い、活用していくかをじっくりと考えたいと思う。

⑵ わたしの小さな支えが、誰かのきっかけになる

インタビューを受けてくれた中高生たちがまず口にするのは、「こんなことでインタビューを受けていいのでしょうか」という言葉であった。何か特別なことをしたわけではなく、当たり前のことをしただけ。大したことじゃない、ほんの小さなことだから、と言う。それでもインタビューに答えてくれたのは、「これが何かのきっかけになれば」と考えたからだ。

例えば、震災直後から気仙沼の高校に避難所をつくり、その運営をしたＳさん（当時高校２年生）は、「3年生が卒業したあとだったから、２年生の自分達が動くしかなかった」から動いた。仙台市のＫさん（当時中学１年生）も、「自分がふだん使っている体育館にいるわけだし、自分でやりたい」と考え、食べ物の支給やプールから水を汲んでトイレの前に置く作業を行っている。インタビューを読むと、震災後に中高生ができることのアイディアをもらえる。

田尻さくら高等学校のＴさん（当時高校１年生）は、この記録を読んで、ボランティアをやったことのない高校生や中学生が参加してどんどん増えてくれたら、と期待している。Ｋさん（舞子高校3年）は、「自分がどうやって動いたらいいか分からないっていう同世代の高校生にぼくたちの記録を読んでもらって『自分達の世代にもこういうことができるんだ』って知ってもらって行動にうつすきっかけに」なったらと語ってくれた。

⑶ 次に来る災害に活かすために

阪神淡路大震災の被災地で生まれ育ち、日本で唯一の環境防災科がある兵庫県立舞子高等学校で学ぶ高校生たちはどうだろうか。Ｎさんは、環境防災科では、防災について学んできたからこそ「次にも何かが来る」と思えるという。ところが、防災を学んでいなければ、「次、来るわけないやん」と思ってしまっているかもしれないので、同世代や次の世代に「絶対に来る」と備えてもらうためにも、記録を読んでほしいと言う。Ｅさんは、震災を経験した中高生の声に耳を傾けることがまず大切だと語った。「石巻の高校生から『いっぱい言いたいことがあるんですけど」と言われたとき、その『いっぱいのこと』に耳を傾け、自分の防災に取り入れていくのが大事」だと考えた。

気仙沼で被災したＳさんは、中高生にこそ記録を読んで追体験してほしいという。それは、「中高生は一番傷つきやすい年齢」であり、自分と同じ経験をしてほしくない、自分にある悲しい感情を繰り返してほしくないからこそ、記録を読んで追体験して、「同じ経験をしないように」してほしいのだ、と語ってくれた。

⑷ 差し伸べた手が、自分にも返ってくる

震災後、断水になった地域の人に水を配ったＮさん（当時小6）は、自分が動くことで、ピリピリしていた空気が変わったのを感じた。そして、「震災のときは不安だったけど、人に対して優しいこと、人のためになることをしているときは、自分の不安な気持ちが忘れられるし、何かすることで誰かのためになって、その

人が笑顔でいてくれるってことに対して達成感があった」と言う。会津若松のＹさんとＭさん（当時高校2年生）は、震災後の下校途中で見かけた止まった車を押し、車の所有者に大変に感謝された。そんな二人も最初は「どうしよう、どうしよう」と迷っており、思い切ってお手伝いしたことで「一歩踏み出す勇気をもらった」のである。この経験からＭさんは「震災のような大きなことがきっかけじゃなくても、小さいことで困っている人がいたら、そのたびに手を差し伸べて助けていけたら。それはきっと自分に返ってくるから」と、誰かを支えることで、自分が支えられることを語ってくれた。

おわりに

一般的意見第12号「意見を聴かれる子どもの権利」にはまだ続きがある。それは、緊急事態下において子どもが参加をすることは、その子自身の回復にもつながる、ということである。つまり子ども参加は、「子どもたちが自分たちの生活をふたたびコントロールできるようにする上で役立ち、立ち直りに寄与し、組織的スキルを発展させ、かつアイデンティティの感覚を強化」するのである。このことは、インタビューの語りからも見て取れる。

トラウマにつながるような有害な状況から子どもを保護することは言うまでもなく重要である。だが、子ども支援学の視点からそれと同じくらい重要だと考えられるのは、子どもを復興の主体として位置づけ、参加を支えていくことである。子どもは決して「未来を担う」だけの存在ではない。現在を生きる主体としての子どもの声が復興には必要であり、記録はその一歩である。

Ⅰ　インタビューの実施

インタビューから見えてきたこと …… 12
南雲 勇多氏 ／ 早稲田大学文学研究科博士後期課程

インタビュー
周りの人たちにも喜ばれて（岩手県山田町） …… 14
支援をしながら「もらったもの」（宮城県大崎市） …… 18
中学生らしいことができた（宮城県東松島市） …… 20
地域って、つながりってすごいな（宮城県仙台市） …… 24
記録を読んで追体験すること（山形県山形市） …… 26
手を差し伸べることで、きっと自分に返ってくることがある（福島県会津若松市） …… 30
「忘れない」ために、私にできること（兵庫県） …… 32
子どもたちが想い・考えを出せる場を（兵庫県） …… 34
阪神淡路大震災の年に生まれて、東日本大震災を支える（兵庫県） …… 38

インタビューから見えてきたこと

早稲田大学文学研究科 博士後期課程　南雲　勇多　氏

東北6県から寄せられたアンケートや実際のインタビューを通して、今回のテーマである「震災後に中高生が果たした役割」を伺っていると、改めて中高生の「力」に感心させられる。困難な状況にも関わらず、地域の人たちが立ち直るため、そして自分自身も立ち直るため、様々なことを感じ、考え、時には考えないようにしながらも、その「力」を発揮してきたことが分かる。そして「生きる」ということが直に、重たく突きつけられる状況だったからこそ、普段は「子どもだから」といって低く見られてしまいがちな、中高生の「生きる」ことへの本来のしなやかな「力」の強さを実感させられた。それは、アンケートやインタビューを通し、彼ら彼女らが果たした役割を自ら伝えてくれようとした行動自体にも、また「声」に込められた想いからも、感じるものがあった。

一方で、深く心から感心したからこそ、その「力」が十分な価値づけをされていないのではないかという疑問をもった。子ども自身も、おとなも、共に中高生が復興の中で果たした役割の重要さと、その「力」が備わっていたことを、改めて実感し認めてもいいのではいか。現実にそれだけの価値あることを果たしているのだから。そう思うことがしばしばあった。

それは例えば、多くのコメントにも見うけられる。復興の中でおとなを手伝い、年下の子どもたちの面倒をみるなど、彼ら彼女らは自分たちが担った役割について、あの状況だったから「当たり前だった」、みんなもしていた「当然のことだった」と言う。しかし「当たり前」のことが普通にできない「当たり前」でない被災状況で、中高生が果たしていた役割は本当に「当たり前」なのだろうか。おそらく、多くの人たちがそれには首をかしげることだろう。想像を絶する状況下で、人々を支え、つなげ、励ました「力」と行動は絶大な価値のある、生きていくことに大切なことであったに違いない。確かにそれは、被災の状況下にあって当然のこととして、必死に行われてきたことなのだろう。しかし、改めて、一人ひとりがそれぞれの状況下で果たした役割を「記憶」から「記録」へと起こしていくことで、中高生のもっていた「力」のしなやかさや強さ、発揮した役割の価値が浮かび上がってくる。状況下の真ん中に共にいたわけではない、震災の影響は受けたとしても「直接的」に被災したわけではない一人として、その「記憶」に耳を傾けていると、そのすごさに圧倒させられる。いわゆる「外」にいた人間が聴くからこそ、渦中にいた人たちが「当たり前」と思いながら果たしていた役割のすごさに頭がさがる。

よく自分自身のことは自分では分かりづらい、と言われるが、もし復興のなかで中高生が果たした役割の価値を、自分たちでは普通で当然のこととして捉えてしまっているならば、それはやはり、それを聴いて「すごい」と感心させられてしまう人々が、それは「すごい」ことだと価値づけていくべきではないだろうか。現地の人々が、言葉にして伝えてくれることに向き合い、果たした役割の価値にこちらが気づき、その感心を伝え返していくことで、「すごい」ことを「当たり前」だと思ってやっていたのだと、「当たり前」に「すごい」ことをしてきたのだと、振り返ってもらうことができるのではないだろうか。そしてそれは、多くの中高生やおとなが「まだ復興しきれていない」「忘れないでほしい」といっていた言葉にも応え、さらには復興へ向かう「力」と行動を支えることにもなるのではないかと思う。

普通でない状況にあって重要な役割を「当たり前」として発揮した、そんな中高生の「力」を、はやり見つめ直さねばならないのだと思う。さらにはその「力」を、むしろ普段発揮できていない状況にも同時に考えねば

ならない。彼ら彼女らは、求められている役割を中高生ならではの視線で発揮したり、時には自ら気づいて重要な役割をつくりだしたりしてきていた。そして、それが大きな「力」となって震災後の地域を支えた。さらには、一人ひとりの人間の姿や性格が違うように、中高生が果たした役割やその価値もそれぞれ違い、一つひとつがストーリーをつくり上げ、生きることを支え合ってきたのだと思う。だからこそ一人でも多くの人たちが、一人でも多くの中高生、さらにはもっと年齢の低い子どもたちもふくめ、一人ひとりのストーリーに耳を傾け、そのストーリーに織りなされた中高生の「力」と向き合い価値づけていくこと、感心を伝え返していくことが大切なのだと感じた。

このプロジェクトで、アンケートを読んでいてもインタビューに訪れても、まず心に浮かぶのは、言葉にしてくれることのありがたさ。まだまだ復興へ向けた取り組みの途中にもかかわらず、震災直後のこと、この2年間のことを振り返ってくれた。そして、その時に見たもの、その時の想いを語ってくれた。いいことばかりではない、人生を変えてしまう出来事のなかで見たもの、感じたこと。それらを伝えるために、言葉にしてくれたこと。このことに心から感謝の気持ちがわいてくる。そして、その言葉を受け取り、伝えていきたいと思う。

また、言葉にしてくれた、その内容の“重み”がずしりと伝わってきた。言葉で聞いても想像をするしかできない、むしろ想像すらできていないであろうこと。けれどもインタビューでは、語ってくれた人がその時その場にいて感じたことが、空気の“重み”として伝わってくる、そんな言葉ばかりだった。それは、頭で理解できなくても、自分の心がふるえ、ゆらぎ、真剣に耳を傾けていく姿勢にさせてくれるものであった。

同時に、言葉にしきれないこと、できないことの深さや重たさもあることを感じさせられた。その大きさ、深さは計り知れない。でも、だからこそ、その中でも言葉にしてくれた経験や想いをしっかりと受けとめ、向き合っていきたいと思った。

そして、今回のプロジェクトを通し聴き手として、また、その伝え手として、中高生が果たした役割のすごさを改めて見つめ、中高生の「力」が、復興に、社会に、そして彼ら彼女ら自身の人生に自信をもってつながるよう、心がけていきたいという思いが強まった。そして現地で今もなお、復興のため、その価値ある役割を果たし続けている子どもたちの「力」がさらに活かされていくよう、それらを支えあっていく輪が広がっていくよう努めていきたいと思っている。

周りの人たちにも喜ばれて

Ｙさん、Ｓさん（高校３年生）、Ｎさん（お父さん）、Ｔさん（お母さん）
インタビュー実施場所：岩手県山田町
インタビュー実施日：2013年３月５日
インタビュアー：南雲勇多氏／早稲田大学 文学研究科　博士後期課程

震災後、行ったこと、思ったこと

―――双子さんなんですね。

Ｙさん／Ｓさん：はい。

―――それではまず、どんなことをして、その時にどういうふうに感じたかを教えて頂きたいと思います。

Ｙさん：震災後、避難所で過ごしているときにも色々やってたんですけど、自分の住んでる地域で、自分達が何か力になれることがないかって考えた時に、自分達は力仕事とかそういうことの方が向いてるなって思いました。それで、この地域が漁業で成り立っているっていうのもあったから、その力になりたいなと思って、例えばホタテとかを運んだり、漁業の力仕事の部分を主に手伝ってきました。

Ｓさん：避難所の方では自分達のできること、掃除をしたりとか食事の配膳だったりとかをしました。漁業の面では復興のお手伝いを、自分達でできることを手伝ったりしたっていう感じです。

避難所で行ったこと

―――避難所でのお手伝いの時はやってみてどうでしたか？

Ｙさん：やっぱり共同生活なんで、すごい大変だったなって思います。就寝時間もその他の時間もきっちり決められてるんで、自由じゃないというか、やっぱりそういう不自由さがあったところじゃないですかね。

Ｓさん：大変でしたけど、避難所生活ではとにかく何か自分ができることをやりたいと思って、身近なことでも良いから掃除でも何でもしようと心掛けていました。

―――共同生活をするっていうのはなかなか（普段は）ないことだと思うんですが、何か気づいたこととか、大変だったけれど良かったこととかありますか？

Ｙさん：大変だったには大変だったんですけど、そんな中でも自分の力になって、自分のためにもなっていたと、今思ってみるとそう思います。

―――「自分のためになった」というのは、具体的に言うとどういうことですか？

Ｙさん：多くの人と関わりを持つことが多かったんで、そういう面ではこういうことがあったからこそ、自分の力になったのかなって思います。

Ｓさん：避難所生活の中で少しでも人の役に立てたことが一番良かったことだと思います。

―――ありがとうございます。何か他に避難所生活をしていたときに考えたことはありますか？

Ｙさん：本当に最初の頃は家とかも半壊したりして、何もやる気が無い感じだったんですけど、避難所で生活していて、他の人とかに関わっていくうちに、自分もがんばんなきゃなんないなって思いましたね。

Ｓさん：震災前は山田のこととかあんまり考えてなかったんですけど、震災を通して色んな人と関わることで山田のために働きたいって思うようになりました。将来的には山田に戻ってきて働きたいって思ってい

ます。

―――なるほど、今回の事で色んな人と接するようになって、山田のことも、働くってことも考えるようになったんですね。

避難所では一番の年下として

――――周りの中高生はどうでしたか？

Yさん：そもそも避難所に高校生っていうのが、自分達だけで。自分達が一番下だったんです。

Tさん：このあたりに暮らしている人達60名くらいで避難していたので、避難所にいた人はけっこう年齢が上だったんです。

―――それでじゃあ一番年が低かったけど、掃除をしたり、避難所の中でも若手としてがんばったんですね。

Yさん：少しだけ…。

―――大切なことをしていたんですね。

――――震災後に避難所の生活で何かあった方がよかったと思ったものや、こんな支援があったらよかったと思うものはありますか？

Tさん：水とか風呂とか…。

Yさん：一番あったのはトイレ。

Nさん：はじめは水だったな。湧水が出るところがあって、バケツとかを持って水を汲にいって運んでたんです。急な坂があって、一輪の台車とかに乗っけたりして、（Yさん・Sさんが）2人して運んで。避難所の人達の食糧のための水とか、食器洗いのための水を、道があんまり整ってない時に。

―――その時のことは覚えていますか？

Yさん：あまり覚えてないですね。食事の度に、必死だったからあんまり覚えてないです。

Sさん：あんまり覚えてない。

―――いやぁ、すごいですね。坂を登るのも大変ですけど、重い水を運んで坂道を降りるのも大変ですもんね。それこそ若手として大活躍だったんですね。

近所のおばあさんを家族３人で救命

Nさん：津波の時、防潮堤から波が来る時に逃げてきて、途中でおばあさんがいたんです。おれ、おぶってどうにもなんね。波が後ろからきていて。坂をのぼれないものだから、「後ろから押せ」ってこの子らに頼んで。そのおばあさんをおれがおぶって、この子らが後ろから押して。それで逃げたんです。3人して命からがら、そのおばあさんを手助けして。それが一番のボランティア。

―――最大の人助けですよね、本当に。覚えてますか？その時のこと。すごいな…。

Yさん：ほんとに…必死でした。

漁業復興へのお手伝い

―――漁業のお手伝いの話もうかがっていいですか？ 避難所生活が終わって、漁業が復興していくときにどんなことをしたのか教えてください。

Nさん：（Yさん、Sさんは）ワカメ漁を手伝ってくれたんです。地域では若い人がいなくて、やっぱり高齢化しているんです、漁業者が。そういうことで、この子らもやっぱりそういうのを見てられなくて。小さい体してっけど、何ていうか体育系で、2人とも相撲してるんです。Sは国体にも出ていて。

———それで、力仕事でも力を発揮したんですね。

Nさん：そういうことで力になりたいと。復興作業のために、自分から何か手伝う事はねえかなっていってくれて。震災後、おれらもやっぱりどうにか漁業を復旧、復興させたくて一生懸命頑張っているとこを見て、何ぼでも手伝いたいなと思ったんじゃねえかなと思うんです。

———漁業の復興はどのくらいの時期からどのように始められたんですか？

Nさん：まず流された養殖施設をつくらねば。一から出直しするために、土俵（漁業で使う重し）づくりからはじめたんです。土俵づめ。この子らも一生懸命手伝ってくれたわけ。

震災直後からはじめて、3月は、はじめは瓦礫の後片付け。海に浮かんだいろんなものの瓦礫撤去とか壊れた養殖施設とか、牡蠣いかだの残骸とかを海から拾い集めて撤去して。それも漁業者が自分達でやって。瓦礫撤去が終わって今度は改めてまた再出発する人達とかが土俵を詰めて、新たに養殖施設を浮かべるために準備したわけです。養殖施設の準備が6月ごろからはじまって、秋にはどうにか養殖施設ができて、ワカメ漁をはじめて。今度はホタテの養殖施設浮かべてどうにか復旧させて。

それをここの地域は人が少なくなって、初めは5 ～ 60人ぐらいいた漁業者も年がいって、海に残ってやるって人が16人しか残らなかった。この2人と同じ世代はいなかったです。

16人でだいたい3万個から4万個の土俵をつめて、この子達もそれを手伝ってくれたんです。

———じゃあ、それを一緒に？

Yさん / Sさん：はい。やりました。

Nさん：おかげさんで。土俵を詰めてくれて。

———（Yさん、Sさんに）一番最初に手伝ってみようと思った時のことは覚えていますか？

Yさん：震災があって学校もずっと休みだったんです。それで、避難所にいても自分達のやる仕事というか、そういう役に立っているようなことがあまり無かったっていうのが一番大きいんじゃないかなと思います。その時に、こういう力仕事が一番自分達にあっているし、自分が力になっていける一番のことなんじゃないかなって、そういう風に思いました。

———やってみてどうでしたか？

Yさん：そうですね、やってみて…。やっぱり漁業は朝が早いんで、まず朝早く起きるっていうところが大変でしたね。あと、寒かったです。今まで朝早く起きてやったことがまず無かったんで、すごい大変な仕事だなって思いました。

周りの人達にも喜ばれて

———漁業を手伝ってもらってどうでしたか？お2人（お父さん、お母さん）から見てお2人はどうでしたか？親としても、働く身としても。

Nさん：やっぱり変わったなって思って。やっぱり頼もしく見えるような気がしました。

Tさん：周りの人も喜んでくれて。

Nさん：「明日はくんだべか？」なんて（笑）

Tさん：「今日は来ないの？」って。

Nさん：（来られなかった日は）「今日は来ないんだべか」って聞かれて。「今日はちょっと学校の方が忙しく

て」だの、何だのって。

――――ＹくんもＳくんも、それくらいすごいことをしてきたんですね。行くだけでもみんなを喜ばせて、力仕事でみんなの力になって。

Nさん：はい、喜んでました。やっぱり年がいってて、力仕事とかそういうのは若い人の方が力あるし。

――――さっきは山田町に戻ってくることが大事だって感じるようになったって言てましたけど、やっぱり仕事を手伝うようになったことが関係あるんですか？

Sさん：そうですね。仕事やって、考えるようになったっていうか。やってるうちに…変わっていきました。

改めて振り返って思うこと

――――もう少しで2年がたちますが、今改めて震災があって思うこと、感じていることがあれば教えてください。

Yさん：これとはちょっと違うんですけど、僕達、相撲やってたんですけど、自分達が稽古してるところも流されてしまったんですよね。それで練習所が無いなかで部活もやってかなきゃなんないってところで。内陸の方に遠征に行かないと土俵での練習ができないっていう状態だったんです。それがすごく大変でした。でも、白鳳とかの力士会の人達が自分達の町に土俵を作ってくれたんですね。去年の7月ごろに。自分達は3年生で少ししか土俵ではできなかったんですけど、完成して少しでも復興に近づけたのかなって思ったし、ありがたいなって思いました。

Sさん：震災を通して山田にもっと貢献していきたいっていう気持ちが強くなったし、今言っていた通りですけど、土俵を作って頂いて、将来的には選手として相撲に携わって、あと、子ども達にも指導していければいいなって考えています。

――――（お父さんとお母さんに）この2年間を振り返ってみて、震災後、お2人の色んな姿を見てきて、感じてきたことを改めて教えて頂けますか？

Tさん：今までだとやっぱり頼まないと手伝わないことが、何に対しても、自分から何をやったらいいのかっていうことが分かるようになったのがいいかなって思うんです。

Nさん：自分としては、（Ｙさん・Ｓさんの）どっちかに、漁師を継いでもらいたいなって気持ちがあったんです。でも、この子らはこの子らの人生だし、継いでもらいたいって気持ちもあったけども、やりたいことをやらせて悔いのない人生を送ってほしいって思うようになりました。おれも元気でがんばって。こいつらはこいつらの人生だし、やりたいことはやらせてやろうって。

――――最後に何かメッセージはありますか？

Yさん：今、復興してるって言ってるけど、実際に復興してきてんのは宮城とか仙台とか大きなとこばっかりで、実際こういう所はまだまだ復興してきてるっていっても、スピードに差が出てきてるんじゃないかなって思います。

Sさん：復興の支援も大事だと思うんだけど、自分達で支援に頼らないで自分達の力で復興していくことが一番大事だと思います。

支援をしながら「もらったもの」

Sさん、Yさん、Tさん、Nさん、Aさん（高校3年生）
Cさん（教員）
インタビュー実施場所：宮城県大崎市（宮城県田尻さくら高等学校）
インタビュー実施日：2013年1月21日
インタビュアー：安部芳絵氏／早稲田大学 文学学術院　助教

震災後、私がしたこと

Nさん：私は震災後に学校で支援物資の募集があり、中学校の時のジャージを送りました。私が使っていたジャージを、被災地の方が使ってくださるというのがとても嬉しかったです。私が今使わないものが、被災された方の役に立つのであればいいなと思って。

Aさん：私もNちゃんと一緒で、文房具を寄付しました。被災地に実際に行って支援したりすることはできなくても、寄付ならできると思って。ちょうど家に使っていない文房具があって、少しでも役に立てたらいいなと思いました。

支援をしながら「もらったもの」

Sさん：私が、震災時にしたことは本当にたいしたことじゃないんですよ。ひとつは、全国から寄せられた支援物資の整理整頓と、それを包んで被災地に向けて発送するための準備を手伝うというもの。もうひとつは、被災地に赴いて、支援物資の配給をしました。これは、当初の予定では泥かきをしてそのあとに支援物資の配給をする予定でしたが、泥かきが予想以上に早く終わり、私たちのグループは支援物資の配給だけをしました。本当にたいしたことはしていません。配給が終わったあと、震災があった場所を見ました。だから、ボランティアに行ったというよりは、自分たちの学習のために行ったような気がします。

　実際に行ってみて感じたことは、被災者が―被災者といえば私たち自身も被災者なのでしょうけれど―沿岸部で被災された方、家族や家を失った方たちが、私たちに優しく接してくれたことが嬉しかったです。仮設住宅にお住まいの方たちは、メディアで言われている「被災者」のイメージよりも、むしろ「強く」感じました。たとえば、私たちが支援物資を配給しているのに、「家にあがってお茶でも飲んで行きなさい」って言ってくれました。今は何をしているとか、前はこんなことがあったとかいろいろ話してくれました。楽しそうに語ってくれる人もいました。

Yさん：震災後にした活動は、Sくんが話したこととほとんど同じです。2011年8月に、実際に沿岸部に行ってみて、津波がこんなところまで来たんだと感じました。人の役に立つのであれば、ぜひ行ってみたいと思って参加しました。その結果、自分ひとりではできない体験ができました。被災された方の話を聴いたりとか、支援物資を配ったりしながら、自分は、役に立ったかなぁと考えました。

Tさん：震災後に、運動靴を寄付しました。靴が足りないという話を聴いたのもあったし、うちの家自体が大家族であることもあって、履いていない靴があったので、寄付しようと思いました。それから、Sくん、Yくんと一緒に、「サマーチャレンジボランティア2011」（大崎市地域事業課主催）として、2011年8月11日に岩沼市の仮設住宅を訪ねました。

実際に行ってみて、仮設住宅に住むみなさんたちのことを「強いな」と感じました。こちらが被災したって言っても、あちらの方が絶対、被害が大きいはずです。家が流されて、仮設住宅に入っている方もいます。でも、いろいろ差し入れをもらったりしたんです。支援しに行ったのに、逆にもらったものも多かったと感じています。

この活動を「始めの一歩」にして

C先生：その当時の活動もそうですけれども、例えば文房具やシューズの寄付を呼びかける時も、「こういうのを集めています」「これはこういうところに行きます」という説明はするんですけれど、強制ではないんですね。私としてもどれくらい集まるかなと思っていた時に、自主的に動いてくれたということはとても嬉しいですし、中には「同じ高校生に使ってもらえれば」と言って寄付してくれた生徒もいました。何よりも生徒たちが、周りから何か褒められるためにやるのではなくて、自分でやる、できることを一人ひとり考えた上で活動するっていうことが、今後の活動や何かの役に立つのかなと。社会をみんなで支えていく最初のとっかかりになったのかなと思います。

Sさん：ボランティアは、このほかにもいろいろやってきましたが、こういう形でインタビューをされ記録として残ることは、「それが人の役に立った」と認められるような気がしてとても嬉しく思います。さっき先生が誰かに褒められるためにやっているのではないっておっしゃったんですけど、若干、褒められるためにというのもあるかなぁ。

C先生：それでもいいと思います。

Sさん：これを糧にして、また違うことに取り組んでいきたいです。まわりを巻き込んで、人の役に立って行きたいと思います。

Yさん：ぼくは友達から誘われてやったんですけど、次はやるとしたらもっと積極的にやれたらいいなと思います。

Tさん：インタビューが冊子になったものを見て、やったことのない高校生や中学生がこういうボランティアにまた参加してどんどん増えていったらいいな。

Nさん：学校で寄付をした、それを私は些細なことだと思っていました。だけど、そのことをふりかえって、話ができてよかったです。あのとき、家族も「これ持っていったら」って言ってくれたことを思い出しました。

Aさん：これからも、仮設住宅に住んでいる方はまだいらっしゃるので、寄付する機会があったら寄付をしたいです。それから、次は機会があったら寄付だけではなく、実際に行って支援ができたらいいな、と思っています。

中学生らしいことができた

Nさん（中学3年生）
インタビュー実施場所：宮城県東松島市
インタビュー実施日：2013年2月5日
インタビュアー：南雲勇多氏／早稲田大学 文学研究科　博士後期課程

震災後、行ったこと、思ったこと

――震災後、どんなことをして、どういうことを感じましたか？

私は学校が避難所だったんですけど、そこで掃除をしたり、あとは物資が運ばれてきたんでそれを配ったりとかですね。

正直言ってけっこうつらくて。周りの目とかちょっと気になって、ちっちゃい子とかは遊んでるんですけど中学生は遊べないな、っていうところも。でもみんなのために動けるのは自分達ぐらいしかいないなと、ちょっと大変ながら乗り越えてって感じですかね。

遊べなかったというのもそうですけど、亡くなった子や、友達の中で家族と離ればなれになっちゃって一人ぼっちでいる子がいて、みんな精神的につらくて、そういう話しを聞いたりとか。肉体的にも重い物を持って疲れたり、寝つけなかったり。それが3日ぐらい続いて、疲れたなーって感じでした。

――その中で何か思ったことはありますか？

何もしないでボーっとしてるとすごい罪悪感というか、今困っている人はきっとどこかにいるんだろうなっていうのがあって、今ボーっとしているのは失礼じゃないかな、その人達のためにもやってみようかなと思って手伝いなどをやりました。

やっていくにつれて、慣れたっていうか、今までは普通に生活してたら学校に行ってたのが、お手伝いして、物運んで、掃除してっていうのが日課みたいになってきたんで、だいぶつらくはなくなって、それが普通みたいな、空気もそんな感じでした。

――先ほど、罪悪感っていう言葉を使っていましたけれど、手伝いなどに動いてみて、その気持ちはどうでしたか？

手伝いをやった時にありがとうって言われるんで、「あぁ、やって良かったなぁ」っていうのもあるし、みんなが頑張っているのを見て、「あぁ、やらないと」というのもあって。みんながいたからできたっていうところも、けっこう大きいかなと。

例えば、掃除するにしても、「ここ汚いから掃除しない？」とか誘われる感じで、やりやすいというか、仲良い友達もいたんで、普通にしゃべりながら（笑）

近所の人達との出会い

掃除した時に、教室の中に人がいて、そこで一人でいるおじいさんとかおばあさんにしゃべったりかけたりしていました。知らない人としゃべる機会がけっこうあったんですけど、ここに集まってるってことはご近所の人ってことで、しゃべってみたら意外と家の近くの人だったとか（笑）　こんな人がいたんだって知ることもありました。避難所生活が終わった今でもけっこうしゃべったり、物をお裾分けしたり、新たな人付

き合いができたりっていう一面もありました。

コーヒーは飲めないと言われた時のこと

――――他に何か覚えてることとかありますか？

ジュースを配るとき、コーヒーとかジュースとか配る人を決めていたら無くなっちゃうから、「1組にいる人にはコーヒーね、渡しちゃって」って言われて頼まれたんです。

私は音楽室担当だったんですけど、音楽室の人にサイダーを配ってて、お年寄りの人がサイダーを飲めなくて、「換えてくれない？」って言われたんですけど、換えるって言ってもそれも大変なんで「すいません」って謝りました。それでこの人は飲むものなくなっちゃうなぁと思ってました。

あと、友達が隣の教室の担当でコーヒーを配ってるとき、子どもにコーヒーを渡したら、「コーヒー飲めないんだー」て言われて、「ごめんね」って言って謝ったんです。そこで終わったと思ったら、その子とそのお母さんが私とその友達のところに来て、「子どもにコーヒーあげるなんてどんなこと考えてるの？」みたいに言われたんで、詳しく説明して…。

――――理由を説明してみて、どうでしたか？

「クラスに1種類って決まってるんです」って言ったら「コーヒー飲めるわけないんだから考えて」って言われて。「いやぁ、考えてって言われても先生に言われてるんで」って言ったら、「先生にもちゃんと考えてって言っといて下さい」って言われたんです。自分で言ってほしいなぁとか思いつつ、「すいません」って言いました。ちょっと周りが見えなくなってる人が多かったかな、と思います。その人もきっと何かあったんだろうなと思いつつ、ちょっとおとなげないことはしたくないな、とも思いました。

――――その後は先生には伝えたんですか？

言えません（笑）　先生も家とか帰れなくて、家族もどうしてるか分からない状況で、ものすごく疲れてたんで、この人達を疲れさせたらいけないなーって思いました。

周りの中学生がやっていたこと

――――掃除や物資の配布以外にも他に何かやっていたことはありますか？

友達が伝言板の前で座ってどの案内とか、一人分の量がきまっている水を渡してる子とか。あとご飯だけが送られてきて、それでおにぎりを作ってる子もいました。おにぎりも、中学生の女子が家庭科室で、真っ暗だったんで何も見えないとこでずっと握ってて。私はその時は掃除していていなかったんですけど、みんなずっと握っていて、手がもうヌルヌルで…。洗う水も節水だし、ウェットティッシュで（笑）　けっこう、みんな大変。暗い中でローソクとか立ててランタンとかで作業してました。

すごい人数が物資の受け取りに並んでいて、「次ここで前詰めてください」みたいに整備をやってる人とか、真夜中に物資が届いたりして真夜中に起きて配ってる子とかもいて。けっこう寒くて暗いんですけど、夜10時くらいに「失礼しまーす」って言って入ってきて物資を配ってる子もいて「あぁ、すごいなぁ」って思いました。

避難所にあった方がよかったもの

――――避難所であった方がよかったものは何ですか？

汗ふきシートみたいな体を拭くものとか、体に良い物・栄養剤です。

お風呂に入れないんで、冬なんですけど体がベタベタするなと思ってました。冬に汗ふきシートを持っている人なんていないじゃないですか。ウェットシートっていってもそんな日々持ち歩いてる人もいないんで、タオル濡らして拭くぐらいしかないなとか思って。

―――水も大事ですしね。

はい。水って使うよりも飲む方が優先で、あんまり使えないんで。私、髪が長かったんですけど髪を洗えなくて、すっごい気持ち悪かったです。


インタビューの様子。手前がNさん。

―――なるほど。「体に良い物・栄養剤」っていうのは何でですか？

届くものがパンとかで、野菜ジュースとかはあったんですけど野菜がまずなくて、メニューが固定化していて。一日食パンだけの日とかもあるんで、そんな時に食パンと水だけで、これ体調くずさないかな？って思いました。

実際、体調崩している子とかもいたんで。栄養剤が一回だけ配られたんですけど、もうちょっとあってもよかったんじゃないかなって思いました。

―――疲れてる先生達もいますしね。

はい。みんなやつれてました。そんな時にパンとかだけだとちょっと。普段、食パンってジャムとかつけて食べてるから何もないのはちょっと厳しくて。それと、すっごいお肉が食べたくなりました。家に帰ってレトルトのカレーを食べた時にすっごい感動しました。味が濃い！と思って、半泣きで「カレーおいしいっ」って食べました。

物資の数に限りがあるときに…

―――物資を配っている時に、心に残ってることはありますか？

支援物資の数が少なくて、お年寄りと子どもにしか配れなかったんで、おとなと中学生には配れなくて、おとなの人とか土木関係の人とかは疲れてくるのにご飯がもらえなくて…。逆に子どもははしゃいで食べて、お年寄りの人はただ座って食べて、それはまぁいいなと思うんですけど、逆に自分達が食べる物がないなって思った時はありました。けっこう優先順位があって、働いても食べれない、いつでもお腹空いてるみたいな感じはありました。

伝言掲示板には日時の記入も

―――他に応援があったらやりやすかったものはありますか？

インターネットサービスとか伝言板が機能していればよかったなと思います。まず地震が来るとは誰も予想していないんで、何かあった時に連絡とる手段が無くて。携帯は持ってたんですけど、充電も切れちゃって連絡ができなくて、生きてるのか死んでるのか、分からない状況で。

伝言板もあったんですけど、黒板にも殴りがきで書いてありました。紙とペンだけが置いてあって、「誰々ここにいます・電話番号」みたいに、みんなが思ったことをそれぞれ書いて。でも、それを見ても「これいつの情報なんだろう？」っていうのとかが結構ありました。無いよりはましなのかとな思ったんですけど、家族を探してる人とかに「いつのですか？」とか聞かれても、「分かんないです」みたいなこととかがあって。

ほんとに役に立ってるかっていえば、役にたってはいなかったです。あらためて考えたら、こうしとけば良かったなってことは色々あるんですけど、実際その場だとみんな冷静じゃなくなって、あたふたして考えつく人がいなかったと思います。

お弁当の物資を届けに家を訪問

避難所から家に戻ってきてからは、物資としてお弁当が毎日地域に来てたんで、お弁当を取りに来なかった人には、家を周って渡しに行くみたいな。「お弁当でーす」って言って。すぐ近くに住んでる同級生のはとこと、午前中はいつも一緒に遊んで午後は、5、6件、一緒にお弁当を渡しに配ってまわってました。

―――初めて行く人の家とかもあったんですか？

ありましたね。この人来てるかな？みたいな感じで、一応行ってみる？っいっていって渡しにいってました。

学校は自分達で連絡しあって再開

―――学校はいつから、どのように始まったんですか？

3月28日くらいに先生達の離任式があって学校は4月の11日にありました。

学校に行く日が市役所とかに「何月何日に○○中学の離任式とか始業式あります」って書いてあって、それを見てみんなで連絡しあいました。連絡網がなくて学校からはきてないんですけど、携帯のメールとかで「学校だって」みたいな感じできて、「持ち物これだよ」みたいに連絡が来たので、私も多分知らないだろう友達に、らしいよって言って伝えて。学校があるらしいよって言わないと実際、知らなかった人もいました。

―――それある意味、連絡網よりすごいですよね。みんな自主的にそうやって集まったんですか？

集まりましたね。

中学生らしいことができた

―――避難所でボランティアをしたりとか、帰ってきてからはお弁当を配ったりとかっていうことが、自信にもなったりしているのかなと思うんですがどうですか？

確かに、何もしないよりすごい頑張ったなって思えたというか。中学生らしいことができたんじゃないかなって思います。

―――中学生らしいことって、どういうことですか？

中学生っておとなでもない、子どもでもないじゃないですか。なので、おとなじゃできなくて、子どもでもできないことをやるみたいな。おとなでは気づかない点っていうのもあるし。子どもが騒いでいたら叱りたくなるところを、一緒に遊んであげて、遠くで遊ぶ、迷惑にならないように遊ぶ感じとか。中学生だからできることをやれたかなって思います。

―――最後に何か言い残したこととか、伝えたいことはありますか？

やっぱり大きな災害だったんで、他県の人にも覚えててもらいたいっていうのもあるし、あと、日本全体で地震が多いんで、その時にいつでも助け合おうみたいな、そういう空気が漂っていればいいなって思います。

地域って、つながりってすごいな

Nさん（中学2年生）、Kさん（中学3年生）
インタビュー実施場所：宮城県仙台市
インタビュー実施日：2013年3月4日
インタビュアー：志賀恭子・根本晴美／一般財団法人 地域創造基金みやぎ

自分が動くことで、空気が変わった

Nさん：私の住んでいる地域は断水になっている家が多かったのですが、私の家では水が出ました。そこで、地域の水がない人たちに配りました。それから、避難所で泣いている知らない子がいて、そのこと遊んだりしました。周りの人がピリピリしている空気があったから、それを自分が何かすることで和ませられないかなと思って。

水をあげた人に「ありがとう」って言われた時に、やってよかったと思いました。私の家には小さい妹がいて、水をあげた人がミルクを買ってきてくれました。一人ひとりができることをちゃんとやって、支えられてるって実感がありました。言葉じゃなくても、空気が変わったっていうのだけでも嬉しかったです。水がないと人は生きていけないから、ピリピリした感じだったけど、水を渡したら笑顔になって明るくなりました。

Kさん：震災が起きた時、私たちは中学校の校舎を（避難所として）使っていました。そのとき、小学校の体育館が使えなくなって、そこに避難していた人が中学校に避難してきて、人数が増えたので、食べ物の支給を手伝ったり、トイレの水が流れないので、プールから水を汲んできてトイレの前に溜めておいたりしました。先輩たち5人とやりました。近くにいた人から「さすが中学生だね」と言われたので、役に立てたことが嬉しく感じました。

避難した経験から

Nさん：避難したときの経験から、家庭には懐中電灯、それから食料をここに置くって決めておいて、すぐにそれを持って避難できるようにまとめておいたほうがいいと思いました。最初は避難所に貯蔵物資があったけど、日を重ねるごとに少なくなってきて、他のところから飲み物も来るんですけど、足りなくて大変でした。

避難していた時に、隣に大人がいたんですけど、食べ物がなくて1家族このくらいにしてくださいって言われているのに、たくさん量を頼んで食べられなくなっていたのを見ました。だから、そういうのは控えてほしいです。

Kさん：体育館の隣に武道場があって、そこは畳だったのでお年寄りの方優先の場所になっていました。そうしたら、食料を生徒が運んでいくくらいで、そこにはあまり動ける人がいませんでした。若い人がいない時には空気が静かだと思う。しーんとしていた時があったので、動ける人が少しはいたほうが良かったと思いました。

自分がふだん使っている体育館だから、自分でやりたい

Nさん：震災前は、地域の人とあまり話す機会はなかったんですけど、震災後から地震で外に出る度に話すようになって、挨拶もするようになって、地域のつながりがより深まり、知っている人が増えて心強くなりました。

震災の時は不安だったけど、人に対して優しいこと、人のためになることをしているときは、自分の不安な気持ちが忘れられるし、何かすることで誰かのためになって、その人が笑顔でいてくれるってことに対して達成感がありました。

同じ年代の人で、あまり話したことのない人だったけど、小さい子と遊んであげたり、一緒に手伝いをしたりもしました。その子とは今、すごく仲良くなって。震災前より仲良くなりました。

Kさん：震災前は手伝いをしたり人前に出る機会があまりありませんでした。でも動ける人が少なくて。自分がふだん使っている体育館にいるわけだし、自分でやりたいって思いました。基本的には中学生が動いていました。

Nさん：小さい子が好きそうな手遊び、自分がお母さんから教えてもらったことをしてあげて、少しでも不安な気持ちを取り除けたら、なんて思いながら遊んでました。遊んでた子は同じ地域だから、見たことがある子だったんですけど、いつも笑ってたのに、その時すごいしょんぼりした顔をしていて。「笑顔にしてあげたい」って思って遊んであげました。周りの雰囲気がもうちょっと良かったら遊びやすかったかな。周りの大人も眠れなくて疲れてる感じで。小さい子と遊ぶ余裕がなかったように思います。

地域って、つながりってすごいな

Nさん：私たちがやったことを知らない人もたくさんいると思うから、知ってもらえるのはすごく嬉しいです。震災があってから2年経って震災が風化してきているから、やったことを記録することで風化することを防いで、今後震災があったときに生かしてもらえればなと思います。最初の方はテレビでも扱って、たくさんの人に広めようとしてくれてたんですけど、最近は少ないから忘れがちかなって。

Kさん：記憶は消えちゃうけど、記録にすればちゃんとみんな分かってくれるし、日本は地震が起きやすいので、今後大震災が起きたときに、こういう意見が記録に残っていれば役立てていけると思う。

Nさん：次にもし震災があったときに、この震災をしっかり生かせるのかなって不安なところがあるから、この震災で自分たちの行動でダメだったところを今後に生かしてもらいたい。ダメだったっていうのは、動きが悪かったっていうか、大人の動きとか…。

Kさん：震災が起きてちょっとしてから、外国の人たちが日本人たちは食料が十分にない中でもちゃんと店に並んでたりしてすごいって言ってたりして。改めていいところが発見できたって思います。

Nさん：私の町に商店街があるんですけど、飲食店があって、震災後に食べ物がなかった時に無料でもつ鍋とかおにぎりとかを配っていて。雪が降っていて寒かったし、余計おいしかった。地域って、つながりってすごいなって思いました。

Kさん：支援物資がたくさん届いて嬉しかったんですけど、ご飯が全部冷たくて固かったので。非常食も冷たいものより温かいものを食べたほうが体も温まるし、おいしいと思うので、そういうものもあった方がいいと思いました。

記録を読んで追体験すること

Sさん（大学1年生）
インタビュー実施場所：山形県山形市（震災当時宮城県気仙沼市在住）
インタビュー実施日：2013年3月8日
インタビュアー：安部芳絵氏／早稲田大学 文学学術院　助教

高校生が避難所をひらく

震災当時は高校2年生でした。（日記を取り出しながら）直後から、時間の流れと一緒にお話しした方がいいですかね。日記はずっとつけています。

ちょうど外で部活動の準備運動をしているときに地震がきました。その後、生徒全員が校庭に避難しました。点呼をとっていたところ、うちの学校は高台にあったので、下に住んでいる人たちがどんどん避難してきました。けれど、うちの高校は、県立高校で避難所指定をされていませんでした。そのため備蓄も、避難マニュアルも全然ありません。しかし、人がどんどん来るし、雪も降っているから、とにかく体育館にいれるしかないとなりました。避難所指定をされていないから先生たちは対応できない、卒業式も終わっていたのでもう高3生もいない。だから高2生がなにかやるしかないとなって、避難所の運営が始まりました。

高校には、大きいものと小さいもの2つの体育館、剣道部と空手部が使う「剛健堂」、柔道場があります。体育館のうち大きい方のライトが地震直後に落ちたので、そこには人が入れません。小さい体育館と柔道場・剛健堂に人が入れるようにしました。とにかく寒かったので学校からストーブを持ってきたり、教室のカーテンを持ってきて、全部集めて配りました。1人で行動しないようにして、友達と5人1組くらいで何箇所かに配りました。

俺はカーテンを取りに行ったときに、4階の窓から鹿折の火事が見えたんですよ。そこでとても驚きました。高校は、かなり高いところにあるんですがその火が同じくらいの高さに見えて、そのときは何も情報が入らず、どこが燃えているのかもわからなかったので、ただ恐かったのを覚えています。

その後、先生方の助言で避難者名簿を作り始めました。とにかく名前をリストアップして、みんなで手分けして訊いて回りました。そういうことをしている間に、学校の下にあるかっぱ寿司から酢飯が大量に届きました。化学室のラップを取りに行って、みんなでおにぎりをつくって、それが最初の食事です。3月11日の8時頃だったと思います。近所の人が自家発電のライトを持ってきてくれて、それを小さい体育館に置いて、ほかはストーブのあかりとろうそくのあかりですね。真っ暗で、その灯りだけでした。

外では、先生方が車の誘導を午前2時頃までやっていました。中の方では、避難した人を探しに来る人がたくさんいて、22時過ぎでも人がたくさん探しに来るので、3か所に分かれている避難者名簿をあたって、名前がなかったら小さい声で避難所のなかを探してもらいました。それでも見つからなかったら別の避難所を探してもらって。それが夜中続いていましたね。

自分達のほかに、やる人がいない。追い込まれている状況で自分達が動かなかったら誰が動くんだという状況でした。ただがむしゃらでしたけど。とにかく人がいて、物もなくて、すごい混乱でした。

避難所運営で一番大変だったこと

一番当日大変だったのは、トイレです。その日から電気がつかなくて、懐中電灯があったのでトイレを照らしました。一日目はたぶん水が流れていたと思います。2日目以降で水が流れなかったので、プールからバケツリレーをして水を持ってきました。匂いもこもるし、暗闇なのでとても危なかったです。とにかく暗くて大変だったので、入口に2人1組で手回しライトを持って待機していました。交代はしましたが、ほぼ寝ずに深夜にお手洗いに来る避難者に対して、道を照らしていました。ちょうどそのとき、手回しライトについていたラジオで千葉のコンビナート火災や、若林区の沿岸に200人程度の遺体が打ち上げられたという情報を知り、全国で震災の被害者がでているのだと思いました。

食べ物は、一日目はかっぱ寿司のおにぎり。1日目の夜か2日目の夜か忘れたのですが、パンも届きました。切り分けましたが、避難所全部にはまわりませんでした。2日目くらいからうちの学校は物資が来ました。2日目はフルーツがたくさん、バナナとか、みかん、かんきつ類。3日目くらいに市役所の人が来て、乾パンだけなんですけど届けてくれて、あとは気仙沼って岩手が近いので、岩手から物資がきたりしました。

高校生が担っていた避難所の運営をおとなに交代したのは3日目くらいです。3日目に、生徒が先生たちに集められました。その前日、食べ物の分配で避難されている方から文句を言われることがあり、「これはとても高校生には負担させられない」、という先生方の判断で、帰れる人は親がいる避難所まで先生たちが送っていくとなりました。そこで、帰れる人は3日目に帰りました。

先生から「家に帰って勉強をしてください」と言われたときは、憤りを感じました。避難所で動ける高校生がいるのに、動くことを制限されたと感じました。その日、避難所に残っている人たちでリーダーを決めて避難所の運営を任すという形になりました。だからだいたい3日目に運営が変わりました。

食べ物の分配は、確かに大変でした。数がないのでどんなに小さくしても足りない。人数分がまわんないんで。そう考えると高校生まで全然まわらないんです。高校生はたぶん全然食べていませんでした。気をつけたのは、2日目にフルーツが届いて生ごみがでるので、ごみ箱をできるだけ多く設置したことです。人も多かったので1時間に1回くらいの割合でごみ収集をしました。感染症予防で保健室からマスクをとってきたり。感染症予防は先生に言われて、ごみ箱は自分達で考えてやりました。大きい体育館は土足で入っていました。3日目に掃除をして、ビニールシートを敷いて靴を置くようになったので、それまでは土足ですごく汚かった。身体も弱っていたんでみんな、そういうところは気をつけなきゃって。いきあたりばったりでしたが、みんなで考えながらやりました。

高校に戻っても先生から「あのときはよくやった」って言われます。

その後、ボランティアを3月23日から始めました。最初はブログに書いたように遺体安置所の話で、それ以降は支援物資の仕分けです。いろいろ詰められてやってくるので、新品と中古だけど使えるものと、ちょっと使いづらいものと、種類ごとにその3つにわけました。支援物資の配布会をするということになったときに一緒に活動をした大学生が「この状況をもっと伝えてほしい」といったことに影響を受けて、5月頃からブログを始めました。すごく反響がありました。

備蓄・物資を通して考えたこと

避難所にあったらいいなと思ったもので、最も重要なのは、光です。夜って暗くて不安になるんです。光があれば、安心感もでます。光がないと動けません。それが一番です。

あとは…状況にもよります。今回は寒い季節だったので、毛布の備蓄とか、ホテルとかだったら食料とか。

自衛隊とかが支援に来るまでの間、その間に生きるために何が必要かとか。水は食べ物よりもとにかく大事だと感じました。

他の避難所では、日用品が足りなかったところもあったかもしれませんが、うちの避難所には被災したスーパーから日用品が一気に届いたんですね。それは、結構早かったです。だからそんなに日用品に不便をしたという記憶がないのです。避難してきた方のなかに、スーパーで働いていた方がいて、一日・二日たって波がひいて落ち着いてきたから、「自分のスーパーにとりに行こう」って、ご自分のスーパーに行って生活用品を取りに行ってくれました。すし飯のことも、気仙沼だから、つながりがあったからかもしれませんね。そうでなかったら、みんなに分けなくて自分が生きるためだけに使ったかもしれない。直後から本当に近隣の、道路を挟んで隣の家の人とかが毛布をたくさん持ってきてくれたり、そういうつながりはやっぱりありますね。ガソリンがないのに、岩手の方から毛布と湧水を持ってきてくれる人もいたんで。それでガソリンがないなかで持ってきてくれる人がいるっていう、そういう環境のよさが気仙沼にはあります。

実際のところは避難していてあまり表に出ない話ですが、浸水した店に入って商品を盗んだりは、見えないところであったようです。支援物資も、仕分けをやっていたときに、「ゴミ」って言えないんですよね。第一次品、第二次品、第三次品っていうように分けるんですが、第三次品は、結局は廃棄です。表に出さないようにこっそりやっていました。いらないものを詰め込むのが支援ではないと思います。

支援物資は時期にもよります。やはり、落ち着いてきたら「よりよいもの、きれいなもの」が必要となります。一方で、気仙沼は津波で全部流れているところもあります。だから本当に必要な人はなんでもほしい。けれど浸水だけの人はちがう。その人に対しての必要なものがちがう。本当にゼロからスタートの人は、「新品なんて選んでいられない」っていうこともあるかもしれません。

気仙沼のために何かをしたい

気仙沼でしか活動をしていないのですが、気仙沼のために何かしたいと思っていること、気仙沼のために何かをすることが大事かなって。震災前は、気仙沼に残りたいとか、気仙沼のいいところもそんなにわかりませんでしたが、山形に引っ越したり、震災が起きたこともあって「いいところ」が見えるようになりました。気仙沼のいいところは、まちを歩いていると気軽にあいさつをしてくれること、まち全体の雰囲気、地域のつながりがすごく強くて元気がある。東京や山形ですら、まちを歩いていて誰かわからないしあいさつもない。でも気仙沼だったらちゃんと返ってきます。小さいことだけど。

気仙沼は高校卒業すると就職するか進学するかで気仙沼を離れる人が多いんです。住んでいる人の年代分布を見ても19から25才の層が全然いない。だからそのいない環境に大学生が定期的に来る環境づくりをしたいと思っています。その地域で過ごした子どもたちが気仙沼のために働くことも大事ですが、全国的に注目されて、大学生が気仙沼に集まって何かをすることも大事かな、と。震災前は大学生も全く入ってこなかった環境なので今の状況を続けていってほしいです。

記録を読んで追体験すること

記録に残すことはとても大切だと思っています。中高生は、一番傷つきやすい年齢だから、同じ経験をしてほしくありません。今自分達にある悲しい感情をまた繰り返してほしくない。そのために記録を読むことで経験を追体験して、同じ経験をしないようによりよくしてほしい。みんなに読んでもらいたいんですけど、自分が高校生のときに経験しているので、やっぱり若い世代、高校生に何があったかを知ってほしい。

1000年に一度といわれるかもしれないけれど、1000年に一度のときに動ける人間になってほしいです。そのために、記録を残したとしても世代が変わったら記録がうすれるかもしれないので、世代ごとに受け継いでいく。気仙沼だとおばあちゃんとかおじいちゃんから、チリ地震の津波の話が受け継がれてきていて、チリ津波ではここまで水が来たんだよって、自分は聴いて次に伝える。この震災も次に伝えたい。そして実際被災していなくてもこういうことがあったというのを伝えてほしいです。

気仙沼で活動していて多くの人に出会って、この人とのつながりがすごくあったかいもので、そのつながりから何かが生まれるなと感じたので、この邂逅を大事にしていきたいし、大事にしてほしいです。今後は、大学生が定期的に訪れることができる環境づくりということで、気仙沼で活動する多くの団体の情報を一か所に集めたホームページを作りたいと思っています。そうすれば大学生がいつ気仙沼に行けばどこで何ができるのかがすぐわかり、定期的に訪れやすい環境になっていくと思うからです。

手を差し伸べることで、きっと自分に返ってくることがある

Nさん、Mさん、Yさん、Hさん（看護学校専攻科1年生）
インタビュー実施場所：福島県会津若松市
インタビュー実施日：2013年3月8日
インタビュアー：志賀恭子／一般財団法人 地域創造基金みやぎ

看護学生としてできることを

Nさん：老人ホームでおむつ交換をしたり、食事介助のボランティアをしました。実習で疾患とか麻痺があるってわかってたんですけど、何にも情報がないままいろんな人を介護するのは大変だった。コミュニケーションが全部地震のことで、すごいつらかったんだなって伝わってきました。中には泣いている人とか「帰りたい」っていう人もいました。教科書上ではこうしなさいってわかっているけど、実際は余計傷つけたらどうしようって思って、うまくできなくて。もっと精神面でも関われるように勉強して、少しでも閉ざされた心を開けるような看護師になりたいって思いました。

行く前は不安だったけど、やってることは実習と変わらないなって。ただ、心の傷の癒し方、患者さんとの関わり方が難しかったです。だから精神科のドクターがいてくれたらいいのに、って。

Mさん：ボランティアは春休みいっぱいグループに分かれて、ローテーションで行っていました。色んな施設をまわって、介護をしてきました。日常生活の援助が主な仕事でした。介護は知識のある人じゃないとできないところがあるけど、私たちは看護学生なので少し手助けできたことがあったのかなって。

食堂で入居者の方と話す機会があって、「また地震くるんじゃないか」って不安に思っているようでした。家をなくされた人もいて、共感することもできなくて、表情がない状態で、こちらもどうしていいか分からなかったこともありました。施設にいる人は高齢者がほとんどだから、これからまた大きい地震が起きた時に避難する手段をちゃんと考えないと、被害が大きくなっちゃうかなと思います。入居者さんも「次起きたらどうするんだろう」って心配だと言っていました。

自分はそんなに大きな被害あったわけじゃなくて。家を亡くした、家族を亡くしたわけじゃない。その人にしか心の傷は分からないと思うですけど、少しでも癒せるような人と人との関わり方っていうか、地域と連携とっていくのが大事だと思いました。

Hさん：私は、老人ホームにボランティアに2日間行きました。人手が足りなくなっている食事介助とかお水交換とか、看護学生としてできることをしました。入居者の方と一緒に外にでて、「天気いいですね」と話したりしました。心に傷を負ってる人をたくさん見て、立ち直るまで時間がかかるのかな、と心配になりました。

一歩踏み出す勇気

Yさん：私は、震災後の下校の時に、ガソリンスタンドの近くでエンジンが切れてる車をMさんともう一人とで押しました。その方が後から学校に来てくださって。プレゼントとお金を持ってきてくれたんです。さすがにお金は使えなかったので募金しました。私は当時高校生で何をしていいかわからなくて、それまで特になにもできてなくて、震災で偶然そういうことがあって。自分にできることはそれくらいしかなかったですけど。

その時は反対車線にいて、近くに男子高生がいたからその人がやってくれるかなって人任せにしてたんです。でも車も人もあまり通ってなかったから、一緒に下校してる3人で「やる？」ってなって。行くまでは「どうしよう、どうしよう」って思ったけど…。一人で車押してて困っているようだったし、みんな自分のことで精一杯だったし。だから、その後プレゼントもってきてくれた時はびっくりしました。嬉しかった以上に。

Mさん：一歩踏み出す勇気をもらったかな。

Nさん：困ったときはお互いさま。迷惑だから助けないとかじゃなくて、自分から積極的に手助けをしていったらいいと思います。

手を差し伸べることで、きっと自分に返ってくることがある

Yさん：精神的なケアは大事だと思う。自分が体験していなくても、聴くことだけはできるから。普段から助け合いをできたらと思います。

Mさん：震災のような大きいことがきっかけじゃなくても、小さいことで困っている人がいたら、そのたびに手を差し伸べて助けていけたら。それはきっと自分に返ってくるから。ちょっとした一言で救われる時があると思います。一人じゃないねって。

Nさん：入居者の方のお話を実習生が聞いて、介護士さんにつなげたりしていました。話を聞いて、顔の表情が変わってるなって思ったら、歌を歌って励ましたりしてた。それで少し気分上々、みたいな（笑）。その時だけだけど、気分があがってくれるんだったら、やってよかったなって。

Mさん：体をけがしている人は分かるけど、心の傷は見えないじゃないですか。その分周りが助けてあげることって難しいと思うんです。よく見て、周りが気遣ってあげないと分からないから。

Nさん：普段から友達の顔を見て「なんかあったな」とか、私たちいつもやってるんですけど。そういう普段やっていることを震災時にも生かせたらいいなと思います。

Mさん：看護学生だけじゃなくて、一般の人でも話し聴くことだけはできると思うし。誰でも助けることはできると思う。「こんにちは」って挨拶するだけで救われるところがあると思います。

Nさん：地震後に近所のコミュニケーションが増えました。常に気にかけてくれるおばあちゃんたちが多くなりました。自分の家族も大事だけど、近所の人も大切にしなきゃ。今もすごく地震あるし、びくびくします。

Hさん：自分の知らない人も誰かの家族で、何かあったら、その後ろに家族がいて悲しむ人がいるって思うと、その人も大切にしたいです。

身近に起こることとしての震災と支え合い

Nさん：中高生がやったことを記録にすることは、いいと思う。こんなことがあったんだとか、今度地震があったらこうしたらいいんだとか、準備とか順序とか。そういうのを読んで分かってくれたらいいなと思います。小学校とか中学校とか大学とかに届けてほしい。

Mさん：他の地域の人も、もし震災が起きた場合にこれを参考にしてもらえたらと思います。

Hさん：2年たつと自分自身も忘れていることが多いから、記録していることが大切だと思います。そして、自分の身近に起こることと思ってもらえたら。こんな支え合いがあったんだって。いざとなったら支える人がいるんだなって思ってもらえたらいいなと思います。

「忘れない」ために、私にできること

Hさん、Rさん、Mさん、Fさん（環境防災科1年生）
インタビュー実施場所：兵庫県（兵庫県立舞子高等学校）
インタビュー実施日：2013年2月6日
インタビュアー：安部芳絵氏／早稲田大学 文学学術院　助教

東北での出会いから考えたこと

Fさん：8月に東北に行き、大谷中学校の中学生と交流をしました。ワークショップ方式で、中学生4人と高校生2人で、「大谷のいいところ」を出してもらいました。そこで印象に残ったことがあります。カードゲームが好きな子がいて、「じゃあそのカードどこで買うの？」と聞いたら「コンビニで買う」。「そのコンビニどこかな？」と聞いたら「海の近所で、津波で全部流されてしまった。今はもう何もない」って。先生が、津波のことを思い出さないようにということで、テーマを「いいところ」にしたと事前に聴いていたので、中学生に津波のこととか思い出させてしまったんじゃないかなって、反省しました。

Mさん：私もFくんと同じ8月と、年末にもう一度、合わせて2回行きました。年末にお宅訪問で伺ったとき、震災の時の話、津波の話をしてくれました。すごくつらそうでしたが、それでも私たちに話をしてくれたんです。帰り際にフクロウの置物を一人ずつにくださいました。手作りですごくうれしかったです。今でも手紙のやりとりをしています。

8月には、大川小学校に行かせていただきました。それまでは報道でしか知らなくて、「ここでたくさんの小さいともだちが亡くなったんやな」って思っていたのですが、実際に校舎内にも入らせてもらって、「ここは人がいた場所なんかな」って感じました。8月にはひまわりが咲いていて、12月はクリスマスツリーを置いていて、遺族の方もずっといらしていて、「自分達がいていい場所なのかな」って。

Hさん：ぼくも8月に防災ジュニアリーダーで東北に行かせてもらって、大川小学校に行かせていただきました。津波が来た時間に時計が止まっているのを見て、「ここではまだ時間が止まっているのかな」と思いました。東北に行けるのは環境防災科とか限られた人数、まわりに恵まれた人たちだけだから、ぼくは行かせてもらって見てきたこと、先生から聴いてきたことを、帰ってきて家族や友達に伝えるのが大事だなと思っています。

Rさん：私は8月19日から行きました。高速道路に乗っていたときは被害状況が全くわかりませんでしたが、実際にはがれきがまだ残っていました。最初に海岸清掃をしましたが、堤防もまだ崩れたままで、衝撃を受けました。月日がたつにつれて報道がなくなっていますが、復旧にはまだまだ時間がかかるんだなって思いました。被災地の方の話も伺いましたが、その場所は津波の避難訓練をしていたので被害はなかったけれど、他は被害もあって。津波は予想を超えるから、一人ひとりが自覚して学んでいたらもっと被害も少なかっただろうって思います。

経験を伝える、語り継ぐこと

Fさん：ぼくは、ここ環境防災科にいるから東北に行ける。行けるのは自分一人だけど広げるのは何人にでもできる。自分が行けることによって、1年、2年たってもまだ復旧をしていないというのが分かるし伝え

られるから、行った方がいいんじゃないかなと思います。

Hさん：残して、次の世代に語り継ぐのって、被災地は教材ではないけれど、それがあって次の災害に備えることができると考えています。そこで起こった問題点をみんなが知っていたら、次のときにはスムーズにできるかなって。

Rさん：震災後に中高生が果たした役割の記録は、これからの世代に読んでもらいたいです。若い人で防災に興味を持っている人は少ないと思います。中学の時の友達も全然です。でも災害はいつ起こるか分からないから、もっとみんなの防災意識を上げられるように、東北に行って感じたことを伝えていきたいです。

Mさん：自分たちは阪神淡路大震災の時に、まだ生まれていません。震災と関わりがなくなってきている。だから、防災訓練とかしても身が入っていない人が多い気がする。次世代に語り継ぐのも大事だけど同世代に語り継ぐのも大事だなって。神戸とか東北の「失敗」を他の災害の場での「失敗」にしたらダメだと聞いて、私たちが広げなきゃいけないって思いました。

「忘れない」ために、私にできること

Fさん：東日本大震災が起こったことを風化させない。阪神淡路大震災が徐々に風化していっている中で、どう風化させないで後世に伝えていくかを考えていきたいです。震災を経験している人、東北に行った人なら、被害の大きさが分かると思うんですけど、神戸にいる普通の高校生とか、震災を経験していない人には全然分からないので、災害を経験していない若い人とかに伝えていきたいと思います。

Mさん：自分は、実際被災地に住んでいるわけです。神戸という被災地で生まれて、環境防災科で東北の被災地に行かせてもらって、だから、伝えたいというのは同じですけれど、伝え方を考えたいな。それから、私の将来の夢が、救急救命士なので、応急手当とか命に関わることを勉強したいし、災害大国の日本で、現場に行って一人でも多くの命を助けたいから、今できる勉強は全部していきたいし、本もたくさん読もうと思っています。

Rさん：阪神淡路大震災のことも、東日本大震災のことも、わたしたちが感じたことをできるだけ多くの人に伝えて、風化させないようにしたいです。「忘れられる」ことが被災地の中で一番悲しいことだと思うので。

それから、今、特別支援学校の子どもと防災学習をしています。特別支援といってもいろんなタイプがあるから、伝え方も変わってくると思うんですけど、いろんなところで災害は起きるし、そうしたらその子たちも災害にあうと思うので、防災のことを伝えられたらいいなと思います。

Hさん：ぼくは地域のことを頑張りたいなと思っています。地域の防災訓練とかお祭りのリーダー役が先輩から引き継がれていて、自分が住んでいる地域でもやりたいなって。国って地域が集まってできているので、地域ごとに防災の観点から見て災害に強い地域になれば、日本はどんな災害があっても強いのかなって思います。ぼくはここで勉強したことを地域ごとの代表として地域に浸透させて、将来は災害に強いまちづくりができたらいいなと思っています。そのためには、やっぱりふだんの勉強からがんばりたいです。

子どもたちが想い・考えを出せる場を

Aさん、Nさん、Eさん、Tさん（環境防災科2年生）
インタビュー実施場所：兵庫県（兵庫県立舞子高等学校）
インタビュー実施日：2013年2月6日
インタビュアー：安部芳絵氏／早稲田大学 文学学術院　助教

人と関わって実感した大震災

Aさん：私は1年生の時クラスの全員で東松島に行きました。テレビで見て「あぁこれはすごいことになってるぞ」って覚悟を決めて、「自分は何ができるんやろ」って思いながら、バスに乗って行ったんですけど、夜遅かったのでバスが着いても被害状況がよくわかりませんでした。朝起きてボランティアをしてから、バスで被害のひどかったところにいかせてもらって、そこで初めて「あぁ私は今この場所にいるんだ」っていうのを感じました。ここで暮らしていた人は大丈夫なんだろうかとかという想いもありました。実感がわいているけれどわかなくて。結局、泣きませんでしたが、自分の心のなかでなんともいえない想いがあって。その想いを抱えたままボランティアをしたわけです。

私が印象的だったのは、2日目と3日目に、あるお宅に行って庭と一階部分の泥かきをした時のことです。台所のひきだしをあけたらまだヘドロが乾いていなくて、台所にお茶碗がはさまっている。漬けていたらっきょうが「あぁそういえばこれ漬けてたんやわ」って床下からでてきたりと、日用品がでてくるわけですよ。私たちで判断できないのでご主人に「これはどうされますか」って訊くんですけれど、悲しそうな顔で「しょうがないから捨てる」というのを見て「あぁ」って思いました。めがねがひとつでてきて、ちょっと壊れてたんですけれど、洗えば何とかなるって思って。めがねをきれいにしてご主人に返したとき、とてもうれしそうな顔をしてくれました。ボランティアをして、人と関わって、すごいことが起こったんやなって、あらためて感じました。

Nさん：私は、2011年の5月にクラスで東北に伺ったほかに、2012年の冬に、全国防災ミーティングに行かせてもらいました。兵庫県内の高校生とか東北の中高生が集まって話し合うというものです。2012年の8月に行かせてもらってから子どもの活動に想いがあって、「自分ってなにもできないな、子どもやし」っていう想いもあったんですけど、中高生が活動している話を聴くたびに「向こう（東北）の方が活動しているんやったら、自分も何かしたい」って思っていました。その中で一番覚えているのは、燃えてしまった学校の話です。地域の中には「取り壊してほしい」という人もいる。あなたがもしその地域の人だったら取り壊しますか、とミーティングで中学生に問いかけられて。いろんな話を聴く中で、いろんな場所でいろんな建物に気持ちがつまっているんだなって思いました。簡単には決められないし。10年、20年たっても忘れちゃいけないと思いました。

被災した人の「いっぱい」を自分の防災に取り入れる

Eさん：私も、クラスで2011年5月に東北に行ったことに加えて、12月に東京、被災地、舞子という3地域の高校生が集まって、石巻市や東松島市に行かせてもらいました。防災を専門に学んでいる自分たち、福祉を専門に学んでいる東京の高校生、そして実際に被災した現地の高校生が一緒に。

いろんなことを学んでいる、経験している高校生だからこそ、自分たちの得意分野を活かせるんじゃないかなって思いました。「防災」というひとつの枠のなかには、いっぱいの要素が含まれていて、それは福祉、子どもの教育、障がいのある人の支援などがあると思います。だから、いろんな高校生の意見を聴くことは大切だと思います。

石巻や東松島の高校生とワークショップをして感じたことは、被災地の中で「現在進行形で苦しんでいる方もおられる」ということです。私たちはもっと被災地のいろんなことを知るべきだし、知るためには、現地の方と話をすることが一番大切だと思いました。だから、現地の高校生と交流して、これからどんな関わり合いができるかとか、どういうふうに災害に備えるかという話に、どう意味を持たせるかも自分たち次第。たとえば石巻の子が「いっぱい言いたいことがあるんですけど」っていったその「いっぱい」のことを自分の防災に取り入れていくのが大事やなぁって。これからの東日本大震災の支援では、実際に経験した中高生の意見を活かしていくべきだと思います。

Tさん：テレビでは東北の被害のほんの一部しか報道されていません。ぼくは3回東北に行きました2011年5月、8月、それから2012年12月に。5月に行ったときに、「取り壊す予定の家があるから粗大ごみを外に出してくれ」という依頼を受けて、ボランティアセンターの人たちと一緒に行って仕事をしたんです。家の中に入ってみると中はむちゃくちゃで、そこで遺体を見つけてしまいました。ぼくとクラスの女の子二人で。はじめは動揺したんですけど、よく考えてみると、その家は取り壊しをされる予定で、もし見つからんまま取り壊しされていたら成仏されていないと思いました。ボランティアセンターの人から「ここは危険だから帰りなさい」と言われました。あとで考えたら、見つけてしまったショックよりも、成仏してもらえることになってよかったという気持ちになりました。

Aさん：そんなとき、やっぱりミーティングがとっても大事でした。活動の反省だけではなくて“こういうことをがんばった”とか、“これはダメやったから明日は少し変えよう”とか、全力でやったけどそれでも足りなかった部分を補えるようにしようということも大切ですし、被災地を見るのが私たちは初めてで、私たちも阪神淡路大震災で被災しているけれど、被災直後を直接見たわけではないので、見たことのダメージというか、衝撃的でみなハイテンションだったりと、背景にはみんな精神的にきついものもあるっていう話もしたりしました。ミーティングはすごい大事やなって私自身は思っています。

子どもたちが想い・考えを出せる場を

Nさん：むこうの子もこっちの子も、中高生はいろんなことを考えている。それを引き出せる場がすごく大事やなって思います。たとえば、支援の時に何がなくて困ったとかって、いままで全然聴かれていない。「支援してくれてありがとう、だけどこういうのは少し困ったよ」っていうのは聞けなかったので。12月の高校生の会議でそれを聴けて、やっぱり大事やなって思いました。そういう場を用意してもらえたら、中高生は考えていることをしゃべると思います。

Aさん：仮設住宅に茶話会に行った時のことなんですけど、そのときにコンクリートを敷き詰めた場所で子どもが遊んでるんです。鬼ごっこくらいしかできないんですけど。構ってほしくて来るんですけどすごい子どもが暴力的で、「あかんで」っていったら、めっちゃ真顔でこっちを見つめてくるんです。先生から、子どもは上手に表現できないから遊びに出てきたりするというのは聞いていたんですけど。本当に何回も、手加減とか知らなくて、私たち高校生でも「これは痛い、やばい」って思うほどの力でぶら下がってくる。ちょっと注意したら真顔、その繰り返しで。でもその裏には子どもたちなりの、状況が変わってということがあるので、もっと子どもたちが吐き出せるような、もっとちっちゃい子が想いを出せるような場が必

要なんじゃないかなって思いました。

Tさん：まず、震災の起こった当時と今とでは、必要性とかニーズが変わってきていると思うんです。実際12月に高校生から聞いた話では、「高校生が話を聴いてくれるだけでもわたしらはうれしい」って、被災された方がおっしゃるそうです。仮設住宅だとどうしても自分一人で抱え込んでしまうし、またどこかに引っ越ししても知人もいない中での孤独と辛さに悩んでおられるそうです。そこで高校生とか若い世代が来てくれたらうれしいし、またこれからの若い人が全国に伝えていく媒体になっていくだろうと思います。

ちっちゃな輪をつくることから

Aさん：夏祭りのボランティアに参加させてもらった縁でそこの地域の人が「東北ボランティアの経験を伝える」っていう会を開いてくださったんですよ。円になって4人くらいで、なんでもない世間話とあわせてそういう話をすることで、ちゃんと伝わるし、地域の防災力もあがると思うんですよ。最近、ちっちゃいことだったら、高校生でもできるのかなって思い始めました。今考えているのはそうやってちっちゃい輪をつくっていくことです。

Tさん：“聞いて、伝える”を広めていくと被災地の状況とかもわかるし、高校生と知りあえるきっかけにもなると思いました。ぼくが東北に行った時に気をつけていたのは、授業で先生がおっしゃっていた「被災地は教材じゃない」ってことです。被災地に行くのに、支援をする目的ではなく、どんな状況か自分が知るために住民の許可なく写真をばしばし撮ってしまったり、いろんな話を聴いたりして、被災地を学びの場として活用してしまう。それではいけないので、写真を使わず文字だけで表現したり、どうしても写真が必要な時は、その家の人や近所の人に「神戸にいる、被災地を知らない人にも伝えていこうと思うので、写真を撮っていいですか」って尋ねてから、撮らなきゃいけないって考えています。

「絶対に来る」次に備えて

Tさん：ぼくは、将来地域の人と関わりあって災害に強いまちにしていくような仕事に就こうと思っています。東北で地震が起こって、いろんな被害がありました。東京では首都直下型地震とか、東海南海地震もあり、地域や地質の条件で被害の状況も変わってくるだろうと思います。都市ならばエレベーターが停止して被害があるとか、焼津市なら東南海地震の後3分で津波が到達するなど、たくさんの知識を学び、強いまちにしていけるか考えていきたいと思います。

Eさん：わたしは支援する側とか支援される側とかそういう関係をなくしたいです。それだとどうしても隙間というか溝ができてしまうと思うので、そのような関係ではなくて共に考えていく復興を作り、これからどういうふうに防災を進展させていくかが大切だと思います。被災地では大変なところが多くてそれどころじゃないというのが正直なところだと思います。それでも阪神淡路で被災した神戸と、東北とそしてこれから起こるかもしれない東京とを合わせて一緒に考えていきたいです。支援するとかされるとかではなくて、同じ目線に立って考えていくことが大切かなと思います。

Nさん：この冊子ができたら、同世代の方にまずいっぱい読んでほしいなと思います。同世代ががんばっているとそれだけで自分も力になるので。つぎに次世代の人にも見てもらいたいです。私も阪神淡路大震災の年に生まれて、阪神淡路大震災のときに活動してきた方の話を伺ったりして、防災について学んできた。防災をやっているから、次にも何かが来るって思える。絶対に起こるって。こうやって防災を学んでいなかったら「次、来るわけないやん」って思ってしまっているかもしれないので、同世代や次の世代の人に、

防災をもっともっとやって「絶対に来る」って備えてもらえたらと思います。

Aさん：私は、普段の生活の中では習い事の先生に話すとか、本当に小さいところから入っています。“同世代から次世代へ伝える”というのもあるんですけど、私が思ったのは少し違う考えです。私たちは阪神淡路があった神戸で生まれ育ったので、小学校のころから「しあわせはこべるように」とか歌って、避難訓練するっていうのは当たり前みたいな感じでした。でもちょっと離れた所だったらその歌すらも知らなくて、本当にすごい近い距離なのにそれすらもないんやって感じました。確かに次世代に伝えるのも大事だけど、場所、地域を広げていかないと、やっぱり他人事になっちゃうんで、他の地域に伝えることが大事だなと思っています。私は、たくさん伝えてもらったこともあるし自分が感じたこともあるし、自分の中で思っているものはすごい大事なものなんだって実感できているので、とにかく伝えるためにどうすればいいかをよく考え、身近な人には必ず伝えたいと思います。そして、おとなになっても必ず伝えていきたいと思います。

阪神淡路大震災の年に生まれて、東日本大震災を支える

Kさん、Nさん、Sさん、Yさん、Oさん（環境防災科3年生）
インタビュー実施場所：兵庫県（兵庫県立舞子高等学校）
インタビュー実施日：2013年2月6日
インタビュアー：安部芳絵氏／早稲田大学 文学学術院　助教

高校生に、何ができるのか

Kさん：最初は2011年5月、東松島に行って、家の泥かきを5日間別々の家でやりました。3ヶ月後の8月に行ったときもまた、神社の泥かきをして、2012年は、被災された方と茶話会をし、それから海岸掃除をやりました。

Nさん：ぼくは、1回目は2年生のときKくんと一緒で、2回目は3年生の時に行きました。空き地の草をぬいたりしていました。

Kさん：2011年のときは、住宅街でも泥もがれきもまだあって、2012年のときは何もなくなっている状態でした。

Kさん：最初行った時は、やっぱりテレビで見るのとは全然ちがって、実際行ってみると被災された方の想いを感じました。2012年に行ったときに、「まちはきれいになったけど、何もなくなっただけ」という話を伺って、1年たっても、見た目は変わったけど中身は変わっていないのかなという気がしました。

Nさん：実際行ってみると、物が散乱して、家のなかも自分が思っていたよりひどくて。現地の高校生と会ったことがありますが、同じくらいの年の人がそれを経験したんだなぁと思ったら、自分も胸が痛くなりました。

Sさん：何をしたかは二人と同じなので、2011年5月に班長をやらせてもらったときにどうだったかを話します。5月で、とても暑くて、水分の補給など全く気を配れなくて、気分が悪くなった班員がいたので、その辺の気配りが足りなかったなぁと。2年生になってからすぐだったので、あまりうまくコミュニケーションをとれなかったり。最終的にはみんな一緒に一丸となって作業ができたんですけど、最初の方はいざこざとかあって苦労とかしました。

Yさん：私は、震災発生から1ヶ月後の4月にも一回行かせていただいて、そのときは小学校と中学校の学校再開に向けてグラウンドの泥かきと、体育館の掃除をしました。私たちは阪神淡路大震災の年に生まれて、防災の授業で、神戸の被災状況をみてきたんですけど、生で見る被災地というのに衝撃を受けました。

初日に、一軒一軒訪ねて回って、最後のお宅を訪ねたとき、そこのおうちの人に「高校生やからできることはない」って言われました。環境防災科だし、せっかくこういう機会を与えてもらって行っているから、役に立てたらなって言う気持ちで行ったんですけど、パッとそういう現実をつきつけられると、「あぁやっぱりできることは、ないんかな」って。でもちょっとねばって、そのお宅で活動させてもらったんです。マットを洗ったり、いろいろして、結局そのお宅では2日間活動させてもらって、休憩時間とかに被災のお話を聴かせていただいて、最後には「ありがとう」って。「ちょっとでもできることがあったんかな」って嬉しかったです。

そんな感じで2012年8月も行って、4回行かせてもらって、今年の3月に卒業旅行という形で東北に行こうかなという計画をたてていています。ずっとつながりたいなって。

Oさん：3月11日は、部活で垂水のテニスコートにいて、本部でテレビを見ていたときに津波の映像を見ました。そのときに、環境防災科で学んでいるから、復興の力になりたいなと思っていて、学校で行く機会があったので、2011年の5月と8月に参加させてもらいました。活動を行った家の方が、「自分の友人が亡くなった」、「趣味の友人を亡くした」と、淡々と話してくださって、僕らが清掃をしているときにも差し入れをくださって。支援しているとか、されているとかというよりは、「僕らが受け入れられている」、という感じでした。

8月に気仙沼で、避難経路にはえた草抜きをして、達成感がある一方で、草を抜いても避難経路とかぐにゃぐにゃしていてわかりにくいし、狭いんです。草抜きをやっていた高校生はみんなのぼったんですけど、のぼりにくくて、お年寄りとかたぶん無理だと思う。だから単に避難経路をつくるんじゃなくて、避難経路の安全基準があったら人の命を救うことにつながるんじゃないかなと感じました。

心に残っているのは、被災された方が「遊びたい盛りの高校生が泥かきや清掃をしてくれて日本も捨てたもんじゃない」と言ってくれたことです。ぼくたちにとっては泥かきをしているだけなんですけど、そういう風に言ってもらって本当に嬉しかったです。

阪神淡路大震災の年に生まれて、東日本大震災を支える

Yさん：2012年8月に草ぬきをしたときに、むこうのボランティアの方に「忘れんといてほしい」っていわれました。私たちは授業で先生から「忘れたらだめよ」とか「語り継いでいかなあかん」っていうのを言われています。だから、知識として頭の中にはあったんですけれど、実際に現地の方から言われて実感しました。「忘れられることって本当にこわいことやし、伝えていかなあかんな、使命やな」って。自分達は実際に行って活動もしたし、阪神淡路大震災の年に生まれたっていう2つをうまくつないで語り継げて言ったらいいなって。だから、「記録に残すことってすごく大事やな」って思う。

Oさん：子どもと遊ぶとか、この世代やからこそできるんやっていうこともある。

Sさん：サッカーするとか子どもと遊ぶんやったら誰でもできることなんで。あんまり何ができるとか、難しいことじゃないと思います。

Nさん：やっぱり震災があったことを忘れてほしくないんで、こういうふうに冊子にしてものにして残すことはすごくありがたいし、今後も活動に貢献できていったらいいなと思います。

Kさん：ぼくたちは環境防災科で防災を学んでいますが、自分がどうやって動いていいかわからないっていう同世代の高校生にぼくたちの記録を読んでもらって、「自分達の世代にもこういうことができるんだ」って知ってもらって、行動に移すきっかけになってもらったらいいなと思います。

Sさん：環境防災科の声だけじゃなくて、ほかにもたくさんボランティアをした中高生がいると思うので、そういう人の声、ふつうの高校生が感じたことを残していってもらいたいなと思います。

Yさん：この記録に残すことってすごい大事、わたしが8月に言われた「忘れんといてほしい」という言葉は、たぶんわたしも忘れないし、大学に進学してもそこで新たに発信源となって伝えら得たらなって思います。

Oさん：記録は、今までに行ってきたことをまとめるということだけど、これからの活動につながることでもある。過去の記録が未来への復旧・復興につながってくれたらなって思います。

Ⅱ　投稿紹介

岩手県からの投稿 …… 42

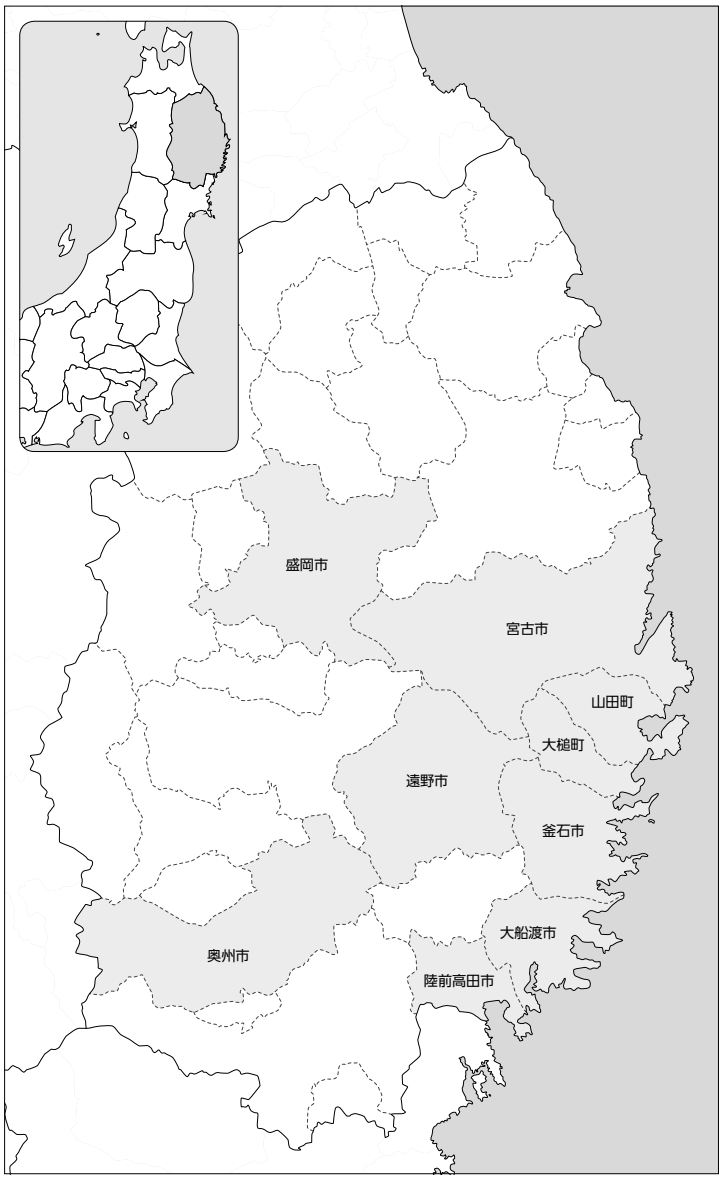
宮城県からの投稿 …… 53

福島県からの投稿 …… 78

秋田県・山形県・東京都からの投稿 …… 84

兵庫県からの投稿 …… 87

岩手県 からの投稿



投稿数

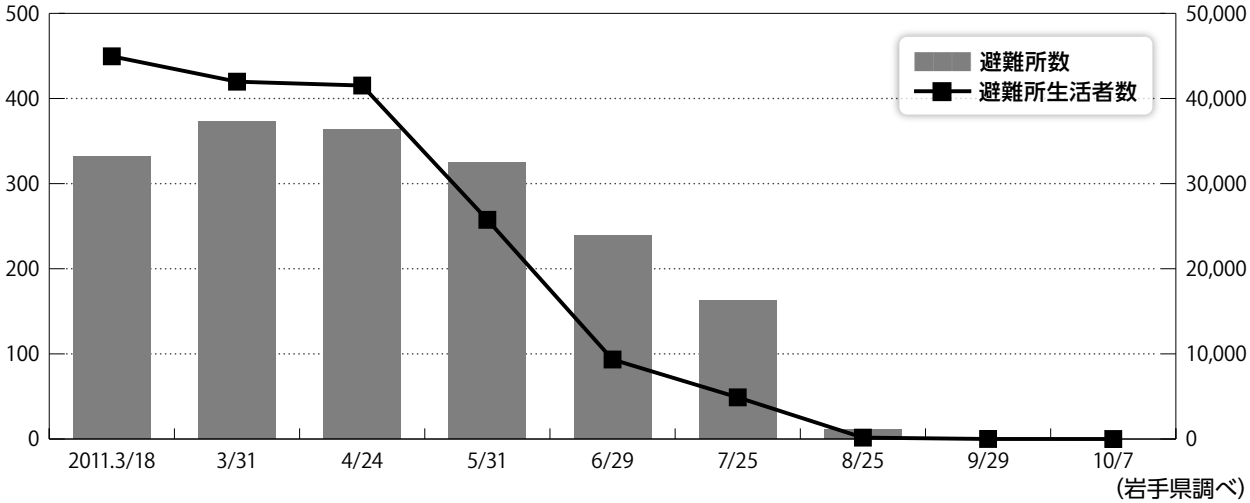
中高生	おとな	計
22	12	34

被災状況

死者	行方不明者	家屋倒壊数	避難生活者数
4,673	1,151	24,916	41,907

（2013年3月現在、警察庁・復興庁調べ）

避難所数・避難所生活者数の推移



（岩手県調べ）

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
ハツラツ！ラジオ体操！		12

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
2011 3月 ～	岩手県 陸前高田市	男子 2人

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）

6:30からのラジオ体操をやった。

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）

・小学校の先生にすすめられた
・そこの仮設住宅にあまり行事などがなかったから

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）

・ラジオ体操でいろいろな友達もできてよかった。
・部活でつかれていた体がすっきりした。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）

ラジオ体操に来てくれるんは「たのしそうにしてよくなってきた。」「生活のリズムがととのった」などと言われてうれしかった。

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）

こんなに小さな事でもよろこんでくれたりしてくれる人がいるなんて思っていなかった。
このような活動でこれから小さいこともふやしていけたらいいなと思いました。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと
かいちゅうでんとう 水 食料 電気	水運びの人

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
一人は皆のために、皆は一人のために		17才

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
3月～5月	岩手県山田町	おばさんやおじさん 10人くらい

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）

避難所での、朝、晩のごはん作りをした。

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）

お腹が減りすぎていて、早くごはんを食べたいと思い、調理室に手伝いに行ったことがきっかけ。最初は、邪魔にされていたけど、慣れると仕事を任されるようになり、皆のためにと頑張ることができた。

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）

食べ物の大切さと、料理の難しさを感じた。
皆のために自分が役に立っていると思えただけで、楽しくごはん作りに協力することができた。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）

お母さんに、ありがとうと言われた。
知らないおばあちゃんに、ありがとうと言われた。

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）

おばあちゃんに、ご飯を届けてあげると、ありがとうと何度も言われて、やって良かったと思えた。
ありがとうと言う一言は、私をものすごく元気づけてくれた言葉だったなあと思った。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと
高校生の勉強場所と時間	

※投稿者のお名前はプライバシー保護の観点から記載を控えさせて頂きました。
※投稿紹介は原文のまま掲載しています。

タイトル（あなたの見た、或いは助けられた活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
		32

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町	だれが（人数、年齢など）
3月11日	岩手県釜石市	3～5人くらい 高校生で自動車教習所に通っていた

①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？
勤務していた老人ホームの利用者さんの避難を手伝ってくれた。周りで津波がくるのを見ている大人をよそに、その男の子達は、私が「すいません！まだ利用者が中にいるので助けて下さい！」と声をかけすると、すぐに「どこですか！！」と走って来てくれた。そして、夜になって本当に小さい1口で食べれる様なおにぎりを施設で作り配ると「皆さんは大丈夫です！おじいちゃん、おばあちゃんにあげて下さい！」と。本当に助けられました。
②中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？（あなたや周りの大人に与えた影響など）
まず、大人より先に利用者の避難を手伝ってくれたことで、それを見ていた大人が手伝い始めたこと。そして、私自身どうしたら良いのか分からない状態で、泣きそうになっていたけど、この高校生の男の子達の優しさに救われました。ありがとうございました。
③未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。
津波が来るのを分かっていながら、自分達の逃げた場所より少し低い所にあった老人ホームに助けに来るのは、すごい勇気がいったことだと思います。私が高校生だったら？と考えてしまいました。そんな勇気のある、優しさをもつ子がいるということは、とてもたのもしいことです。
素敵な大人になって下さい。
※書ききれない場合は、裏面に書いてください。

タイトル（あなたの見た、或いは助けられた活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
若い力の活動力		53

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町	だれが（人数、年齢など）
H23 3月～6日頃	岩手県下閉伊郡山田町	私自身

①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？
被災者の食事の運搬役を手助けして下さった。人数が多かったので人数分運ぶのに苦労していたので、助かりました。若い高校生の心づかいに寒さの中あたたかさを感じました。
②中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？（あなたや周りの大人に与えた影響など）
子供だから助けるのは大人の役目と思っていたのに、たくましく成長している子供たちの底力を見せられた気がしました。
③未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。
いざという時の力になることを心がけて、学校でご指導くださる先生方の苦労もあったでしょうが、先生方が先にたってご指導して下さったので、素直に子供たちが動いたものと思いました。これからも、子供たちの心のささえとなってご指導くださり、社会人の出発の下地をつくってほしいと願っております。
※書ききれない場合は、裏面に書いてください。

子ども①	笑顔いっぱいのラジオ体操		
年　齢	13歳	いつ頃	2011年7月～今もまだ続いています。
どこで	岩手県陸前高田市		
だれと	同級生3人と		
どんな役割を果たしましたか？	月、水、金曜日の朝ラジオ体操をやった。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	震災前はやっていたが震災後にやらなくなったラジオ体操をみんなに呼びかけてやったら楽しいだろうと思ったから。		
やってどう思いましたか？	ラジオ体操をやった日は体が軽くなり1日がんばれる。		
周囲の反応はどうでしたか？	おばあちゃん方に「みんなに会って話もできるし、体の調子も良くなった。ありがとう」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	みんなが元気になったし、笑顔がいっぱいで「ありがとう」とたくさん言われるからうれしい。		
避難所であったほうがよかったもの	サッカーゴール（ボール）		
応援があったらやりやすかったこと	水運び、そうじ、食料運び		

子ども②	みんなのために		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年3月～4月頃
どこで	岩手県山田町		
だれと	いとこ、弟と3人で		
どんな役割を果たしましたか？	生活使用水を山水をくみ運んだ。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分がやることを探した時にこれしかないと思い始めた		
やってどう思いましたか？	水の大切さや若い力が必要だと感じた		
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言ってくれた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	みんなのために働くことができてよかった		
避難所であったほうがよかったもの	発電機、ストーブ、布団		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども③			
年　齢	17歳	いつ頃	3月
どこで	岩手県陸前高田市		
だれと			
どんな役割を果たしましたか？	・震災の翌日に市役所の方の指導のもとホワイトボードに避難者名簿を作成しました。 ・給水車に並び水運びをしました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	役に立ちたいと思い率先してやろうと思いました。		
やってどう思いましたか？	役に立ててよかったと思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？	みんな一生懸命でよゆうがなかったのでわかりません。		
やってよかったと思うことなど、教えてください			
避難所であったほうがよかったもの	毛布、ハブラシ、トイレットペーパー、ラジオ、カイロ		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども④			
年　齢	17歳	いつ頃	3月頃
どこで	岩手県山田町		
だれと	友人と2人		
どんな役割を果たしましたか？	小学校で衣類の品分け等		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分にできることはこれくらいしかないと思ったし、小学校の先生に声を掛けられたから。		
やってどう思いましたか？	たくさんのきふに感謝の気持ちで一杯になったし、やってよかったと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	わかりません		
やってよかったと思うことなど、教えてください			
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑤	ホタテ・ワカメの養殖の復興		
年　齢	18歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	岩手県山田町		
だ れ と	20人くらい		
どんな役割を果たしましたか？	養殖作業を手伝いました。その他、力仕事などを手伝いました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	身近だったのと、何か役に立ちたいと思ったからです。		
やってどう思いましたか？	朝がとても早く、しかも寒くてとても大変でした。しかし、その中でもみなさんが、必死なのが印象的でした。		
周囲の反応はどうでしたか？	よかったと思います。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	とても大変でしたが、実際にやってみることで、町の問題を自分自身の目で見て感じれたのは、とてもためになりました。		
避難所であったほうがよかったもの	ふろ		
応援があったらやりやすかったこと	たくさんの方々にご支援いただいたので特にないです。		

子ども⑥	陸前高田でのボランティア活動		
年　齢	16歳	い つ 頃	2012年9月
ど こ で	岩手県陸前高田市		
だ れ と	学校の1年生と		
どんな役割を果たしましたか？	陸前高田市に行って草取りをしました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校の行事だったので行きました。被災地に行くのはこれが初めてだったので、役に立てるようにがんばろうと思い、作業しました。		
やってどう思いましたか？	実際に被災地を見て、何もない空き地にびっくりしました。作業中にズボンやフライパンなどが出てきて、ここで前まで生活していたんだと思うととても悲しくなりました。		
周囲の反応はどうでしたか？	親にいい活動をしてきたねと言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	暑い中での作業はとても大変だったけれど、とても達成感があったし、少しでも被災地の人たちの役に立つことができたので良かったです。		
避難所であったほうがよかったもの	なし		
応援があったらやりやすかったこと	なし		

子ども⑦	さんさで伝えたい		
年　齢	15歳	い つ 頃	2011年10月22日
ど こ で	岩手県盛岡市		
だ れ と	さんさの会、PTAの数人のお母さん達(4人くらい)、子供達(7人くらい)		
どんな役割を果たしましたか？	山田町に行き、さんさを披露しました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	募金活動や新聞、テレビなどで様子を知り、応援することなどしかできていませんでした。なので、私は直接被災地で何か活動をしたいと思っていました。そんな時、この訪問があると知り、私も行き、さんさを披露したいと思いました。		
やってどう思いましたか？	やっぱり、直接被災地に行き、活動するのはちがうなと思いました。テレビの画面や音声では伝わらないことが、たくさんあることが分かりました。「私は今まで被災地の方々のために活動できていたのか?」「これから何をすれば良いのだろう?」と様々考え、学ぶことができました。		
周囲の反応はどうでしたか？	みなさん、感動したと言ってくれました。拍手などして下さりとても嬉しかったです。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	・さんさを披露することができ、改めて本当に良かったなと思いました。少しだったとは思いますが、楽しみ、元気を与えられたのではないかなと思います。 ・終わった後は達成感などがあり、とても満足していましたが、これからも続けていこう!という思いもでてきました。いつまでも忘れないことが大切だとも思いました。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑧	いつまでも繋がっていよう		
年　齢	12歳	い つ 頃	
ど こ で			
だ れ と			
どんな役割を果たしましたか？	・田野畑交流(新聞作り、パンフレット、りんごプレゼント) ・募金活動 ・笑顔にこにこ作戦		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分が出来ることで、人の役に立ちたいから。		
やってどう思いましたか？	復興はまだこれから。これからも繋がっていきたい。		
周囲の反応はどうでしたか？	嬉しそうだったし、喜んでくれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	頼られると、何をやっても「全部やって良かった」と思う。		
避難所であったほうがよかったもの	水・食料・燃料・トランプなどの遊具		
応援があったらやりやすかったこと	交通手段		

子ども⑨	小さな小さな力		
年　齢	17歳	い つ 頃	3月末～今年の9月頃
ど こ で	岩手県奥州市・陸前高田市		
だ れ と	サークル（ジュニアリーダー）10人、学校の生徒40人		
どんな役割を果たしましたか？	直後にはジュニアリーダーの活動の一環として街町募金活動をしました。他に学校としての取り組みで高田市に復興支援ボランティアへ、クラス単位で1回、生徒会で1回、有志として2回行きました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	普段行っているジュニアリーダーの活動のおかげでボランティアに意欲的になったせいか、自然に「被災地の方のために何かしたい」と思ったからです。		
やってどう思いましたか？	出来ることが限られていて、子どもというだけで人が集まってやっても微力なのに、1人だったら本当に非力なんだなと思った。自分がやったことが誰かの幸せにつなげられたか正直分からないけど、明るい未来の土台のほんの一部でもなれたらいいなと思う。		
周囲の反応はどうでしたか？	ジュニアリーダーの事務局の方にほめていただいたことが一番嬉しかった。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	何度か復興支援活動に行ったので、行く度に変化が見えたのが良かった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑩	被災者の気持ちを考えて		
年　齢	16歳	い つ 頃	2011年3月～11月頃
ど こ で	岩手県釜石市		
だ れ と	野球部　30人位		
どんな役割を果たしましたか？	被災地域の環境整備、うどん・毛布・生活用品の提供		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災した人の力に少しでもなりたいと思ったからです。		
やってどう思いましたか？	もし自分が逆の立場だったら必ず人の助けが必要になると思うし、被災した人に対しての対応をどうすればいいか分からなかったが明るく対応してくれて良かったです。		
周囲の反応はどうでしたか？	ボランティアをした所で全員にありがとうと言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティアをしてみて大変でしたが被災をして苦しい思いをしている人の笑顔を見れて良かったです。		
避難所であったほうがよかったもの	風呂、シャワー		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑪	復興活動		
年　齢	16歳	い つ 頃	6月か7月
ど こ で	高田		
だ れ と	クラスメイトと先生　40人位		
どんな役割を果たしましたか？	草取り		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校から指示されたことだったから。初めての復興活動だったので、少し緊張した。		
やってどう思いましたか？	とても体力の要る作業だったし、この場に家があったと言われても実感がなかった。草取り中に食器や机の引き出しも見つかって驚いた。		
周囲の反応はどうでしたか？	同じボランティアの方々と「お疲れ様」と声をかけ合った。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	実際に行ってみると、映像では伝わりにくいところも身をもって体験することができるので、とても貴重なことだと思いました。1度は行ってみるべきだと思います。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと	仮設トイレがもう少しあると作業しやすいと思います。		

子ども⑫	気付かされた事		
年　齢	17歳	い つ 頃	3月～5月
ど こ で	山田町船越		
だ れ と	3人		
どんな役割を果たしましたか？	お水運び		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	水がないと何もできなかった。		
やってどう思いましたか？	どれだけ貴重なものか改めて思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	特に何もない		
やってよかったと思うことなど、教えてください	困っている人に手をさしのべること		
避難所であったほうがよかったもの	サランラップ		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑬	
年　齢	17歳
いつ頃	
どこで	
だれと	
どんな役割を果たしましたか？	がれきから出ている火を消すのを手伝った。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	人手がたりなかったから。
やってどう思いましたか？	貢献できたと思う。
周囲の反応はどうでしたか？	消防団の人にも感謝された。
やってよかったと思うことなど、教えてください	このような時は知らない人とかでも協力し合うことは大切だと思った。
避難所であったほうがよかったもの	テレビなどの情報をしいれるもの。
応援があったらやりやすかったこと	

子ども⑭	水運び
年　齢	17歳
いつ頃	3月～4月頃
どこで	岩手県山田町
だれと	姉弟+いとこ　5人
どんな役割を果たしましたか？	水運び
なぜ、それをやろうと思いましたか?	水がとまって出なかったので。生活に必要だったから。
やってどう思いましたか？	寒い中重い物を1日に何度も運ぶので大変だったし、辛かった。
周囲の反応はどうでしたか？	大人に「助かった」と言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	水がない生活は辛い。
避難所であったほうがよかったもの	暖房器具
応援があったらやりやすかったこと	避難の手伝い

子ども⑮	
年　齢	17歳
いつ頃	2011年5月～2012年12月頃
どこで	岩手県陸前高田市、大槌町
だれと	友人2～3人
どんな役割を果たしましたか？	大槌町・菜の花プロジェクトに参加、河川敷の掃除、陸前高田市・向日葵プロジェクトに参加、広田町のゴルフつくり
なぜ、それをやろうと思いましたか?	実際にその現場をなまで見て少しでも被災地に力を貸したいと思ったから
やってどう思いましたか？	とても大変だったけど自分の力にもなったのでよかった。
周囲の反応はどうでしたか？	Aさんに「遠い所からよくきてくれたね。」って言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	自分の母の姉も被災してしまったので、少しでも役に立つ活動ができたのでよかった。
避難所であったほうがよかったもの	お店
応援があったらやりやすかったこと	

子ども⑯	私にできること
年　齢	15歳
いつ頃	2011年3月12日～4月頃
どこで	宮城県宮古市の小学校
だれと	小学校卒業生の5～6人
どんな役割を果たしましたか？	小学校に避難している人の避難者名簿作成を手伝った。同じ教室にいた年下の子と遊んだ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	当時、家族の無事が確かめられなくて、家の片付けもできなく、とても不安でした。黙っているだけなのが、一番不安がふくらむので、何かしようと思いました。
やってどう思いましたか？	正直、私の家の被害は床上50cmの津波くらいで大したものではありませんでした。もっとひどい被害にあった方々を見て、もっと「何か役に立てないか」という思いが深まりました。
周囲の反応はどうでしたか？	学校の先生が「助かった」などと言ってくれたり、遊んであげた子が、「ありがとう」と言ってくれたり、楽しそうだと、とても嬉しかったです。
やってよかったと思うことなど、教えてください	大人に頼らず、中学生の私たちにもできることがあると実感できました。また、自分はひとりじゃない。みんながいる。と感じました。
避難所であったほうがよかったもの	食料、飲料、防寒具、子どものおもちゃ
応援があったらやりやすかったこと	被災していない人の心ない言動が許せませんでした。

子ども⑰	小さな支援でも、やがて輝ける明るい復興へと！！		
年　齢	17歳	い つ 頃	大槌町2011年7月、11月、2012年6月、10月(他) 陸前高田市2011年11月、2012年6月
ど こ で	岩手県-大槌町、陸前高田市		
だ れ と	学校の友人、担任の先生など(数十人)		
どんな役割を果たしましたか？	被害地の現地では、ゴミ拾いや草とり、川の上付近に畑を作ったりしました。畑の方では、石や草が生い茂っている状態からのスタートで、ゴミや石や雑草を取り除いて、それから土を運んで、きれいになった場所に土を満遍なく敷きました。そこから、菜の花を育て、十分育ったものは収穫し、干しました。脱穀した菜種は、油にするそうです。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	3.11の日、私は内陸にある中学校にいました。その時に突然の大地震が発生し驚いていました。家は停電していて、テレビも映らない時に、親とガソリンを買うために車に乗り、ようやくナビのテレビを見て、テレビ局の状況で、東北の太平洋側で巨大な大津波が発生したことが分かり、そこで私の実家である大槌町も津波の被害にあっていることが分かりました。さらに、父の方の実家は、１階まで水が押し寄せ、母の実家は凹地にあったため、形は骨組みくらいであとは津波でやられてしまいました。そこから復興してほしい気持ちが心の中に生まれ、ボランティアを始めるようになりました。		
やってどう思いましたか？	何回か通っているうちに、片付いていない景色がキレイに片付いていき、仮設店舗がたくさんできていたり、津波が到達しない方には、病院や薬局などが建てられていて、だんだんと復興に近付いてきていると感じ、嬉しく思っています!!		
周囲の反応はどうでしたか？	やはり、ボランティアに来る人が多く、被災地に住む方々から「ありがとう!」、「今日はありがとうね!」、「わざわざ遠くから申し訳ないね～」などと言われ、とても感謝されているんだなと感じましたし、こちら側からして、とても嬉しくなりました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	実際にボランティアをやって、少しでも早い復興につながるなら、とてもよかったなと感じます。また、地域の人にあいさつされたり、感謝されると、やってよかったなと思います。また、実際にボランティアを行うと、達成感などもあったりして、すごく満足しています。		
避難所であったほうがよかったもの	公衆電話、公園、タクシー、娯楽できる所(スポーツジム、温泉、カラオケ、お店など)		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑱	人に元気をあげる音楽		
年　齢	17歳	い つ 頃	4月、8月
ど こ で	岩手県釜石市		
だ れ と	吹奏楽部、30名程度		
どんな役割を果たしましたか？	釜石市市内で復興コンサートを行った。これはテレビでも放送されました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	テレビ局から依頼があったから。私の個人的な理由は、地域の方々、テレビをみている人に元気になってほしかったから。		
やってどう思いましたか？	音楽、吹奏楽は人に感動を与える素晴らしいものだと思ったことと、自分自身も前を向いてがんばろうと思えた。私達高校生が復興に１番重要な存在だと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	テレビを見ていた方々に、「良かったよ。“負けないで”がすごくよかった」などど元気をもらったという声が多く、また、私たちが元気な姿を見ることができたという方々もいらっしゃった。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	まだまだ、周りから見れば復興とい状況ではなかったときでしたが、人の心は前を向いてがんばっていこうとしていることを感じた。傷ついた気持ちを音楽をきいて、いやしたいという人が多いということも分かった。		
避難所であったほうがよかったもの	避難所生活をしていないので分かりません。		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑲	泥出しから学んだこと		
年　齢	15歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	大船渡市		
だ れ と	友達と		
どんな役割を果たしましたか？	市民体育館の泥出し		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	震災後しばらく家で何もやることがなく、それなら少しでも力になろうと思ったから。		
やってどう思いましたか？	床をみがいてもいがいても泥が出てきたが、それをくりかえすうちにだんだんきれいになってゆくのを見るのがうれしかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	とても助かると言ってくれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	泥だらけの机やいすなど、これはさすがに使えないだろうと思うものでも洗えばまだまだ使えるものだった。今、体育館に行って、そのいすを見たときさびているけどやってよかったと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	保温マット		
応援があったらやりやすかったこと	公衆トイレのそうじ		

子ども⑳	水くみ		
年　齢	16歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	岩手県山田町		
だ れ と	5人		
どんな役割を果たしましたか？	水くみをしました		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	やれと言われやった		
やってどう思いましたか？	たっせいかんがあった		
周囲の反応はどうでしたか？	特になかった		
やってよかったと思うことなど、教えてください	水くみなどとてもいいけいけんになった		
避難所であったほうがよかったもの	食べ物		
応援があったらやりやすかったこと	避難緒手伝い		

おとなからの投稿

おとな1	ラジオ体操		
年　齢	48歳	い つ 頃	2011年7月～現在も継続
ど こ で	岩手県陸前高田市		
だ れ が	中学一年生3名		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	震災後、朝のラジオ体操を一人一人に呼びかけてはじまった。中学生が自主的に始めた活動で、現在も続いています。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	生活のリズムを取り戻した。参加者で声をかけあったり、笑い声やおしゃべりの時間でもある。1日の中でゆいいつ空を見上げる時間。子供達から元気をもらう。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	あなた達の前向きさや勇気が私達に大きな希望を与えてくれました。失ったものは大きいですが、私達大人はあきらめません。あなた達への夢がかなうよう、ふるさとにほこりを持てるように、一緒にがんばっていきましょう。		

おとな2	子ども達の協力		
年　齢	47歳	い つ 頃	2011年3月～4月
ど こ で	岩手県山田町		
だ れ が	家族、親せき20人		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	親せきの家に避難させてもらいました。子供が出来る仕事と考える前に、子ども達の成長におどろきました。18ℓ入の水を両手に持ち、坂道を何度も走り、かけ上がり運んでくれた。体力がいつの間にかついていた。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	役割り分担や、水がなくなっているかを確認し、水を運んでくれた。大人は家の片付けなど出来て、ありがたかった。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	この子ども達に、大震災を経験させ、大変だったと思うが、これから大人になった時、このつらかった時を忘れずに、人生の役に取り入れて生活してほしい。困っている人には、手を貸せる人間になってほしい。日本中の方々に支援していただいたことを忘れないでほしい。		

おとな3	
年　齢	46歳　　いつ頃　3月
どこで	岩手県陸前高田市気仙町
だれが	避難所に避難していた中学生(集団)
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	給水車にならんで水を運んでいました。まき割りを手伝っているのを見ました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	普段(震災前)甘えていて手伝いなどをあまりしない子ども達が、泣き言一つ言わず、自分たちのおかれている現状を理解し、先生たちの指導のもとてきぱきと自分の役割をはたしていたのを目にするたび、自分もがんばらないといけない、今自分に出来る精一杯の事をやらないといけないと思える“希望と勇気”を頂きました。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	大切な時期にあの様な悲惨な体験をし、心にどれほどの痛みを抱えたのかを考えると心配にはなりますが、協力してあの窮地に立ち向かった子ども達だからこそ、自分の夢に向かってがんばってくれると思います。これから先、つらい事があった時、あの震災に立ち向かって自分の役割をはたした自分を思い出してもらいたいと思います。自分を持って前に進んで行ってもらいたいと思います。

おとな4	
年　齢	54歳　　いつ頃　2011年4月
どこで	岩手県山田町
だれが	中学生
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	携帯用の飲料水入れに水を汲み運んでいました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	あたり前の様に動く姿に涙が流れた
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	誰もできる経験ではない事を体験して、強くなったと思う、人の気持ちの尊さも知ったと思う、君たちへ。明るく、たくましく、これから先の人生、生きて欲しいと思います。

おとな5	漁業養殖（ホタテ・ワカメ）復興の手伝い
年　齢	53歳　　いつ頃　平成23年3月～24年3月
どこで	岩手県下閉伊郡山田町
だれが	2人、17才
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	夜中、北海道からのホタテちがいがトラックで来たのを、荷のつみおろしをし、そして、耳づりをしました。又、昼には土嚢づめとか、(1袋にジャリを入れたのを運ぶ)ワカメの時は朝早くから、生ワカメの集荷のヨコタがごの運び方などでした。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	若い人達がいないため、とてもたすかりました。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	仕事の大変さ、お金を取る大変さ少しでもわかったと思うので、社会に出てもがんばってほしいです。

おとな6	気づかなかったこと
年　齢	47歳　　いつ頃　3月～5月
どこで	岩手県山田町
だれが	中高生(多数)
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	物資の搬入の手伝い、高齢者のお世話
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	他人の為に行動をする生徒を観て関心した
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	今回の震災で何が大切かを学んだと思うので、それを基幹に持ち、人生を歩んで下さい。

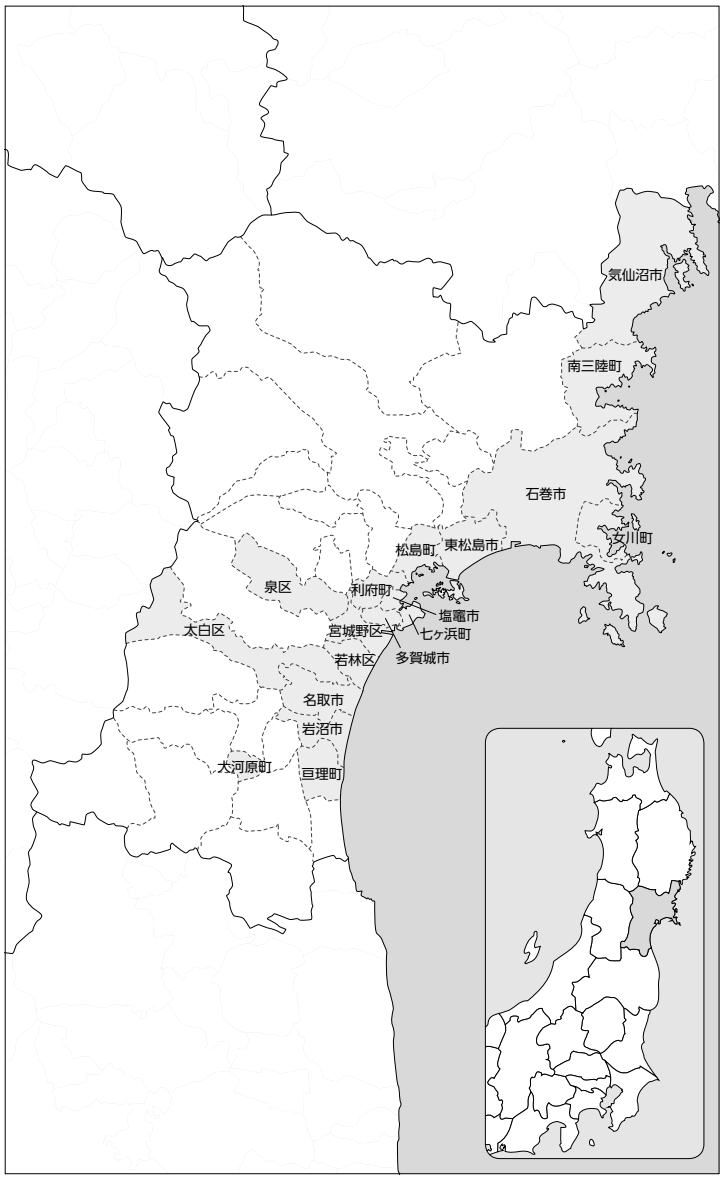
おとな7	
年　齢	53歳
い つ 頃	3月～5月
ど こ で	岩手県下閉伊郡山田町
だ れ が	避難所にいた小・中・高の子供達
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	小学校の体育館を避難所としていました。少しづつ避難生活になれてくると、たくさんのゴミ(生活ゴミ)が出てきました。燃えるゴミは大人の男の人達がグランドで燃やしていましたが、生ゴミはそうもいきません。まだ避難所のゴミ回収がうまくいっていなかった頃の事です。水切りはしていましたが重い生ゴミを子どもたちが率先して学校の畑に穴を掘りうめてくれていました。“エコだよ～♪リサイクル～♪”などと明るい態度で接してくれて…私達調理班はとてもたすかりました。約200人位の食事を作っていたのでその際にでるゴミは大量でした。あまりに量があって重い場合は中高生が、少量の際は小学生がてつだってくれてました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	幼、小学生をみながらのゴミすて、そんなに人数がいたわけではありませんでした。高1人、中5人、小幼多数の中でよくやっていたと思います。その姿をみて私、調理班も限られた食材で避難所のみんなにおいしいと言われるおかずを作ろうと、班員で話したものでした。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	とても一言では言い切れない大災害でした。今も復興はそんなに進んでませんが、君達が避難所でやってくれたことは大人でもイヤがるゴミすて…ありがとう。けっして目立つ作業ではないけれど大事な大事な仕事でした。そんなことができる君達はすばらしいと思います。

おとな8	水くみ
年　齢	43歳
い つ 頃	2011.3.12～
ど こ で	山田町船越
だ れ が	子ども4人
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	水くみ
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	力強く、たのもしかった
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	未来の子どもに水の大切さを伝えてほしい

おとな9	水くみ
年　齢	43歳
い つ 頃	2011.3.12～
ど こ で	山田町船越
だ れ が	子ども4人
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	朝暗いうちから山水をくみ、こぼさない様家に運んでもらいました
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	力強くたのもしかった
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	どれだけ水が大切か分かったはずです。未来の子ども達に伝えてほしい

おとな10	NPO へまごころを
年　齢	39歳
い つ 頃	2011年10月
ど こ で	岩手県遠野市
だ れ が	遠野市立中学校の生徒さん達(約100名)
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	「NPOにまごころを届けよう」ということで、文化祭での収益を、被災地支援活動をしている地元のNPOに寄付してくれました。中学校の生徒さん達は、2012年にも同じように寄付をしてくれただけでなく、実際に被災地でのボランティア活動にも積極的に参加しています。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	中学生が自分から被災地支援をしようと思いついたことが、すばらしいです。それも支援活動をしている団体への寄付という形の後方支援です。目立たないけれど、とても重要な貢献です。とても心強く感じました。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	未来の社会は、皆さんのものです。どんどん積極的に関わって、理想的な世の中を作って下さい。私たちおとなも、皆さん達により良い社会をゆずり渡せるよう、がんばります。

宮城県 からの投稿



投稿数

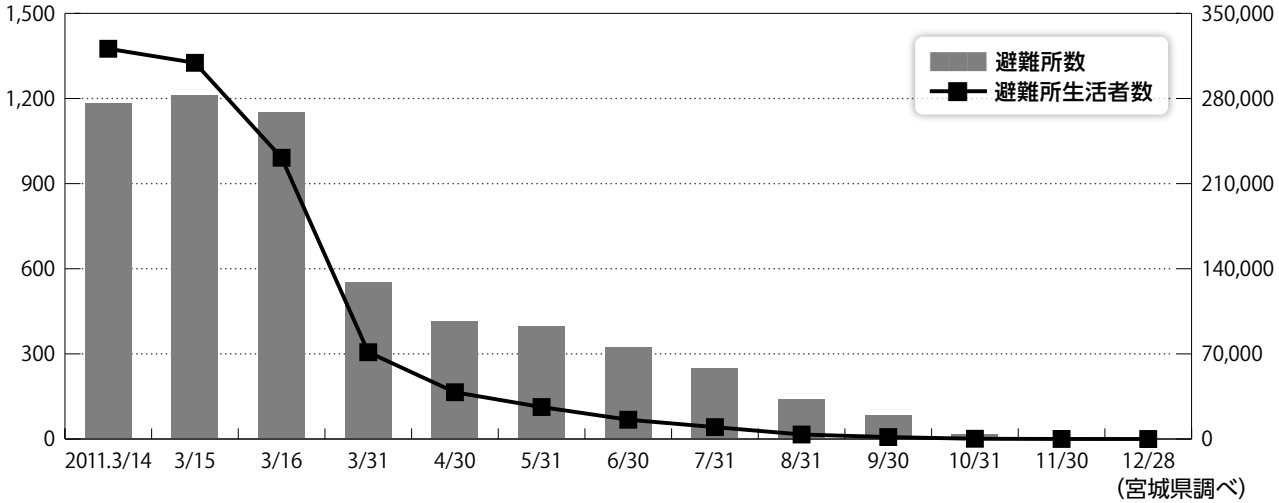
中高生	おとな	計
54	32	86

被災状況

死者	行方不明者	家屋倒壊数	避難生活者数
9,536	1,302	238,134	116,302

（2013年3月現在、警察庁・復興庁調べ）

避難所数・避難所生活者数の推移



（宮城県調べ）

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
食べ物の配布		13

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
H23 5月～8月	宮城県塩竈市	中学校の先輩方と4人で。

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）
食事後の食器の片付けやお菓子などの配布などです。

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）
先輩が自分から進んで、退室してきた地域の方々に接する姿がかっこよくて憧れました。「自分も、先輩のように自分から進んでやりたい」と思ったからです。

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）
喜んでいる地域の方々の笑顔を見ることができるなら、続けたいと思いました。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）
[redacted]さんに「ありがとう。えらいね。」と言われてうれしかったです。

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）
誰かにほめられたいから、喜んでもらいたいからなどを考えずに自分から進んでものごとをすれば、いいことが沢山あるということがわかりました。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと
あみど、ゆたんぽ、ふとん、冷蔵庫、救急箱	海浜清掃（そうじの手伝い）、ライブ、コンサートなど

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
物運び大作戦		15歳

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
3月～4月頃	宮城県東松島市	同級生・地域の人。数十名

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）
ぼくは、支援してもらった物資を運ぶ作業と、寒い中水配りを行いました。どちらも簡単なことではありませんでした。まめが出来るまで物を運び、正直辛くなることもありました。水配りでは、手が冷くなるまで水に触れました。しかし、困っている人々の役に立つことができると思うと被災者自身としても嬉しく思い、誇りにも思いました。

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）
初めは、何もすることがなく暇だったので、やっていましたが継続して行うことによってより沢山の人のために助けたいと思いがっていました。

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）
被災者でも分からない避難所の現状を改めて分かりました。また、不安な中でも人と人が寄りそい合っている所を見て、より手伝おうという気持ちになりました。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）
学校で手伝いをしていたので、話したことのない先生や、話したことのない同級生と話したり、身近な人と話すことができました。共に家族にも喜んでもらえました。

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）
自分にできることをやってよかったと思います。不安な中でも、やれることができるということはとても素晴らしいことだと思います。また、いつか避難所で手伝えることがあれば手伝いたいと思います。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと
毛布、食料、体を暖めるもの、仲間	荷物運び

※投稿者のお名前はプライバシー保護の観点から記載を控えさせて頂きました。
※投稿紹介は原文のまま掲載しています。

タイトル（あなたの見た、或いは助けられた活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
子供達のパワー		50

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町	だれが（人数、年齢など）
3月11日～数日	宮城県石巻市	子供達が

①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？
子供達が自主的に水汲みをしたり、楽しそうに笑顔で過ごしている姿

②中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？（あなたや周りの大人に与えた影響など）
私達大人が途方にくれている中で、子供達はできる事を自分で見つけ又楽しく時を過ごしている姿に、力をもらいました。また暗な中での灯となってくれました。
子供達の生きるパワーにすごく助けられたように思います。

③未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。
二度と経験することはないであろう大変な時を過ごした子供達には、ぜひその事を忘れず語り継ぐとともに「生きる力」を持ちつづけて欲しいと思います。
どんな状況でも立ち上がる事、楽しく生きる事、決してあきらめない気持ちを大切にして下さい。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください。

タイトル（あなたの見た、或いは助けられた活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
		40

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町	だれが（人数、年齢など）
2011年3月	宮城県多賀城市	多数。中高生

①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？
避難所でのごみ集め、食料配り、
トイレに使用するための水くみやバケツリレー

②中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？（あなたや周りの大人に与えた影響など）
大人や子供として関係なく協力し合う行動に参加し、自らも動いていくことに助け合いの気持ちが伝わりました。

③未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。
震災によって多くの人が亡くなり、家を失ったことを忘れることなく一日一日を大切にして下さい。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください。

子ども①			
年　齢	16歳	い つ 頃	2011年3月頃
ど こ で	宮城県仙台市泉区		
だ れ と	兄		
どんな役割を果たしましたか？	同じ集合住宅の乳幼児と一緒に遊んだ		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	泣いていたから		
やってどう思いましたか？	楽しかった		
周囲の反応はどうでしたか？	乳幼児の母から「ありがとう」といわれた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	子どもが泣き止んだからよかった		
避難所であったほうがよかったもの	行っていない		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども②			
年　齢	16歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	宮城県仙台市		
だ れ と	4人		
どんな役割を果たしましたか？	弟の面倒を見た		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	お母さんが大変そうだったから		
やってどう思いましたか？	大変		
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	喜ばれた。		
避難所であったほうがよかったもの	電気		
応援があったらやりやすかったこと	特になし		

子ども③			
年　齢	16歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	宮城県仙台市		
だ れ と	2人		
どんな役割を果たしましたか？	買い出し		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	家族の事を思って		
やってどう思いましたか？	良かった。		
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	喜ばれた。		
避難所であったほうがよかったもの	電気		
応援があったらやりやすかったこと	特になし		

子ども④			
年　齢	17歳	い つ 頃	3月中
ど こ で	宮城県仙台市		
だ れ と	1人で		
どんな役割を果たしましたか？	近所の人の分まで支援物資をもらいに行った		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	見てて大変そうだったから		
やってどう思いましたか？	普通にやっただけ		
周囲の反応はどうでしたか？	お礼を言われた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	なし		
避難所であったほうがよかったもの	充電器		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑤			
年　齢	16歳	いつ頃	3月下旬頃
どこで	宮城県仙台市泉区		
だれと	6人くらい		
どんな役割を果たしましたか？	水を運んだ(18kg)。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	手伝いたかったから		
やってどう思いましたか？	おもっっ!!		
周囲の反応はどうでしたか？	おばあちゃんに「なに無理してるの?ご苦労様」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	水や食べ物を手に入れるのは大変。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑥	星空		
年　齢	18歳	いつ頃	平成23年4、5月頃
どこで	宮城県、南三陸町		
だれと	学校の運動部、先生方		
どんな役割を果たしましたか？	津波で汚れた小学校を清掃しました。泥をきれいに落とし、机、椅子を外に運んで、教室の中とベランダ、窓を掃除。校舎内をとにかくきれいにした。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	硬式野球部出身のOBである南三陸町の人とのつながりがあり、運動部で何か手伝いをしようと申し出た。		
やってどう思いましたか？	地域に協力して、喜んでいただいたのでとても嬉しく感じた。		
周囲の反応はどうでしたか？	どの人も「ありがとう」と笑顔で声をかけてくれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティアをしてみて、地域の人は本当に困っていたことが分かったので、掃除などで笑顔になってくれたので良かったと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	毛布や布団		
応援があったらやりやすかったこと	人手が足りないので、やることが限られた。もっとみんなボランティアに参加すること。		

子ども⑦			
年　齢	18歳	いつ頃	3日
どこで	宮城県仙台市		
だれと	8人		
どんな役割を果たしましたか？	水くみ、かいものした		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	やれって言われたから		
やってどう思いましたか？	つかれた		
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	絆が深くなった。		
避難所であったほうがよかったもの	毛布		
応援があったらやりやすかったこと	べつにない		

子ども⑧	ふみ出す勇気		
年　齢	15歳	いつ頃	7月頃
どこで	宮城県仙台市		
だれと	障害者の方たちと5、6人くらい		
どんな役割を果たしましたか？	・震災復興への呼びかけ ・震災復興への募金活動		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	震災中、何をやっていいか分からなく、外に出て歩けば、震災の呼びかけをしていて、自分の勇気のなさに悔しく、そして、たくさんの人たちをまた笑顔にしたいから		
やってどう思いましたか？	達成感や、これからの被災地にたくさんの人たちの笑顔があふれてほしい。		
周囲の反応はどうでしたか？	弁論でこの事を書き、たくさんの人に自分の思いは伝わったと思う。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティアをできたという一歩がふみ出せた。いろんな人たちから震災中のことがきけた。		
避難所であったほうがよかったもの	心のケア		
応援があったらやりやすかったこと	ボランティア		

子ども⑨	人だすけ		
年　齢	13歳	い つ 頃	3月12日
ど こ で	利府		
だ れ と	会社の人と、自分も合わせて15人		
どんな役割を果たしましたか？	水くみの手伝いを10時間ぐらいやっていた。一日二千人ぐらいくる。2週間ぐらいつづけた。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	そのときは、自衛隊になりたくて、人のためになりたかった。		
やってどう思いましたか？	みんなが「ありがとう」とゆってくれるので苦ではなかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	みんなは「すごいね」とか、「えらいね」などいうけど、ぼくは、ほめられたいからやっていたのではなくみずからやった。人のためにやりたかった。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	人のためになれたのでよかった		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑩	私達の		
年　齢	17歳	い つ 頃	3月～12月
ど こ で	宮城県多賀城市、しおがま市、まつしま市、しちがはま町		
だ れ と	友達やサークルで(2～8人)		
どんな役割を果たしましたか？	子供達のおせわ、物はこび、ゴミかいしゅう、大人・ろうじんの方へのマッサージ、避難所でのゲーム(手遊び)、老人ホームへのほうもん・手伝い、避難所のそうじ、避難所での交流、様々なおみせのほうもん・手伝い		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	いつまでも悲しんでいられないと思った。なので、震災から数日後自分達の卒業式をやった母校へ行ったら、えいせい面がなっていなくて悲しかったし、やりがいがあった。		
やってどう思いましたか？	だんだんキレイになっていく母校や避難所を見て、うれしくなった。もちろん楽しかったし、やりがいがあった。		
周囲の反応はどうでしたか？	沢山の方々に「ありがとう」「助かるよ」「元気をもらった」と言われた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	楽しくやると皆ついてきてくれる!皆さんの表情が明るくなっていった!!		
避難所であったほうがよかったもの	入り口に避難されている方の名前を書いておけば、知り合いにみつけてもらえると思った。あと沢山のぞうきんがほしい。		
応援があったらやりやすかったこと	特にありません!		

子ども⑪	供に助け合える深い絆		
年　齢	13歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	宮城県仙台市太白区		
だ れ と	地域の方々と大勢で		
どんな役割を果たしましたか？	・近くの小学校の炊き出し作業の手伝い ・老人への声掛け		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	・命あるものなら誰かのために何かをしたいと思ったから。 ・コミュニケーションが大切だと思ったから。		
やってどう思いましたか？	・誰かのために役に立つというのはこんなにも気持ちのいいことなんだと思った。 ・荷物を持ってあげたりしたら「ありがとう」と言われて、自分もいい気持ちになれるんだなと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	・とてもほめて下さり、お礼におにぎりをもらったりして、すごく優しかった。 ・たくさんの方に感謝の言葉を言われて、老人の方と話していると、みんなニコニコ笑っていた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	人のためになにかすることの大切さや、手伝っているとき「えらいねー」や、「頑張ってね」と言ってもらえるうれしさ、みんな一歩ずつ前に進んでいることのすばらしさ、失ったものはたくさんあるけども、何かを得ることは失ったものの倍以上あったのではないかと気づかされました。		
避難所であったほうがよかったもの	学校、市民会館など		
応援があったらやりやすかったこと	物資の運搬がスムーズになること。		

子ども⑫	地震がもたらせたもの		
年　齢	15歳	い つ 頃	3月～4月
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	4人		
どんな役割を果たしましたか？	避難所でそうじ、配給、困っている人を助けた		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分の学校が避難所だったからやらないといけないと思った。		
やってどう思いましたか？	ありがとうねとたくさんの人に言われたし友達が大人相応の対応をしていて新しい一面がみれた。		
周囲の反応はどうでしたか？	缶コーヒーの配給があって子どもに配ったところその子の親に子どもに缶コーヒー飲めるわけないでしょ、もっと考えて配ってよと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	普段話さない同級生とたくさん話して友達になれた		
避難所であったほうがよかったもの	汗ふきシートみたいな体をふくもの、体にいいもの(栄養剤とか)		
応援があったらやりやすかったこと	インターネットサービス。伝言板が機能してなかった。		

子ども⑬	絆プロジェクト		
年　齢	15歳	いつ頃	2月頃
どこで	石巻の高校		
だれと	石巻、女川、矢本の小・中・高校生約500人		
どんな役割を果たしましたか？	楽器を無償で寄付して下さった全国のみなさん、また支援金を寄付して下さった世界中のみなさんへ向けて感謝の気持ちを伝えるための「ありがとう」の合唱など。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	我々の学校も楽器をもらったし、吹奏楽部として音楽で気持ちを伝えるというその企画に参加したかった。		
やってどう思いましたか？	私の大好きな音楽で気持ちを伝えられることがうれしかったし、感動しました。		
周囲の反応はどうでしたか？	みなさん、感動したと言ってくれました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	なかなか大人数で合唱する機会はないと思うので、体験できてよかったです。また、感謝を伝える手段として音楽ができたのもうれしかったです。		
避難所であったほうがよかったもの	小さな子どもが飲めるようなジュース		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑭	どんな小さな事でも		
年　齢	18歳	いつ頃	7～8月頃
どこで	宮城県石巻市		
だれと	学校の友人2人と		
どんな役割を果たしましたか？	被災地に行き、物資の配給。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	不謹慎かもしれませんが、被災地の様子を見てみたかった。		
やってどう思いましたか？	まっさらになった街を見て、この時被災者の人達はどんなことを考えたのか想像しようとしましたが、まったくできませんでした。とにかく、被災者の人達の為にと、思ってました。		
周囲の反応はどうでしたか？	特にありませんでした。私の周りの人達の大半が、被災地に赴きボランティア活動を行っていたので。私もその内の一人になっただけです。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災地を見れた。被災者の人達と話ができた。		
避難所であったほうがよかったもの	空調		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑮	人間の無力さ		
年　齢	18歳	いつ頃	7～8月頃
どこで	石巻市		
だれと	約3人		
どんな役割を果たしましたか？	物資の受けわたし。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	友達に誘われて始めた。		
やってどう思いましたか？	自然の前では、人間は無力なものなのだと分かった。		
周囲の反応はどうでしたか？	話すこともでもないので周囲は知らない人の方が多い。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	震災で今を生きている人々に震災の怖さをつたえることができたのではないでしょうか。つなみの前では人間の作った物も人間も無力なものだということに…		
避難所であったほうがよかったもの	防音壁		
応援があったらやりやすかったこと	物資の移動		

子ども⑯	小さな力だったけど		
年　齢	15歳	いつ頃	3月の中旬
どこで	宮城県仙台市泉区		
だれと	友人と10人くらいで		
どんな役割を果たしましたか？	自分の中学校でトイレ用の水をプールから運んできたり、学校の机や椅子を運んだりした。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	友人がやっていて自分も役に立ちたいと思ったから。		
やってどう思いましたか？	少しでも役に立てたという気持ちになった。他の人に「ありがとう。」と言われてうれしかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	「やってくれてありがとう。」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	地域の方々の役に立つことができた。大変な状況の中でもみんなで協力すればできる。喜んでもらえた。		
避難所であったほうがよかったもの	もっと食料を保存しておいたほうがよかった。		
応援があったらやりやすかったこと	どのくらいの人数が避難してくるのか知りたかった。		

子ども⑰	仕分け		
年　齢	15歳	いつ頃	3月頃
どこで	宮城県仙台市		
だれと	15人		
どんな役割を果たしましたか？	救援物資の仕分け。3人ずつくらいに分かれて物資がちゃんと分かれているか確認。私は主に服の仕分けを担当。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分の置かれている状況よりもつらい人がいると知って、その人達を少しでも助けたいと思ったから		
やってどう思いましたか？	ほんの少ししか力にはなれなかったけど、そのことで助かっている人がいると思うと嬉しい。		
周囲の反応はどうでしたか？	連日ではないけど、友人がその話を聞いて手伝いに来てくれたりもした		
やってよかったと思うことなど、教えてください	色んな人の外面、そして内面の支援をすることができた。		
避難所であったほうがよかったもの	・紙、ペン(情報を伝えやすくするため) ・お年寄りや障害者の支援対策 お年寄り→トイレの近く、行動しやすい場所 目が不自由な人→点字・音で場所が情報がわかるようにする 耳が不自由な人→情報を張り出す場所、紙、ペン 声が不自由な人→互いに意思疎通ができる設備 体が不自由な人→動かせないことに苦痛を覚えないスペース		
応援があったらやりやすかったこと	支援物資を人に手渡すこと		

子ども⑱	今、最も動けるのは私たちだから		
年　齢	17歳	いつ頃	3月11日～4月上旬
どこで	仙台市若林区		
だれと	3人(部活仲間)		
どんな役割を果たしましたか？	・トイレへのプールの水運び・炊き出し・配給・そうじ ・トイレそうじ・物資の整理・避難者名簿作り ・ごみ捨て場の管理		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	11日は校庭に車を停め、眠り、朝日よりも人の声で起き、母は病気の兄と電源のあるお宅へ伺ことになっていて、そのときに母に「あなたはここで、できることをしてなさい。」と言われた。中3だった私は今、最もここで働けるのは自分たち、と思った。		
やってどう思いましたか？	少しきついことがあったとしても、“今はみんなが被災者だ”という言葉が自分の心の中にいつもあった。ここに居る人が少しでも過ごしやすくなってほしい		
周囲の反応はどうでしたか？	「あなたがいつも笑顔であいさつしてくれるから今日も一日頑張れる。」と言われた。「ありがとう」と言ってもらえた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	たくさんの人とのつながりができたこと。誰かの為に行動できたこと。(全国、世界各国からの支援の輪ができ、今でも連絡をとる方ができた)		
避難所であったほうがよかったもの	毛布、ゴミ袋、カイロ、水、など		
応援があったらやりやすかったこと	水の運び		

子ども⑲			
年　齢	15歳	いつ頃	3月末～4月末
どこで	七ヶ浜町		
だれと	友人5人		
どんな役割を果たしましたか？	支援物資仕分け、ボランティアさんへの昼食作り、避難所清掃、水運び		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	誰かの役に立ちたいと思ったから		
やってどう思いましたか？	大変だったけど周りの人にたくさん声をかけられてうれしかった		
周囲の反応はどうでしたか？	「ありがとう」「おつかれさま」といわれてうれしかった		
やってよかったと思うことなど、教えてください	芸能人に会えた		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑳	忘れない震災		
年　齢	13歳	いつ頃	2011年3月～3月末
どこで	宮城県仙台市中山		
だれと	友達、家族		
どんな役割を果たしましたか？	3月11日の震災の日、食料がそんなになかったので2日後くらいから近くのスーパーに行って買いだしをしました。あと、公園に行って水くみをしました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	家族のためだと思ったから。人の役に立ちたかったから。		
やってどう思いましたか？	買い出しで並んでいたら、すごく長い列になっていたけれど、だれもズルをしないで並んでいた。日本人ならではの心だと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	親は「ありがとう」と言ってくれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	やはり、人の役に立つということはやりがいがあり、すばらしいことだと思った。1年、2年すぎると震災があったという意識がうすれていくので忘れずに生活していくべきだと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	毛布		
応援があったらやりやすかったこと	トイレの水くみ		

子ども㉑	「ありがとう」の笑顔		
年　齢	13歳	い つ 頃	2011年3月～4月頃
ど こ で	宮城県仙台市中山		
だ れ と	家族と友達と。		
どんな役割を果たしましたか？	私の地区はしばらくの間水が出ませんでした。ですが、私の家はなぜか水が出ました。そのため、私は友達の家や困っている人に水を分けてあげました。きっかけは他の家は水がないと気づいたことです。だから私は、家族と協力して水を分けました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	困っている人を見て、どうしても助けたいと思ったからです。		
やってどう思いましたか？	「ありがとう。」と言われて、とても温かい気持ちになりました。改めて、人との関わりの大切さを感じました。		
周囲の反応はどうでしたか？	水を分けたおばさんに笑顔で「ありがとう」といわれました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	自分も生きていけるか不安だったけれど、それでも自分の中の「良心」が助けてあげようといっていたので、達成感がありました。		
避難所であったほうがよかったもの	毛布を増やしてほしい。		
応援があったらやりやすかったこと	トイレの水くみ		

子ども㉒	私が果たしたこと		
年　齢	14歳	い つ 頃	3月頃
ど こ で	宮城県仙台市泉区		
だ れ と	先生と先輩方５人くらい		
どんな役割を果たしましたか？	お手洗いの水が少なくなっていると言っている人がいたので、先生と先輩方と一緒にバケツを持ち、プールへ水を汲みに行きました。その後、汚れている便器や床を掃除しました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	早朝だから起きている人が少なかったし、自分から動く先輩方をみ見て私も避難所の方々の力になりたいと思ったからです。		
やってどう思いましたか？	私なりに力になることができたと思ったので、とても嬉しかった。また、私にできることが他にもあるのならやりたいと思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？	50代くらいの女性に、「さすが中学生だねぇ。」と言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	避難所にいる方々の役に立ててよかったと思いました。		
避難所であったほうがよかったもの	ウェットティッシュ、笑顔、活気		
応援があったらやりやすかったこと	特にありません。		

子ども㉓	一つの手助け		
年　齢	14歳	い つ 頃	3月12日～4月中ごろ
ど こ で	宮城県名取市		
だ れ と	大人の人たちと、小学生、中学生。		
どんな役割を果たしましたか？	炊き出し（おにぎり）の手伝い（炊く・炊いたご飯を運ぶ）、物資の運び入れ、物資の配布		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	最初の日の炊き出しで、もらった人々がほっとしたような感じでえがおになっていて、「こんな小さい事でも人々を助けられる!」と思ったから		
やってどう思いましたか？	人のためになっていたという感じ。炊き出しや物資を渡しただけでも、心が安らいでいる人が多かった。		
周囲の反応はどうでしたか？	物資を渡した人々に「がんばってね。」と声をかけてもらえた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	一つの小さな手助けでも、多くの人々を助けられるんだと思った。炊き出しの小さなおにぎり一つ、手渡すだけでもみんなの何とか生きていこうという感じが伝わってきた。		
避難所であったほうがよかったもの	布団、毛布、発電機、ガスボンベがもう少し多くあるともう少し楽に運営できた。		
応援があったらやりやすかったこと	おにぎり握る人。配布する人。けが人の面倒をみてくれる人。		

子ども㉔	重かった水…		
年　齢	12歳	い つ 頃	3月15日～4月
ど こ で	宮城県石巻市大街道		
だ れ と	弟　2人		
どんな役割を果たしましたか？	家の復旧のため近くの神社の井戸から水をくみ毎日家まではこんだ。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	家のため		
やってどう思いましたか？	すごくつかれるな～と思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	「がんばっているね～」とほめてくれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	家がキレイになってよかったと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	非常用電源、ラジオ、食料		
応援があったらやりやすかったこと	家の復旧		

子ども㉕	水運び		
年　齢	13歳	い つ 頃	2011年3月末
ど こ で	中学校		
だ れ と	1人		
どんな役割を果たしましたか？	班のメンバーの水筒（ペットボトル）を全部給水所に持っていき、全員分の水をくんだ		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分の水筒を持っていくついでにした		
やってどう思いましたか？	これからも続けてやっていきたい		
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	年寄りの方にしたわれた		
避難所であったほうがよかったもの	ない		
応援があったらやりやすかったこと	ない		

子ども㉖			
年　齢	13歳	い つ 頃	2011年3月～4月頃月
ど こ で	宮城県石巻市		
だ れ と	知らない人		
どんな役割を果たしましたか？	避難所で水・食料などをはこんだ		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	みんながやっていたから		
やってどう思いましたか？	当たり前のこと		
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください			
避難所であったほうがよかったもの	発電機		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉗	被災中にやったこと		
年　齢	13歳	い つ 頃	3月～5月
ど こ で	宮城県石巻市		
だ れ と	弟たちと3人で		
どんな役割を果たしましたか？	ごはん作り、そうじ、農作業		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	おばあちゃんの家に行き、自分達も手伝おうと弟たちと話し合い、役割分たんして家事などを手伝いました。		
やってどう思いましたか？	農作業などはやると足やこしがいたくなるので、おじいちゃんは「すごいな」と思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？	おばあちゃんには「ありがとう」と言われ、親せきの人に「えらいね」と言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	おばあちゃんたちの負担を少なく出来てよかったです。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉘	頑張った水くみ		
年　齢	14歳	い つ 頃	3月13頃から
ど こ で	宮城県石巻市		
だ れ と	友人3人		
どんな役割を果たしましたか？	朝早くから浄水場に並び水をもらった。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	何も無かったので、とにかく水をもらいにいった。		
やってどう思いましたか？	友人と一緒だったので楽しかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	お母さんに、ありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	家族のためになった。		
避難所であったほうがよかったもの	食べ物（温かいもの）		
応援があったらやりやすかったこと	ない		

子ども㉙	花いっぱい運動
年　齢	13歳
いつ頃	10～11
どこで	宮城県石巻市
だれと	中学校の1年およそ100人とボランティアの方々
どんな役割を果たしましたか？	花だんを作るところは他の方々にしていただき、花を植えた
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校の授業で「自分達が復興のためにできること」という授業の中で出た意見で、この活動がでたから
やってどう思いましたか？	本当にこんなことで復興につながるのかと思った
周囲の反応はどうでしたか？	特にない
やってよかったと思うことなど、教えてください	いろいろな方と交流ができてよかった
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㉚	復興を願って
年　齢	12歳
いつ頃	3月11日～3月12日
どこで	宮城県石巻市の小学校
だれと	中学の人10人くらい
どんな役割を果たしましたか？	よごれたろうかをモップでそうじした
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ひまでひまでなんかやりたかったから(手伝いたかった)
やってどう思いましたか？	少しは役にたてたかな?と思った。
周囲の反応はどうでしたか？	中学生さんにありがとうといわれた
やってよかったと思うことなど、教えてください	思い出せません
避難所であったほうがよかったもの	水、食料、ライト、ストーブ、ティッシュ
応援があったらやりやすかったこと	手伝ってほしかったことなど

子ども㉛	地域のために
年　齢	18歳
いつ頃	3月中旬
どこで	宮城県仙台市
だれと	15人
どんな役割を果たしましたか？	避難所の方々への炊き出し、老人の方へのお弁当配達
なぜ、それをやろうと思いましたか?	地域のボランティアグループに参加していて、誘われたのもありましたが、何か役に立ちたいと思ったから。
やってどう思いましたか？	みなさまに感謝していただき、嬉しかったです。とても達成感が得られました。
周囲の反応はどうでしたか？	みなさまに「ありがとう」と言われました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	誘われて始めたことでしたが、「ありがとう」と感謝していただけてとても嬉しかったです。地域の輪は改めて大切だと思いました。少しでも地域の方の役に立てて良かったです。
避難所であったほうがよかったもの	ふとん、電気(明るくするもの)
応援があったらやりやすかったこと	炊き出しの材料

子ども㉜	
年　齢	14歳
いつ頃	3月頃
どこで	宮城県仙台市太白区
だれと	地域の大人と学生　20人ぐらい
どんな役割を果たしましたか？	炊き出しの配膳や一人暮らしの方々にお弁当の配達。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	家にいてもやることがなかったし、誰かのためになるならやろうと思ったから。
やってどう思いましたか？	お弁当の配達をした人にありがとうとか感謝の言葉をたくさんもらつてうれしかった。
周囲の反応はどうでしたか？	あまりなかった。
やってよかったと思うことなど、教えてください	たくさんの人の役に立てた。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㉝	今、私たちにできること		
年　齢	14歳	い つ 頃	2011年3月～4月頃
ど こ で	宮城県仙台市		
だ れ と	ボランティアグループで13人くらい		
どんな役割を果たしましたか？	支援物資・お弁当などを家をまわり届けた、カレーなどの炊き出しをした		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	テレビなどで被災された方々や建物などを一生懸命ケアしてくれる人や自衛隊の方の姿を見て、自分にも何かできることはないかと思い始めました。		
やってどう思いましたか？	やはり電気や水道、ガスが数日間止まっていたので困っていた人がけっこう多いなと感じました。なので、この活動をやって良かったと思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？	支援物資などを家に届けた時、特にお年寄りの方々に外へ行けないからとても助かると言っていただけました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	上にも書きましたが、感謝の言葉をかけてもらえたのが、とてもうれしかったし、このボランティア活動をやって良かったと心から思いました。		
避難所であったほうがよかったもの	段ボールや毛布(段ボールは下を敷くだけでも違うので)		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉞	地域とつながる		
年　齢	17歳	い つ 頃	3月中旬
ど こ で	宮城県仙台市		
だ れ と	15人		
どんな役割を果たしましたか？	避難所での炊き出しや、お年寄りの方へのお弁当配達		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	他にすることもなく、地域の役に立つことができると思ったから。		
やってどう思いましたか？	大変な事もありましたが、感謝の言葉をいただいた時嬉しかったです。		
周囲の反応はどうでしたか？	「ありがとう」と多くの方に言っていただいた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	普段から地域でのつながりを強くしていることが今回のような時大切だと思いました。		
避難所であったほうがよかったもの	毛布		
応援があったらやりやすかったこと	炊き出しの食材		

子ども㉟			
年　齢	15歳	い つ 頃	3月中旬頃
ど こ で	宮城県仙台市		
だ れ と	地域の人と15人くらい		
どんな役割を果たしましたか？	炊き出しや配達(物資やお弁当)		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	できることからやりたいと思ったから。		
やってどう思いましたか？	やって良かった!と思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	地域の人にありがとうと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	炊き出しはやっている側も気持ち良くやりがいを感じられました。また、機会があったらぜひやりたい!		
避難所であったほうがよかったもの	ホッカイロなど体が温まるもの(安全第一で)		
応援があったらやりやすかったこと	炊き出しの材料を分けてほしかった。		

子ども㊱			
年　齢	11歳	い つ 頃	
ど こ で			
だ れ と			
どんな役割を果たしましたか？	自宅がツナミにあいとくに何も出きませんでした。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?			
やってどう思いましたか？			
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください			
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊲	
年　齢	11歳
い つ 頃	3月頃
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ と	
どんな役割を果たしましたか？	水くみ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	がんばっている人達がいたから
やってどう思いましたか？	大変だった
周囲の反応はどうでしたか？	エライと言われた
やってよかったと思うことなど、教えてください	
避難所であったほうがよかったもの	水、食料、毛布
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊳	ありがとう
年　齢	12歳
い つ 頃	3月
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ と	
どんな役割を果たしましたか？	小学生だったので、あまりできませんでした。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ひなん所の小学校で、そうじをしました。少しでもきれいになったらいいなと思いました。
やってどう思いましたか？	気持ち良かったです。
周囲の反応はどうでしたか？	おばあさんにありがとうと言われました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊴	
年　齢	10歳
い つ 頃	3月
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ と	家族、親せき15人
どんな役割を果たしましたか？	水くみ、水運び
なぜ、それをやろうと思いましたか?	みんなのため
やってどう思いましたか？	みんなのため、自分のためにがんばれた
周囲の反応はどうでしたか？	「とてもたすかった」と言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	みんなで力を合わせれば何でもできるということ
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊵	命あればそれでよし
年　齢	12歳
い つ 頃	2011.3月～4月
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ と	祖父母、いとこ　5～6人で
どんな役割を果たしましたか？	祖父母宅、またそのご近所の津波被害後の泥かき、被害物の廃棄処理
なぜ、それをやろうと思いましたか?	祖父母宅を復旧し、元気を出してもらいたいから
やってどう思いましたか？	一瞬で、祖父母の大切な物全てをうばっていった現実の悲しさと、生きていれば、何でもできる、どうにかなるという思い
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと近所の方に言われた。祖父母はまた1からがんばるよと言ってもらえた
やってよかったと思うことなど、教えてください	1人じゃなく家族や周囲の人と助け合えば、何でものりこえられる事を気づいた
避難所であったほうがよかったもの	毛布、あたたかい汁、食べ物、ラジオ
応援があったらやりやすかったこと	水くみ

子ども㊶	自分でできることを
年　齢	12歳
い つ 頃	3月
ど こ で	多賀城市
だ れ と	兄ちゃんと
どんな役割を果たしましたか？	物資の配給を受けるために、１時間列に並んだ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	それなら自分でもできると思ったから
やってどう思いましたか？	水とかおにぎりがとてもありがたかった。大切さを感じた。
周囲の反応はどうでしたか？	ありがとうと言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	水のありがたさをあらためて感じた
避難所であったほうがよかったもの	毛布が足りなかった(寒い)
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊷	学校清掃
年　齢	11歳
い つ 頃	3月～4月頃
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ と	学校の友達。学校児童多数。
どんな役割を果たしましたか？	学校のきたないところなどをそうじした。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校のことだからやろうと思った。
やってどう思いましたか？	きたなかった学校も最後にはきれいになってよかった。
周囲の反応はどうでしたか？	とくになかった。
やってよかったと思うことなど、教えてください	協力することの大切さを気づいた。
避難所であったほうがよかったもの	とくになし
応援があったらやりやすかったこと	ボランティア

子ども㊸	
年　齢	10歳
い つ 頃	2011年3月頃
ど こ で	多賀城市
だ れ と	家族と近所
どんな役割を果たしましたか？	給水車から水くみ、給水車をみかけたら待っている人に知らせ一緒に水くみをした
なぜ、それをやろうと思いましたか?	水が使えなくてこまっていたから
やってどう思いましたか？	たいへんだった
周囲の反応はどうでしたか？	よろこんでもらえた
やってよかったと思うことなど、教えてください	水が使えてよかった
避難所であったほうがよかったもの	多くのトイレ
応援があったらやりやすかったこと	あいている店じょうほう

子ども㊹	水はこび
年　齢	13歳
い つ 頃	3月～4月
ど こ で	多賀城市
だ れ と	大人から子供まで100人
どんな役割を果たしましたか？	プールの水をトイレに使う為、プールからトイレまでバケツリレー、食料など重たい物を運ぶ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	少しでもみんなの役に立ちたいと思い
やってどう思いましたか？	楽しかった。
周囲の反応はどうでしたか？	友達のお父さんに頑張ったね、ありがとうと言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	みんなが喜んでくれたので良かった。
避難所であったほうがよかったもの	ラジオ、毛布、ゲーム
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊺	友達を助けた		
年　齢	9歳	いつ頃	3月
どこで	多賀城市		
だれと	家族と4人		
どんな役割を果たしましたか？	友達を家のおふろに入れた（何度も水を運んでおふろに入れた）		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	友達の家がつなみのひがいにあい、何日もおふろに入れなかったから		
やってどう思いましたか？	よろこんでくれてよかった		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください			
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊻	水		
年　齢	11歳	いつ頃	3月～4月
どこで	宮城県多賀城市		
だれと	友だち		
どんな役割を果たしましたか？	水の配布		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	避難中、水がなく自分が大変だったから		
やってどう思いましたか？			
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください			
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊼	地域の人々のために		
年　齢	13歳	いつ頃	3月～4月頃
どこで	宮城県大河原町		
だれと	3人程度		
どんな役割を果たしましたか？	水の運搬、食事の手伝いなどをしました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	地域の人が困っていたので、自ら率先してやろうという気持ちになりました。		
やってどう思いましたか？	とても大変でしたが、みなさんの笑顔を見ることができたので、頑張ろうという気持ちになりました。		
周囲の反応はどうでしたか？	皆さんに「ありがとう」というお言葉をいただきました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	誰かのためにこのようなことができ、とてもうれしく思いますし、改めて「ありがとう」という言葉は、素敵だなと感じました。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊽	感謝の気持ちを力にかえて		
年　齢	15歳	いつ頃	23年12月頃～
どこで	宮城県宮城郡七ヶ浜町の海水浴場		
だれと	チーム		
どんな役割を果たしましたか？	ボランティア活動をしている方たちと一緒に砂浜のゴミ拾いを行いました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	震災前から冬場のトレーニング場として使用していましたが、震災後はコンテナ等散乱していたため、使用できないでいましたが、ある程度危険性がなくなってきたのを確認後、トレーニングを再開しました。 そんな時、ボランティア活動の方たちがゴミ拾いをしていたのを見て、「私たちもやらないと…!」と思い、選手・指導者・父母が一緒にゴミ拾いをしました。		
やってどう思いましたか？	小さなことだけど、このような活動を続けて行えば、以前のような綺麗な砂浜が帰って来るのだと感じました。		
周囲の反応はどうでしたか？	ボランティア活動の方々以外の方はあまりいなかったのよくわかりませんが、ボランティアの方たちとの一体感を味わったような気がします。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	やって当然なことだけど、一人だとなかなかできません。でも、監督が、「おまえらもやれ!」と背中を押してくれたので、奉仕活動を行うことができました。終了後は気持ちよかったです。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊾	感謝の気持ちを力にかえて
年　齢	15歳
いつ頃	24年5月頃
どこで	宮城県宮城郡七ヶ浜町の仮設住宅
だれと	チーム全員
どんな役割を果たしましたか？	仮設住宅周辺のゴミ拾いを行いました。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	チーム全員で出来ることは何かないか考えたとき思い浮かんだ。
やってどう思いましたか？	気持ちがよかった。
周囲の反応はどうでしたか？	仮設住宅の方たちに感謝の言葉と激励の言葉をいただきました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊿	感謝の気持ちを力にかえて
年　齢	15歳
いつ頃	23年5月～
どこで	七ヶ浜町営球場周辺
だれと	チームで
どんな役割を果たしましたか？	仮設住宅の方たちに元気に挨拶をするよう心がけた。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	私たちが元気に野球や挨拶を行うことで、みんなに元気を与えられると思ったから。
やってどう思いましたか？	
周囲の反応はどうでしたか？	激励の言葉をもらった。
やってよかったと思うことなど、教えてください	
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども51	石巻長面浦の宮城のお母さんの猫の手になる
年　齢	14歳
いつ頃	8月
どこで	宮城県石巻市
だれと	子どもは自分一人(他は大人総勢15名)
どんな役割を果たしましたか？	石巻市の農漁家民宿は、以前泊まりにいった所で、Sさんはおばあちゃんみたいな存在。北上川河口にある民宿は大きな被害を受け、ほとんどが流されてしまいました。たくさんの子どもたちが亡くなった、小学校のその先にあります。橋が落ちてたどり着けずにいましたが、震災から5ヶ月で仮の橋ができたので、「私も片付け隊」(希望に寄り添う応援)が2011年8月に入ると母から聞き、子どもは私一人でしたが参加を希望しました。参加は農家民宿などのお母さんたちです。泥だらけになった家の戸や食器洗いや、みんなのためのご飯作りを、お母さんたち大人と一緒に行いました。仕事はしてほしい事を聞き、チームになって動きました。大人も子どももなく動きました。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	大きな被害が各地で報道されていました。小学校の事はニュースで聞いていました。石巻の事は母からも聞いていました。知らない人を一人で助けにいく事は難しいけれど、知っている人を助ける事ならできる、Sさんが困っていると聞いたので手助けしたいと思ったからです。
やってどう思いましたか？	みんなで協力すると大きな力になる、ということを感じました。泥だらけの家の戸や壁、食器、ありとあらゆるものが泥にまみれていました。「かたづけ隊」のみんなが入った後は、一部ですがきれいになり、食器も使えるように整理されました。一人の力は小さいけど、集まると大きな力になる、形になって見えると、みんなが嬉しい気持ちになります。また、私はみんなの食事を作るお手伝いをしました。農家民宿のお母さんと二人で15人分以上作りました。お母さんから色々教えてもらいながら、たくさんの人のために作ったお昼ご飯。みんながおいしいと食べてくれたときは、ほっとしました。猫の手くらいにはなれたかなと思いました。
周囲の反応はどうでしたか？	「ほんとによく気がつく」「黙って黙々と動いてくれて助かった」と、同じチームのお母さんたちに言われました。でも一番嬉しかったのは、Sさんの「ありがとう」です。学校では、先生の一人から自分もボランティアに参加している話を聞く機会があり、「あなたが自分の意志でボランティア活動していることは素晴らしいことだよ」と言われました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	Sさんの「ありがとう」の言葉を聞いたときは、やってよかったと思いました。たくさんの誰かを支える事は難しいけれど、知っている人の大変なところを少しだけでも応援することが自分にもできたとしたら、よかったと思います。震災前にそこに行った事のない人に、震災後の状況の「本当の姿』を感じてもらうのは難しいと感じました。帰宅後、父に話をしましたが、そこに行った事のない父には実態が伝わりません。 震災後多くのボランティアが現地に来ましたが、その人たちの心はどこにあったのかな、と思います。今、どのくらい多くの人が心をそこに残しているのかな。
避難所であったほうがよかったもの	避難所には行きませんでした。
応援があったらやりやすかったこと	ボランティアで入るための応援ということであれば、なにかあったら…と思うのではなく、今あるもので行うことが大切な気がします。要望は、きっときりがなくなると思います。「たら」「れば」は、できないときの言い訳になっちゃうから。

おとなからの投稿

子ども㊿	感謝の気持ちを力にかえて		
年　齢	15歳	い つ 頃	2012年3月
ど こ で	七ヶ浜町営球場となりの仮設住宅		
だ れ と	チームで		
どんな役割を果たしましたか？	チーム主催の記念大会を行うにあたり、仮設住宅を一件一件訪ね、記念に作成した「タオル」を配りながら、大会開催の挨拶と、チームの応援をお願いした。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	仮設住宅の方たちに応援に来てもらえば、仮設住宅の方たちの気晴らしになると思った。また、チームも元気をもらえると思った。		
やってどう思いましたか？	地域に密着したチームに一歩近づいたように感じた。		
周囲の反応はどうでしたか？	仮設住宅のみんなに激励された。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	仮設住宅の多くはお年寄りの方たちで、家にこもりがちだと聞いていたため、少しは外に出るきっかけを作れたと思った。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

おとな1			
年　齢	46歳	い つ 頃	2011年12月16日(金)
ど こ で	宮城県亘理郡		
だ れ が	中学校全校生徒		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	制限により、ボランティアの方々が手伝えない場所がありました。その地域の方々を助けようと団体が活動していました。津波があったそのままの状態になっている家を団体と中学生が片付けをし、大事なものを分別までしたのです。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	おしゃべりなど一切なくまじめに活動する姿から「自分たち(中学生)も復興の力になりたい」という思いが強かったことを確認しました。他校の中学生も文化祭で団体をとりあげるなど影響が広がった。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	上記の団体には東京、神奈川から毎週参加してくれる人、京都、福岡、遠くはニュージーランドからも参加してくれた人がいます。今後何かあったときはあなたたちが中心になります。日本人は助け合います。お互い力を合わせる仲間になりましょう。		

おとな2	将来の人材者に		
年　齢	68歳	い つ 頃	平成23年3月～6月
ど こ で	宮城県多賀城市		
だ れ が	小学４年生位の女の子１人 高校生の女生徒数名３～４名		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	食事の配布の時、地区別の整列つくりに協力していました(他の子供達は遊んでいたのに)。５月頃になると小学生数人が参加、食事時の手の消毒を積極的に行っていました。高校生などと共に行動していました。(小学生が働いていることを批判していた人もいたようでしたけど、私はただ感謝していました。)		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	残念ながら私達年寄りはなすすべもなく人に助けられてばかりの避難生活でした。この子達の将来が頼もしく感じられました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	現在の心を大切に大事にし世の中の中心になっていただきたいと願います。避難所ではボランティアをしていた人でも仮設のボランティアはしない、市とか県とか単位のボランティアには積極的に協力するのに仕事を理由に仮設のボランティアは見向きもしない大人(青年)を見ると悲しくなります。小さな地域も大きな地域もボランティア精神は同じだと思うのですが、何がちがうのでしょうかね。		

おとな3 「共に生きる」			
年　齢	33歳	いつ頃	2011.4月
どこで	宮城県大崎市他		
だれが	高校生数名		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	・勤務している高校で被災地へのシューズや文房具の寄付を呼びかけたところ快く協力してくれた。またジャージなどをたくさん寄付してくれたり、集まったシューズを洗ったり、それぞれの生徒が自分にできる行動をした。 ・各生徒が宮城県内各地のボランティア活動に積極的に参加していた。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	・自分1人だけではなく、周りの友達を誘って行っている姿や、自主的に寄付を申し出てきた生徒の姿をみると子ども達自身がもっている力に改めて気づかされ、勇気づけられた。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	誰かが困っていたら自然と協力したり、支えあったりできる大人になって下さい。「共に生きる」ことのすばらしさや大切さを未来の子ども達にも伝えていきましょう。		

おとな4 奉仕のこころ			
年　齢	45歳	いつ頃	平成24年3月
どこで	宮城県石巻市雄勝町		
だれが	中学校		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	ペットボトルを集め山水を汲み飲料用にお年寄りに配った。エコノミー症候群の予防に小学校に避難されている方々の体操のリーダーとして各部屋をまわり、マッサージをしてコミュニケーションをとっていた。ヘリコプターから校庭に物資が降ろされ皆でリレーで運んでいた。夜間、お年寄り一人一人にライトでトイレ誘導していた。避難所の掃除。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	飲料水がなく貴重だったが、自分達で汲み集め動くのが大変な方を優先に配っていた。特にお年寄りは何をするのも動くのが大変で涙を流して喜ぶ人もいました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	震災により大きな犠牲を伴いましたが、多くの人達との出会いは貴重な体験となったことと思います。人との助け合いを心に刻みふるさと復興のためにも夢と希望を持ってこれからの人生の糧とし欲しい。		

おとな5			
年　齢	35歳	いつ頃	3月11日～
どこで	宮城県石巻市		
だれが	高校生数十名		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	私は、震災当日避難所には指定されていなかった高校へたどりつきました。その時、すでにヒザ位まで水位がありました。そんな中、ジャンバーを着ず、ジャージとくつをはいた姿の高校生が避難してきた私たちを水につかりながら体育館へと誘導してくれました。腰の高さまで水が来て、ようやく体育館の2階へと上がって来た彼らは、ふるえながらも避難所の設営にあたったのでした。暗い中、そしてよるが明けるまで、彼らは数少ない懐中電灯を片手に動き回っていました。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	何もない中、体育館を片づけ高いところのカーテンをはずし、くるまってもらうように配り、体育館倉庫に卓球台で仕切り、衣装ケースをトイレの代わりにし、明け方には水につかりどろにつかりながら、校舎からペットボトル2L数本の水を持ってきてくれました。先生の指導、指示のもとに動いたとは思いますが、帰宅できずにその場に居合わせただけの彼らの姿は本当寒くて冷たい夜でも安心できるそしてたのもしい心強い存在でした。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	あの震災を経験した子ども達は一生あの日を忘れないと思います。あの時の事を自分の子ども達に話してもうらいたい事。そして、これからの石巻の復興へ自分たちの経験や意見を活かしてほしいです。「がんばれ!」とは言いません。自分ができる事で十分。周りの人と力を合わせ、感謝を忘れず前を向いて歩いて欲しいです。		

おとな6 避難所で働くこども達			
年　齢	43歳	いつ頃	H23.3月末
どこで	中学校		
だれが	主に中学校・小学校の生徒達		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	水くみリレー、物資の仕分け作業、トイレ当番(外に座ってトイレットペーパーを配る仕事)		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	最初の頃は個人のわがままや非常識な行動をとる大人が見受けられたが徐々に無くなっていたように思う		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	どんな困難にも負けない強い心を持って、何事もあきらめないで欲しい。次世代の子ども達に震災での体験をしっかり伝えて下さい。		

おとな7	
年　齢	36歳
い つ 頃	2011年3月～4月
ど こ で	宮城県石巻市
だ れ が	一生懸命にそうじをしたり荷物を運んでいた
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	とても助かりました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	優しくふれあってくれてありがとう。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	

おとな8	手に手をとって
年　齢	38歳
い つ 頃	2012.12
ど こ で	宮城県石巻市泉町
だ れ が	中学生女子3名
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	黄色いぼうしの小学1年生の手を中学生のお姉さんたちがひき学校へ登校する姿
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	朝から感動してしまいました
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	余震もつづく、子ども達が少なくなる被災地で幅広い年齢層の人たちが手に手をとって協力し合いすてきな故郷をつくりすすんでくれればいいなぁと思います。

おとな9	
年　齢	49歳
い つ 頃	3月12日～3月30日
ど こ で	宮城県石巻市泉町
だ れ が	生徒達
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	水洗トイレの水をプールからバケツリレーをした
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	寒い中プールの水も凍っているのにとても助かりました
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	生きる力を持って下さい

おとな10	行動中
年　齢	40歳
い つ 頃	2011年3月11日～3月12日
ど こ で	宮城県石巻市の小学校
だ れ が	中学1年～3年生
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	中学生の男子数名が小学校の授業で使ったらしい乾電池と豆電球を見つけて来て、廊下やトイレを照らしてくれた。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	ものすごく感心しました。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	この震災で経験した事や学んだ事を将来の子ども達に伝えて行って欲しい。

おとな11	①被災者に寄り添うジャージ姿に感銘②頼もしい中学生の自主的活動		
年　齢	72歳	いつ頃	平成23年3月中～下旬(避難所は9月中旬閉鎖)
どこで	宮城県気仙沼市松崎浦田 気仙沼市の公民館		
だれが	気仙沼市の中学校生徒(数人)		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	そもそもこの避難所は東日本大震災で600余人の避難者(約半数は家屋流失の被災者)を抱えて、自治会など多くの団体からのボランティアで運営していた。一方では地区内の失業者などへの支援も担っていたので、猫の手も借りたい状況であった。そんな中、春休みを利用した中学生数人が、3週間ほど連日子どもの遊び相手、館の清掃や配膳、救援物資の仕分けを配布などでボランティア活動を続けた。そのことがボランティア仲間や避難者からも賞賛された。その後、こうしたことも含めて公民館の事例が文部科学省のホームページでも紹介された。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	中学校生のボランティア活動は、学校の要請ではなく、仲間自らの意思であったことにまず感銘を与え、ジャージ姿が回りの人々に清々しく映り、前向きに生きようとする避難者には、“希望の星”のように感じられた様子であった。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	当時、ボランティア活動に携わった生徒は、避難者の生活現場で貴重な体験をした筈だ。そのため私は、別れ際に「震災復興への道は程遠い。皆さんにはこのボランティア活動を忘れることなく、近い将来に復興の担い手となるよう期待している。」と話した。そして今、中学校生活を送る生徒が併存していて、必ずや地域再興という期待に応えてくれるものと確信している。		

おとな12	子ども達の力		
年　齢	41歳	いつ頃	2011年3月～4月
どこで	宮城県仙台市太白区		
だれが	小学生～高校生13人くらい		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	炊き出し、お弁当を作って配達、支援物資の配達		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	自分達も不自由な生活を送っている時に、他人のことを思う心があって優しい子ども達だと思った		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	他者を思いやる優しさと自分の住む地域を思う心を大切に持ち続けてください。		

おとな13			
年　齢	45歳	いつ頃	震災後
どこで	多賀城市桜木		
だれが	2名16歳		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	ドロだらけのお宅を(市のボランティアに参加して)片づけを友人と手伝っていました。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	自分の息子ですが、大変心強く良い経験をさせてもらっているとうれしく思いました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	今の気持ちを忘れることなく、全てにおいて今後に生かしていってくれればと思います。		

おとな14			
年　齢	39歳	いつ頃	3月～4月頃
どこで	多賀城市(宮城県)		
だれが	中学生数名		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	高齢者の手助けをしていた		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	えらい!と思った。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	今後もやさしい気持ちを持っていてください。		

おとな⑮	あたたかい心		
年　齢	32歳	い つ 頃	3月～
ど こ で	宮城県多賀城市		
だ れ が	2人～多数　中学生		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	避難者で小さな子どもと遊んでくれたり、誘導してくれたり遊ぶ場のない子ども(小さな)と楽しく遊んでくれ、片付けをする親は大変助かった。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	自分達も大変な時期に笑顔で接してくれこちらも笑顔が再びでてきた。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	苦しい時期を共にした仲間を大切にしてください。		

おとな⑯			
年　齢	37歳	い つ 頃	2011年3月頃
ど こ で	宮城県多賀城市		
だ れ が	5～6人		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	聞いた話なのですが…避難所となっていた中学校のトイレが(水が流れないために)使えなくなっていた所、中学生の子ども達がプールの水をバケツでくんで流してくれたそうです。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	感動しました		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	大変な時こそ、ふんばり時です。自分の力で素敵な未来を勝ち取ってください。		

おとな⑰			
年　齢	44歳	い つ 頃	H23.3～4月
ど こ で	宮城県多賀城市		
だ れ が	2人　高校生		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	水くみの手伝いをしていた		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	たくましく、うれしくなった		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	この気持ちを忘れないでほしい		

おとな⑱			
年　齢	34歳	い つ 頃	3月頃
ど こ で	宮城県多賀城市		
だ れ が			
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	水くみ、食料配布など		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	小さい子どもがいたので、とても助かりました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。			

おとな19	助け合い		
年　齢	43歳	いつ頃	3月
どこで	宮城県多賀城市		
だれが	中学生		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	避難所の小学校で、自分達も被災しているのにトイレの清掃やプールからの水くみ等率先して行っていました。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	不安をかかえながらの毎日でしたが、中学生の活動にパワーをもらいました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	経験した事はこれから先きっと大きな力になってくれると思います。この経験を忘れず、頑張ってほしいと思います。		

おとな20			
年　齢	36歳	いつ頃	3月15日頃
どこで	宮城県多賀城市		
だれが	中学生か高校生10数人		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	避難所で被災した子ども達と遊んでくれてました。狭い避難所生活をしていた子ども達はとても楽しそうだった。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	あの状況の中、大人達は子どもと遊んであげる余裕がなかった…。中高生たちがとても“たくましく”見えました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	3.11の経験を忘れず、“たくましい”大人になって下さい!!		

おとな21			
年　齢	41歳	いつ頃	2011.3月
どこで	宮城県多賀城市		
だれが	中学生2年生		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	クラスメート全員の安否確認を1人1人の家に行き確認していた。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	震災直後、自分達の事だけで精一杯だった時期、まだ余震、津波警報、放射能が心配される中、自分の事よりクラスメートを按ずる姿に心うたれた		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	今、自分ができる事を、自ら考え行動できる中高生の皆さんは、この先何があっても乗り越えられると思います。常にひとりじゃない事を忘れないでください。		

おとな22	チームワークで乗り切れ		
年　齢	48歳	いつ頃	3月～
どこで	宮城県多賀城市		
だれが	6年生10人ぐらい		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	プールからのバケツリレーでトイレ用の水をみんなで運んでいました		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	さすがチームメイト、野球で培ったチームワーク。重い水をいっしょうけんめい運んでいました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	人が嫌がることを進んでやって欲しい		

おとな23	
年　齢	44歳
い つ 頃	4月
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ が	小学生多数
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	避難所になっていた小学校の清掃
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	遅れて始まる新学期の準備のためとはいえ、普段の生活に戻ろうとする姿勢は大人も見習うべきものだったと思う。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	大変な経験だったと思いますが、みんなのために行動することは、いつか絶対自分のためになるはずです。

おとな24	校庭にてなわとび遊び
年　齢	33歳
い つ 頃	3月～4月
ど こ で	多賀城市
だ れ が	10名子や大人
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	避難所でボランティアの方が小さな子ども達を集めてなわとびをして下さいました。着の身着のままだったので、昼間は時間をもてあそんでいたので、放送があり元気に笑顔で楽しんでいる様子を見て、少し救われた気がします。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	率先してボランティアをして下さる様子を見て、私達大人だけではなく、子ども達からもらうパワーはすごいと感じます。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	あの時、力になってくれてありがとう。

おとな25	私が見た高校生
年　齢	42歳
い つ 頃	2011年3月末頃
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ が	高校生5人
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	津波で被害を受けた家屋の中の泥やガレキ等を、高校生が泥まみれになりながら片づけていました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	感動した。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	助け合う気持ちを忘れずに

おとな26	
年　齢	36歳
い つ 頃	3月
ど こ で	宮城県多賀城市
だ れ が	ボランティア4～5人
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	家のかたづけをしていたら、ボランティアの方が来て、冷蔵庫、洗濯機など、重い物など外に出してもらったりですごくたすかりました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	

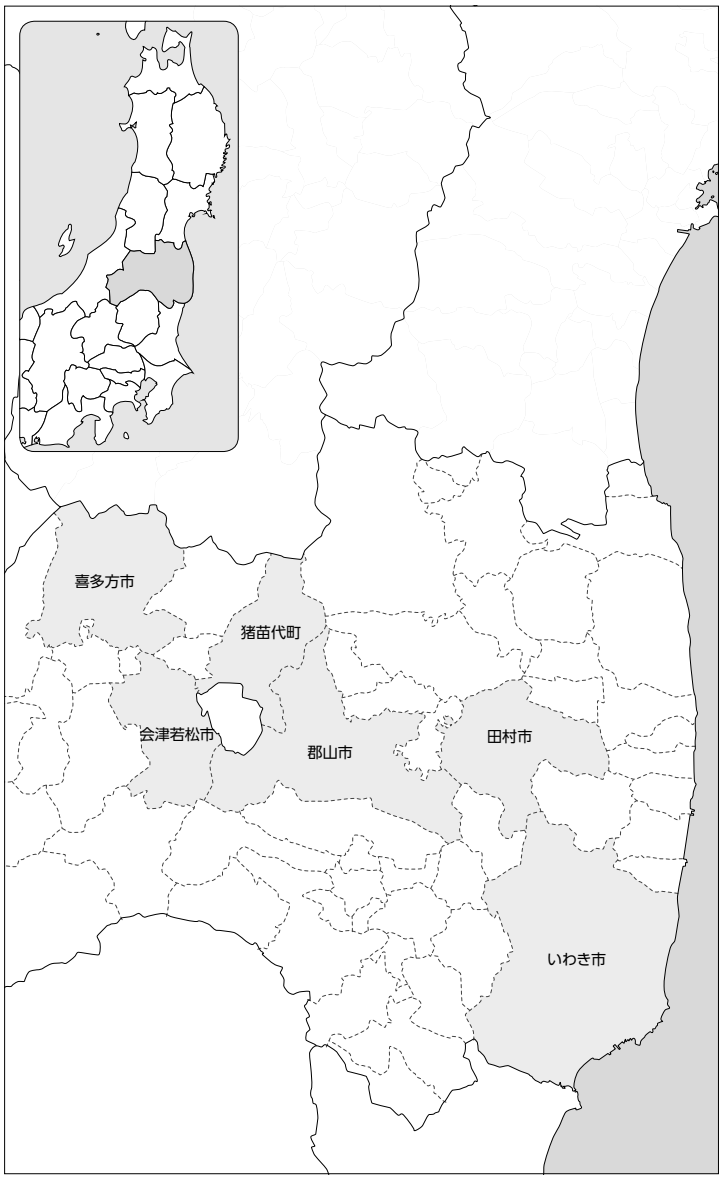
おとな27	物資配布、水くみなど診療所内での手伝い		
年　齢	50歳	い つ 頃	3月～5月頃
ど こ で	宮城県多賀城市		
だ れ が	中学生、高校生、大学生、5～6人		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	震災のすぐ後から診療を開始したアレルギー科、小児科の診療所です。全国から送って頂いたアレルギー用の物資や子供用品の配布、在庫管理などたくさんの仕事。誰に言われるでもなく、職員の子供たちが自主的に参加してくれました。物資の管理や荷物運び、給水所での水汲み、薬局への連絡など、幅広い仕事をしてくれました。おかげで診療も順調に行うことができました。ライフラインが寸断、食物アレルギーがあるため、特別な食品を必要とする患者さん達の安心と安全をお手伝いしてくれていました。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	それぞれが持てる力を適切に、ごく自然に仕事に参加していたという感じでした。親と一緒に出勤して、働き、一緒に帰宅していました。物資をもらいに来られた方は非常に感心していた様です。私が学生だった頃を思い出してみましたが、このような働きがはたしてできただろうか疑問です。ボランティアというのはこういう事を言うのだと痛感しました。後に色々な活動でメディアに取り上げられていた中高生も立派ですが、静かに人知れず、しかしすごく重要な役割を担っていた彼らを褒めてあげたいです。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	この震災でわが身に起きた事に負けず、常に前向きに進んでほしいです。でも疲れた時にはまわりの大人たちに救いを求めてください。その為に私たちはいるのです。こんな状況の中、皆ものすごく立派でした。		

おとな28	感謝の気持ちを力にかえて		
年　齢	47歳	い つ 頃	震災後
ど こ で	宮城県宮城郡七ヶ浜		
だ れ が	チームの選手		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	仮設住宅の人達と思われる人達に、積極的に挨拶をしていた。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	子供たちの元気な挨拶を見ると、私たちも「何かできないか？」という気持ちが芽生えた。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	野球に限らず、スポーツを一生懸命行う子供たちの姿を見ると、将来に対する希望や「頑張るぞ!」という気持ちが湧いてくる。 こんな時に「野球？」と思う人もいるかもしれないが、私自身「目に見えない力」の存在とその効果は無限大だと心の底なら思うようになった。これからも一生懸命何かに打ち込む子供たちを応援しながら「目に見えない力」をたくさんもらいたい。		

おとな29	明るく元気に みんな仲間		
年　齢	59歳	い つ 頃	3月12日～
ど こ で	仙台市宮城野区の中学校校庭		
だ れ が	中学生、30人～40人くらい、日増しに増えていきました。		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	断水、断ガス、停電の中で、中学生が手押し井戸ポンプで水を汲み上げ水を求めに来た人々に給水をしていました。また プールでは、ヘリに片手をかけ、体と伸ばし窮屈な格好で水を汲んでトイレ用に使用する水を汲み上げていました。更に給水を待っている親御さんのお子さんと追いかけっこやドッチボールをして遊んでやったり、朝から暗くなるまで毎日です。日を追うごとに参加人数は増えていったかと思います。ボランティアというよりは明るく、元気に多分同じ部活のメンバーかと思いますが、自分たちで考えられるそしてできる限りのことをしていたのだと思います。その作業は本格的に給水車がくるようになるまで続き、また プールからの汲み上げはその後も継続していました。みんなでキャッキャいいながら、暗くなる様子もなく、水だけでなく私たち皆に元気と希望を与えてくれたと思います。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	常々 今の若い者はという声を耳にしますが、決して全ての若い人たちがそうではなく苦難に陥ったり、人に役立つことがあれば進んで、あるいは誰かが誘ってくれれば社会の一員として前に向かっていきます そんないまできる精一杯のことを明るく元気に行う姿に感銘を受けました。更にとかく悲壮になりがちな状況下の中で皆に元気、希望、勇気を与えてくれました。とかく今の若者には夢がない、そして自暴自棄になっているといいます。そんな不透明な先の見えない世の中を作ったのは我々です。責任の大部分は私たち大人にあります。多くの犠牲になった方には申し訳ありませんが若い人々を見直す機会になったことは確かです。気持ち的にはちょっと優しくなった様な気がします。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	人生は海あり、谷ありです。でも 決して苦しいことばかりではありません。決して逃げることなく向かっていけば いづれは楽しいことに変わります。苦しかったことも笑い話として話せるようになります。そして可能な限り多くの人と接することです。なにしろ若さという無限の財産は後で決して作れるものではありません。私ももっと若かったらと思います。		

おとな30	災害ボランティアセンターを支えた高校生		
年　齢	36歳	いつ頃	2011年4月～5月
どこで	東松島市災害ボランティアセンター		
だれが	東松島市在住の高校生(2～3年)		
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	震災直後、東松島市災害ボランティアセンターは食料やガソリン、水道や道路の普及が進まない状況からボランティアの受け入れを市内限定にしていました。私は仙台在住でしたが、ボランティアで溢れかえる仙台のVCの状況を知っていたため車に一週間分の食糧と往復のガソリンを確保できたところで、東松島のVCへ電話連絡をして迷惑にならないことを確認し、東松島へボランティアに向かいました。3月下旬から4月上旬の東松島VCで活動するボランティアは、市内の方がほとんどで市内の方の4割程度は春休み中の学生だったという印象です。高校生のボランティアと一緒に泥カキしながら、依頼主と話すと中学の時の担任の先生だったり、同級生の家だったり、大変な作業をしながらもみんな使命感を持っていきいきと活動していました。広い駐車場に車中泊していた私は、仲良くなった高校生の自宅に泊めていただきお風呂を借りたり食事をごちそうになったり、年の差を超えて仲間になっていきました。4月に入るころからは、次々と舞い込むボランティア派遣依頼に対応するため市内限定としていたボランティアの受け入れを県内受け入れ、全国受け入れと拡大し一日に東松島に来るボランティア数が徐々に増加してきます。そうなると足りないのは運営側のスタッフです。私自身もいつのまにか運営側のスタッフとなり、何日か活動を共にしていて顔を覚えていた地元の学生の何人かに声をかけ運営側を手伝うようお願いしました。ボランティアセンターの運営サポートは直接被災者の方と東松島市災害VCのスタッフとして応対しなければなりません。例えば電話で翌日のボランティア派遣のアポイントを依頼者と取るのですが申し込みいただいてから一週間以上お待たせするのは当たり前の状況で、事情を理解していただけない依頼者の中には高校生相手に怒り出す方もいるような状況です。また、遠方から来るボランティアの中にも、VCの対応や受付してから被災者宅での活動開始まで待たせる時間が非常に長くなり苦情をぶつけてくる方もいらっしゃいます。増え続ける派遣依頼の電話、増え続けるボランティアの数、補強されないVCの運営体制の中学生ボランティア運営スタッフの負担は増え続けるばかりで、マッチング班のリーダーを高校生でまわさなければならない状況がしばらく続きました。そんな厳しい状況の中で誰も弱音を吐かず、ひたすらに被災者のため、東松島に来てくれたボランティアのためボランティアの受付時間が終わっても次の日の準備をし、派遣依頼票の中で優先順位の高いものはないか探しだし、効率よい運営のために頭を使って意見を出し春休みが終わり学校が始まるぎりぎりまでVCの運営を手伝ってくれました。ボランティアが使い、泥で汚れたスコップなどの資材をVCのスタッフが洗浄するのですが、一時期は小学生3人組が資材洗いを担当していた時期もあります。それくらいVCの運営スタッフが足りない現状でした。3月下旬から4月上旬の東松島市災害VCは学生の運営スタッフがいなければ運営がままならない現状でした。		
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	いきいきと東松島のために泥カキをする学生。運営側に回り、マッチング班のリーダーとなり自分がいないとVCが回らないと、風邪をひいていても無理してVCへ来て真っ赤な顔で踏ん張る姿。進学のためVCを離れなければならないときは次の学生へしっかりと業務を申し送っていく姿、それを真剣に聞くのもまた学生。おじいちゃんと孫くらいの年の差のスタッフと一心不乱に依頼票をチェックしている姿。心無いボランティアからの苦情を、すべて自分の責任とし悔し涙を流す姿。慣れない電話に緊張しながらも、被災している家の状況を丁寧に電話で聞いていく姿。身近に起きている震災なのに、一切ボランティアに参加しない大人も多い中、まだ10代の彼氏彼女らは非常に頼もしく、誇りであり、まぶしかった。こういう中高生が少しでもいれば日本は大丈夫と思うとともに、現役の私たち世代が、少しでも今の被災地の現状を良くして、彼らにバトンタッチしなければならないと密かに決意しました。		
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	世の中しんどいことだらけかもしれないけど、それと同じくらい楽しいこともたくさんある。あの経験を乗り越えたみなさんの今後の活躍に期待しています。何年後かに想い出話を肴にしつつ酒を飲みましょう! 私も胸張って皆さんに会えるよう気合い入れます。		

福島県 からの投稿



投稿数

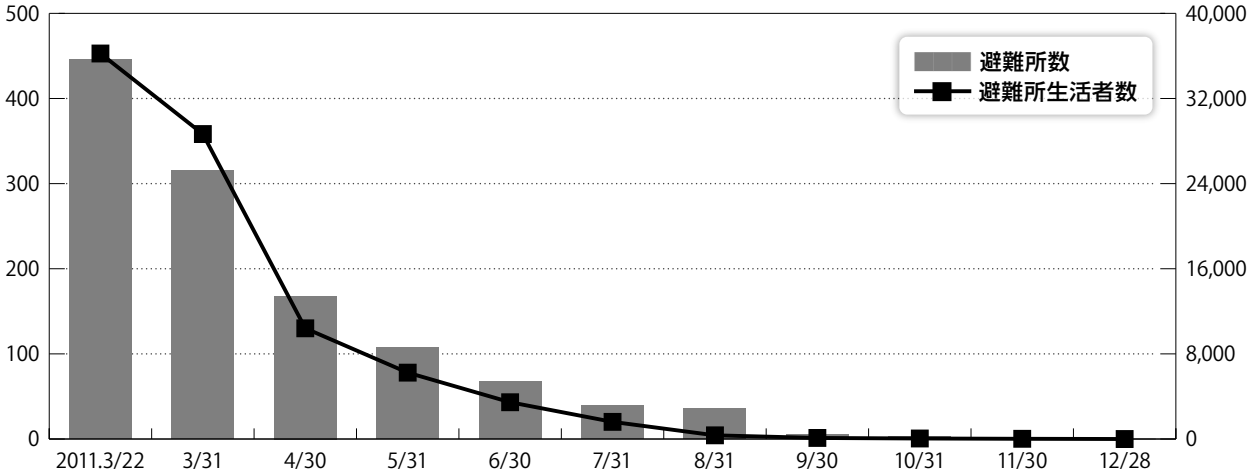
中高生	おとな	計
12	5	17

被災状況

死者	行方不明者	家屋倒壊数	避難生活者数
1,606	211	93,855	153,992

（2013年3月現在、警察庁・復興庁調べ）

避難所数・避難所生活者数の推移



（福島県調べ）

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
大丈夫だよ		12

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
3月11日	福島	

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）
地震で怖がっている1年、2年をはげました。泣いている人もいたからみんなで歌を歌ってあげた。

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）
みんなに元気になってほしかった。心を一つにして行動したかった。

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）
元気になってくれているのを見て、いいことをしたのかなと思った。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）
私たちが歌っている姿を見てみんな歌ってくれた。

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）
みんなで1つになってはげました。歌でみんなの心を一つにするんだなぁと思った。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと
小さい子供用の遊び道具	

タイトル（あなたの見た、或いは助けられた活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
極限でのボランティア活動		39

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町	だれが（人数、年齢など）
2011年 3月11日	福島県南相馬市	中学生

①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？
東日本大震災の直後、避難所となった小学校で、電気が止まり、断水した。そこで、自分の家が津波で流失しているかもしれない中学生が避難所のトイレに水を運んでいた。雪がちらついている寒さの中、屋外の防火用水のプールの水をトイレに何度も運んでいた。

②中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？（あなたや周りの大人に与えた影響など）
地震直後、そして、津波という災害の見舞われたのにもかかわらず、極限の精神状態のなか、ボランティア活動を行う中学生の姿に心を打たれた。

③未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。
東日本大震災を目の当たりにし、乗り越えてきたみなさんは、これからどんなことでも立ち向かっていけるはずです。みなさんの前途ある将来をおおいに期待しています。※書ききれない場合は、裏面に書いてください。

※投稿者のお名前はプライバシー保護の観点から記載を控えさせて頂きました。
※投稿紹介は原文のまま掲載しています。

投稿紹介

子ども①	小さなことから
年　齢	12歳
いつ頃	5月～8月
どこで	福島県田村市
だれと	4～5人
どんな役割を果たしましたか？	小学校の時、しえん物資としてとどいたマスクの箱を4～5人くらいとはこんだ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	すこしでも、人のやくにたちたいとおもった。
やってどう思いましたか？	小さなことだったけど大きな達成感をえられた
周囲の反応はどうでしたか？	先生などにありがとうといわれた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	人のやくにたててよかった。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども②	避難所でしたこと。
年　齢	15歳
いつ頃	3月11日～14日頃
どこで	福島県いわき市
だれと	同じ学校の先輩・後輩たち
どんな役割を果たしましたか？	校庭での車の誘導・支援物資の配布・安否確認、避難所内の清掃・水汲み
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分は元々人の役に立つことをすることが好きな性格だからです。
やってどう思いましたか？	震災の前は「人の手伝いは大丈夫だよ」等と思っていたが、色々な人の協力を受け、人の助けの必要さを感じた。
周囲の反応はどうでしたか？	安否確認の時に、その親族の方に「ありがとう」と言われた。車の誘導のとき、夜遅くまでやっていて車で来た人に「おつかれさまです」と言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	4月11日に起きた余震の時に、前回(3月11日のとき)のことを学習したのか、誘導なしできちんと車が並んだ。避難所で一緒に働いた人の中で、学校生活であまり交流のなかった人がいたが、避難所という場で生活するにつれ、その人の意外な一面などを発見できた。よかったことではないかもしれませんが、色々手伝っていて途中先走ったりするなどしてトラブルを起こしたりしてしまいましたが、生活の中で「落ち着く」ということを意識させるきっかけになりました。
避難所であったほうがよかったもの	携帯電話の充電器、かい中電灯、電気ヒーター、水、保存食、電気ポット
応援があったらやりやすかったこと	特になし

子ども③	
年　齢	12歳
いつ頃	2011年3月～4月
どこで	福島県猪苗代町
だれと	6人
どんな役割を果たしましたか？	被災した人たちの荷物運び
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災してきた人の力になりたかったから。
やってどう思いましたか？	人を助けたりするのは、気持ちがいいなと思った。
周囲の反応はどうでしたか？	手伝った人にありがとうと言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども④	支え合い
年　齢	19歳
いつ頃	3月頃
どこで	会津若松市
だれと	3人
どんな役割を果たしましたか？	ガソリンスタンドの前で止まっていた車をガソリンスタンドまで押した
なぜ、それをやろうと思いましたか?	一人で車を押していたから
やってどう思いましたか？	協力する事は大切だと思った
周囲の反応はどうでしたか？	本人が学校まで来て下さり、一人一人にプレゼントとお金を頂いた。お金は募金しました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	勇気を出して行って良かったと思った。誰にでも出来る事はあり、助けられる人が居ると思うと嬉しかったです。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども⑤	生活介護ボランティア		
年　齢	18歳	い つ 頃	4～5月頃
ど こ で	介護施設		
だ れ と	同じ看護学生のみんなと		
どんな役割を果たしましたか？	オムツ交換、食事介護、車イス移送		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	困っている人を助けたいと思ったから。		
やってどう思いましたか？	役立てたことが嬉しかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	友達に「私もやりたかった」と言われた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	感謝されると嬉しいし、学んでることが活かせてよかった		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑥	助け合うことの大切さ！！		
年　齢	19歳	い つ 頃	3月頃
ど こ で	老人ホーム		
だ れ と	クラスメイト(4人)		
どんな役割を果たしましたか？	老人ホームに行って、日常の援助を行いました。(排泄、入浴、食事、環境整備)		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校に募集に来て、力になりたいと思いました。		
やってどう思いましたか？	私がボランティアに行って役に立ったか分からないけど、私なりに出来ることをやりました。やって良かったです。		
周囲の反応はどうでしたか？	老人ホームの職員の人や利用者の人に「ありがとう」や「助かりました」と言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティアを行った後に、「ありがとう」と言われ、やって良かったと思いました。		
避難所であったほうがよかったもの	食料、防寒具、毛布など		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑦	生活介護ボランティア		
年　齢	19歳	い つ 頃	春休み
ど こ で	福島県会津若松市		
だ れ と	クラスの人		
どんな役割を果たしましたか？	介護の手伝い		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	介護学生として役に立ちたくてやった		
やってどう思いましたか？	いい体験ができてよかった		
周囲の反応はどうでしたか？	親切からすごいねなどいわれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	学校で学習してきたことを役立てて活かすことができたのでよかった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑧	生活介護ボランティア		
年　齢	19歳	い つ 頃	春休み
ど こ で	福島県会津若松市		
だ れ と	クラスの人		
どんな役割を果たしましたか？	介護の手伝い		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	看護を学ぶものとして役に立てれば良いなと思った。		
やってどう思いましたか？	ボランティアを通して様々なことを学ぶことができ、良かったです。また、看護学生として役に立てて良かったです。		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	少しでも力になれたなら良かったと思います。看護を学んでいて役に立つことができたので看護学生で良かったと思いました。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑨	ボランティア		
年　齢	19歳	い つ 頃	8月
ど こ で	福島県喜多方市		
だ れ と	4人		
どんな役割を果たしましたか？	老人ホームに行ってベッドメーキングとおむつ交換、食事介助、服の着脱を行った。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災した方が老人ホームにきて介護師さんの人でがたりないと聞いたから		
やってどう思いましたか？	本当に忙しいなと思った		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	介護師さんに「本当に助かった」と言われた		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑩	施設のボランティア		
年　齢	19歳	い つ 頃	3～4月
ど こ で	会津若松市		
だ れ と	3～4人		
どんな役割を果たしましたか？	オムツ交換、食事介助など		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	役に立てれば良いなと思ったから		
やってどう思いましたか？	思ったよりも大変だった		
周囲の反応はどうでしたか？	「ありがとう」と言われた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	人が足りていないようだった		
避難所であったほうがよかったもの	食べ物など		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑪	震災の後にした事		
年　齢	12歳	い つ 頃	3月～4月頃
ど こ で	福島県郡山市		
だ れ と	お母さんと二人で		
どんな役割を果たしましたか？	ひなん所へ行って動物達のペット用品を寄付した。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ケージがきちんとしたのでなく寒そうで、家にもう使わない物があったから。		
やってどう思いましたか？	動物が大好きだから寄付してよかったなと思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？	ひなん所で動物達のめんどうを見ていた人に「ケージがなくて困っていたからありがたいです」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	もし、寄付していなかったらケージがなくて寒くて弱ってしまう動物もいたかもしれないけど、寄付した事によって少しでもそういうことを減らすことができたと思うので寄付してよかったなと思いました。		
避難所であったほうがよかったもの	ペット用品		
応援があったらやりやすかったこと			

おとなからの投稿

おとな1	
年　齢	33歳
い つ 頃	夏頃
ど こ で	(TVで見た中で)宮城県
だ れ が	中高生
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	自分自身も被災しているのに、他のお宅へと水を運んだり、お年寄りの方に食料を歩いて(長時間)届けていた。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	自分だったらその子たちと同じことが出来るだろうかと考えさせられた。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	思いやる心、いたわる心を持つ若い子がもっともっと増え、明るい未来がひらければと思います。とても勇気づけられました。

おとな2	
年　齢	37歳
い つ 頃	2011年3月～4月
ど こ で	福島県猪苗代町
だ れ が	多分高校生
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	避難所にいる子ども達と、運動スペースで遊んでくれたりボール運動など相手してくれました。おり紙や勉強などもしてくれてたと思います。ストレスのたまる共同避難生活で、おもいきり遊べて楽しみに待ってました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	大人は、子どもたちのありあまるパワーを高校生が相手してくれた事で、助けられたし感謝していました。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	

おとな3	高校生活の大切な時間をありがとう
年　齢	39歳
い つ 頃	2011年4月頃
ど こ で	福島県の高等学校
だ れ が	高校生
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	当時、福島浜通りの友人が、高校の体育館で避難生活をされていました。午後になると、高校生がやってきて、体育館にいる子供達と体を動かして遊んでくれていました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	当時、放射能で誰もが不安に思って過ごしている中、ほんのひとときでも子ども達を元気にしてくれた高校生に感謝の気持ちでいっぱいでした。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	どんな小さな事でも、思い切って行動してみて下さい。周りの大人はそれを待っているし、そこから言い表せないほどの感動を受けるはずです。

おとな4	スポーツで明るく生きる子ども達
年　齢	47歳
い つ 頃	3月～4月
ど こ で	福島県北塩原村
だ れ が	小中学生
どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？	北塩原のスキー場に集まってきた子ども達、以前のようにはいかないながらも、可能な範囲でスポーツに打ち込み頑張っている姿を目の当たりにしました。その顔は大人とは異なり生き生きしていました。
中高生たちのその姿に触れてどう思いましたか？	震災後暗く落ち込んでいる大人たちの前に、不便でありながらも以前と変わらず、モーグルスキーにうちこむ子ども達の姿を見て、立ち止まってはいけない事を学びました。私達は生きている、そして子ども達には将来がある事を再認識しました。
未来へ向けて中高生たちへの期待やメッセージを書いてください。	どうぞ自分の笑顔を忘れないで、立ち止まらず進んで下さい。笑顔の先には明るい未来があります。それを忘れてしまっている私たち大人に思い出させて下さい。

秋田県・山形県・東京都 からの投稿



秋田県 … 投稿2件

死者	行方不明者	避難生活者数
0人	0人	1,281人

最大避難所生活者数
397人

（2013年3月現在、警察庁・復興庁・秋田県調べ）

山形県 … 投稿1件

死者	行方不明者	避難生活者数
2人	0人	9,982人

最大避難所数	最大避難所生活者数
56カ所（3月21日）	3,834人（3月21日）

（2013年3月現在、警察庁・復興庁・山形県調べ）

東京都 … 投稿1件

死者	行方不明者	避難生活者数
7人	0人	9,037人

帰宅困難者一時待機施設数と収容人数
1,030カ所／94,001人

（2013年3月現在、警察庁・復興庁・東京都調べ）

秋田県 子ども①	私たちに出来ること
年　齢	17歳
い つ 頃	7～8月
ど こ で	岩手県大船渡市
だ れ と	友達3人
どんな役割を果たしましたか？	河川敷のごみ拾いをしました。津波でいろいろなものが流されていました。被災地にある保育園にボランティアに行きました。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ホームプロジェクトの発表で被災地で今私に何かできることはないのかと思いボランティアで行きました。被災地はどういう風になっているのかすごく不安な気持ちでした。
やってどう思いましたか？	ほんとに日常生活で使っているようなものも流れていて津波のすごさを改めて実感できました。私たちより保育園児の方がすごく元気であったのに驚きました。
周囲の反応はどうでしたか？	特になし。
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災地に行ってみて、ほんの少しだったけど被災者の力になれてよかったと思いました。ボランティアしているときも地震が起きて少し怖かったです。
避難所であったほうがよかったもの	少量でも暖かいもの
応援があったらやりやすかったこと	ゴミ拾い

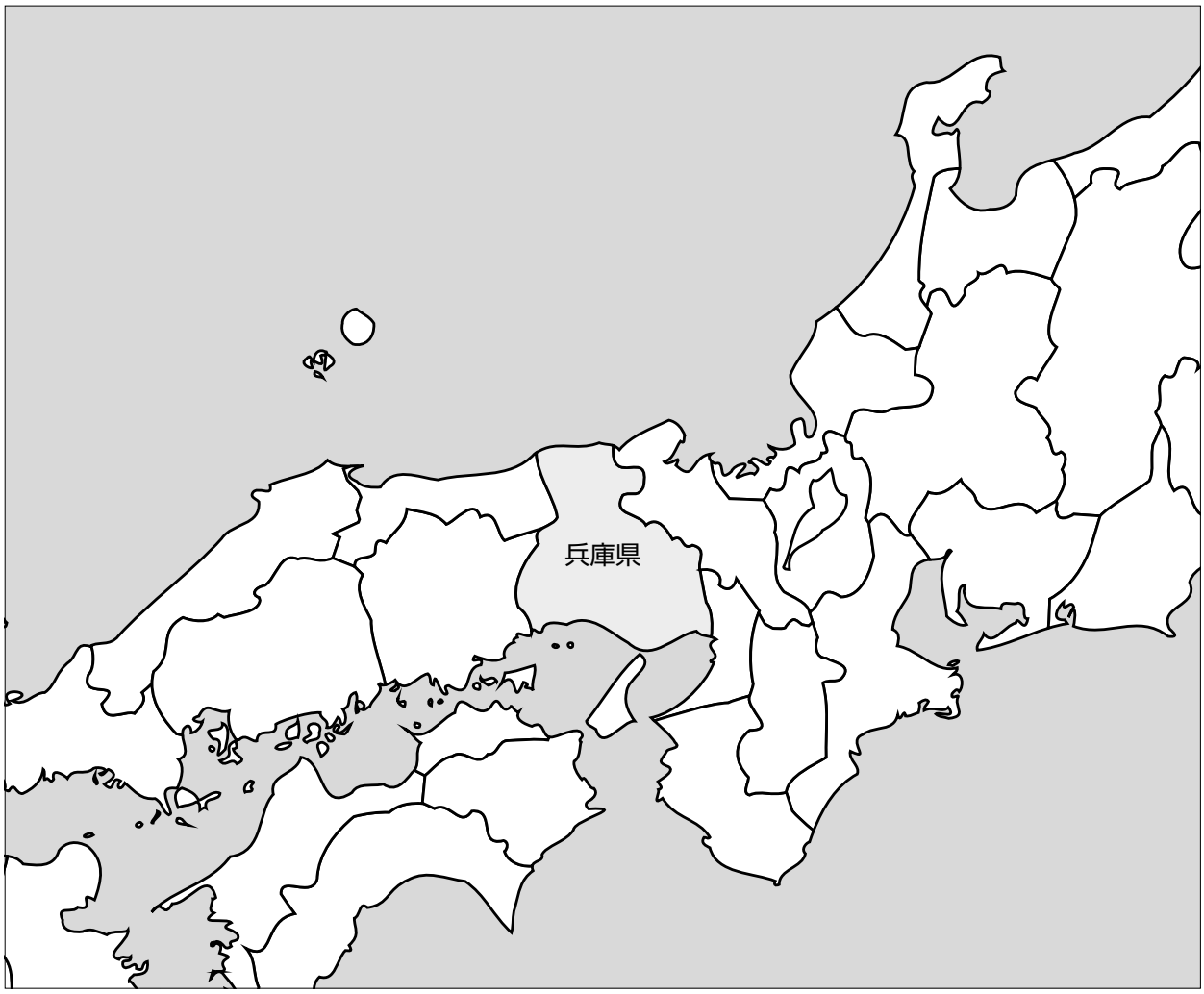
秋田県 子ども②	ヤングボランティアフォーラム
年　齢	18歳
い つ 頃	8月
ど こ で	岩手県大船渡市、田野畑村
だ れ と	約60名の高校生
どんな役割を果たしましたか？	海岸清掃
なぜ、それをやろうと思いましたか?	自分が所属している部が継続して参加している活動です。
やってどう思いましたか？	少しでも被災地に貢献できたかと思うと、幸せな気持ちになりました。
周囲の反応はどうでしたか？	被災地で行ったことを家族に話したら、父が自分もやってみたいと言っていました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	まだ完全に復興はしていないが、復興が進み、地域の元気を取り戻しつつあると思いました。
避難所であったほうがよかったもの	もっとたくさんの簡易トイレ
応援があったらやりやすかったこと	海岸に流れついた大木を寄せること

山形県 子ども①	学校ではできない対応
年　齢	19歳
い つ 頃	3月11日地震直後から13日ぐらいまで
ど こ で	宮城県気仙沼市
だ れ と	友達や後輩15人程度
どんな役割を果たしましたか？	地震直後から高台にある自分学校が臨時避難所になり、その運営などをしていました。避難所に認定されていない県立高校の体育館なので備蓄も毛布などの用意も避難所運営のマニュアルもありませんでした。そんな中で、避難者名簿の作成や、3つの場所で探しにきた避難者探し、食事つくりや配布、駐車場での交通整理、トイレの電気の見張りなど寝ずに行いました。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校の先生方が避難所運営などを取り仕切ると避難を浴びるため何もできない中、動けるのは自分たちしかいないと思いがむしゃらに行動しました。みんな親と連絡が取れず、家の状態も街の状態も、この地震の深刻さを知らず不安な中、活動していたときは怖くなりました。ですが、目の前の状況で動かなければならないという意識があったので避難者の方のために動きました。
やってどう思いましたか？	時間が経って振り返ってみるとすごくよい経験だと思っています。当時はがむしゃらに行動していたので、詳しい感情は覚えていません。文句を言われたときはいやにもなりましたが、自分がしっかりしなければならないと思いながら動いていました。
周囲の反応はどうでしたか？	近くのお店や近所の方から食べ物や水、毛布などをいただいて避難してる方々に、均等に配るの難しく文句をたくさん言われました。ですが役所の方が13日ぐらいにきて運営リーダーを避難所の方から選出して、高校生の仕事が引き継がれてから多くの方から感謝の気持ちを伝えられました。
やってよかったと思うことなど、教えてください	頻繁にごみを回収するなど衛生な環境を作るようにしたことがよかったです。学校生活では体験できないような貴重な体験ができたと思っています。
避難所であったほうがよかったもの	光るもの。余震がある中で暗闇は危険で安心できません。たくさんのろうそくやライトが必要でした。季節が冬だったので新聞で体を包み寝ました。毛布の備蓄も大切です。
応援があったらやりやすかったこと	地震直後に避難所運営のために大人が動いてほしかった。

投稿紹介

東京都 子ども①	最高の VC
年　齢	19歳
い つ 頃	3月～4月末
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	友人や後輩と
どんな役割を果たしましたか？	始めは津波の被害にあわれたご家庭の片付けを主にやらせていただきました。その後は、ボランティアセンター内で、いらしたボランティアさんに仕事を渡すというマッチングのポジションでボランティアをさせていただきました。マッチングの仕事内容は、前日に訪問するご家庭への電話、送迎の手配、ボランティア活動後の活動報告のまとめ などが主な仕事内容でした。はじめのうちはボランティアセンター中だけでの仕事でしたが、数が増えてくると、被害の大きな地域に拠点をはり、サテライトという形でボランティアのみなさんを受け入れたこともありました。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ボランティアのきっかけは、地震発生時に仙台にいたため、仙台の避難所にいた時に友人のお父さんに言われた「こういった災害時に、君は助けられる人になるのか、それとも助ける人になるのかを考えて欲しい」と言われたことが一番のきっかけです。友人のお父さんは、心臓に病気を持っているにもかかわらず、誰よりも、避難されたみなさんのために動いていました。そこで、青年である自分が動かないわけにはいかないだろうと強く思いました。こんな時だからこそ、被害の少なかった自分からみなさんを元気付けるんだ! という強い気持ちを持ってボランティアの活動を始めました。
やってどう思いましたか？	ボランティア活動を通して一番感じたことは「人の心の本当の暖かさ」です。東松島VCには北は北海道、南は九州と、まさに日本各地からボランティアに来てくださった方が沢山いました。当時は宿泊施設もなかったため、車中泊という形で、大変申し訳ないという気持ちでいっぱいでしたが、「そんなこと気にしないで!それよりも、もっと活動をやっていこう!」と何度も励まされました。自分の体を犠牲にしてでも、被災地の人を助けたいという気持ちが、本当に感じることができ、毎日感謝の気持ちでいっぱいであるとともに、絶対に行動でこの感謝の気持ちを示して行こうという気持ちになりました。
周囲の反応はどうでしたか？	現場に入っていた頃は、どこに作業をしに行っても、「ありがとうございます」という言葉は、家屋が被災されたみなさんがおっしゃっていました。ご家庭が被害に合われて、本当に苦しい中でも、笑顔で「助かりました! ありがとう」と言われることが、その後のボランティア活動の力になりました。また、マッチングの仕事をしている時は、「高校生に見えないね!しっかりしていてすごいね」と褒めていただくことが多々ありました。自分の頑張りを大人の方から認められ、褒められるということが本当に嬉しかったです。当時の自分にとっては「ありがとう」という言葉が一番嬉しかったです。
やってよかったと思うことなど、教えてください	マッチングの仕事を通して、普段の生活では学ぶことのできないような、大人の方と接する機会が多かったので、目上の方に対する接し方や話し方を学ぶことができたことができたことが良かったです。今でも電話の対応の仕方などは、よく褒められます。また、いろんな地域の方と接することができたのが本当に良かったです。東松島市は高知県と熊本県の方に入っていただいたのですが、今年の3月10日と11日に高知県で震災に関するシンポジウムで公演をさせていただく機会もいただき、本当に良かったです。
避難所であったほうがよかったもの	避難所にはお世話になりませんでした。
応援があったらやりやすかったこと	特に思いつきませんが、ボランティアセンターとしては、落ち着いていない時期には、大人数でドッと来られると、逆に混乱してしまうとは思いました。せっかくのボランティアさんに気持ちよく活動していただくためにも、大人数でこられる時はご連絡をいただけると助かると思いました。

兵庫県 からの投稿



投稿数 … 57件

兵庫県立舞子高等学校について

兵庫県立舞子高等学校（神戸市垂水区）の環境防災科は、2002年に設置された。兵庫県では阪神・淡路大震災以降、命の大切さ・助け合いのすばらしさなど、震災の教訓に学ぶ「新たな防災教育」を推進してきたが、それを高校の専門学科で展開しようというものである。以来、全国で唯一の防災専門学科として様々な側面から防災を学ぶ。地域との交流やボランティア活動も盛んで、2011年からは東日本大震災の募金活動や、被災地支援活動に積極的に取り組んでいる。

環境防災科117名のうち、57人に投稿いただいた。

参考

阪神・淡路大震災の被災状況

発生日時：1995年1月17日5時46分
震 央 地：淡路島
規　　模：M7.3　最大震度6
死　　者：6,434人／行方不明者3人

（2006年5月、消防庁調べ）

神戸市の 最大避難所数	神戸市の 最大避難所生活者数
599カ所 （1995年1月26日）	236,636人 （1995年1月26日）

（神戸市調べ）

子どもからの投稿（原文）

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
もう一度		18

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
7-8月	岩手、宮城県。	学校生徒・教員 約40人

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）
現地学生と交流
災害ボランティア

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）
5月に被災地にボランティアに行ったので、もう一度会いたいと思ったから
自分ができることをできるだけしたいと思ったから

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）
復興を、少しずつ、みんなで考えていこう、実行していこうと思った。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）
兵庫県という遠いところなので、みんなが直接行きたくても行けない。
だから、私たちにすごく期待をしていた

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）
支援について考える機会となった。
ほんの一部だが、被災地のカになれたと思う

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと

タイトル（あなたの活動にタイトルをつけるとすると）	投稿者お名前	年齢
被災者のために…		17歳

いつ頃 ※○月～○月頃	どこで ※○○県○○市・町（住所など詳しいことは書かなくて大丈夫です）	だれと ※どんな人と、何人で一緒にやりましたか？（だいたいの人数でよいです）
5月21日～5月27日（平成24年）	宮城県東松島市	兵庫県舞子高校環境防災科（40人）

①どんな役割を果たしましたか？（実際に行ったことを教えてください）
被災した家に行って、泥かきや家の掃除やお手伝いを行ったり、体育館で被災している人たちと交流を行いました。

②なぜ、それをやろうと思いましたか？（きっかけや、理由、どんな気持ちで始めたか教えてください）
報道で被災地の状況を見て、「被災者の役に立ちたい。」と思ったのがきっかけでした。それから「自分が出来ることは何か。」と思うようになりました。

③やってどう思いましたか？（やってみてどんなことを感じたのか、気持ちや思ったことなどを教えてください）
とても大変でした。泥は、固まってしまし予想以上に重たかったです。でも被災者の方の笑顔と「どうも、ありがとう。」という言葉に「やって良かった。」と思いました。

④周囲の反応はどうでしたか？（○○さんに、「□□□」と言われた、などありましたか）
スイミングスクールのコーチや友達、そして友達の保護者の方から「お疲れ様、状況はどうやった。」と言われました。

⑤やってよかったと思うことなど、教えてください。（やってみて何か気づきや発見がありましたか）
ボランティアをさせてもらって、自分自身が変われたと思いました。物や水道、電気などのライフラインを大切に扱ったり日々の生活が当たり前ではないことなどたくさんのことを学んだと思っています。後、被災者の方の笑顔も見れたので良かったと思います。

※書ききれない場合は、裏面に書いてください

避難所であったほうがよかったもの	応援があったらやりやすかったこと
軍手、スコップ、つなぎ	泥かきとそれを運ぶ作業

※投稿者のお名前はプライバシー保護の観点から記載を控えさせて頂きました。
※投稿紹介は原文のまま掲載しています。

子ども①	被災地の方の笑顔・温かさ		
年　齢	16歳	いつ頃	2012年8月9日～8月11日
どこで	宮城県石巻市・気仙沼市・東松島		
だれと	舞子高校環境防災科　40人ほど		
どんな役割を果たしましたか？	・冬水田んぼの草抜き ・中学校との交流、まち歩き、ディスカッション ・海岸清掃　・小学校追悼 ・住宅訪問　・土地の草抜き		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	テレビで震災の状況を見て、何か東北の力になりたいと思い、ボランティアに参加しました。 今までは募金しかしたことがなく、しかもそれしかできなくて…。でも舞子に入学したら直接的なボランティアができると知り、入学。そしてその思いを行動にうつしたいと思った。		
やってどう思いましたか？	体力的にもしんどいだろうというのはある程度予想していたけれど、実際やってみると、本当にしんどかった。けれど被災地の方々からの感謝の言葉や笑顔に力づけられたし、被災地の方は私たちが行った作業がほぼ日常的なものと考えると、震災の威力を感じたし、被災地の大変さを感じた。		
周囲の反応はどうでしたか？	ボランティアを行っていた所を通りかかった被災地の方々に「ありがとう」と言われました。「がんばってください」という声もいただきました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	突然被災者の方の住宅訪問に伺った時、里帰りの娘のように温かく迎えて下さった。ボランティアをしている時に「ありがとう」と言われると、すごくパワーをもらった。普段何気なく使っている「ありがとう」という言葉のありがたみや力を実感した。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども②	つながり		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月
どこで	東松島		
だれと	環境防災科3年クラス		
どんな役割を果たしましたか？	被災地で班に分かれてニーズ調査をし、実際にどろかきなどの活動		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	阪神淡路大震災のとき、生まれて間もなかったが、たくさんの人が神戸に来てボランティアをしてくれた。少しでも、恩返し出来たらいいと思った。		
やってどう思いましたか？	被災地の人、すごく前向きだった。「忘れないで」と言われ、伝えていくことの使命を感じた。		
周囲の反応はどうでしたか？	お母さんもお父さんもがんばって来なさいと送り出してくれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	忘れてはならない、伝えていくことの大切さを感じた。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども③	防災科としてのボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	5月
どこで	宮城県東松島市		
だれと	クラス全員(38人)		
どんな役割を果たしましたか？	住宅や公園にたまっていた泥を取り除いた。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	環境防災科で災害について学んでいたので、被災地のために何か役に立ちたいと思ったから。		
やってどう思いましたか？	メディアを通しただけでは分からない被災地の現状を実際に見て、1回きりの支援では終わらしたくないと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	感心された。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	実際に訪れてみないと分からないことが多いと思った。被災地で支援をさせていただいた住宅に住んでいる人とのつながりができたのは良かった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども④	二度目の被災地。震災から1年半の被災地。		
年　齢	17歳	いつ頃	平成24年8月8日～12日
どこで	気仙沼市(岩手)、東松島市(宮城)		
だれと	兵庫県舞子高校環境防災科1・2・3年(40人)		
どんな役割を果たしましたか？	津波に流された家の土台にまだ残っているガレキや雑草を取り除く作業など		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	本当にわずかだけど力になれたら良いなと思いボランティア活動をさせていただいた。		
やってどう思いましたか？	昔、この家にはあったかい家庭があったんだと思うと、本当に苦しくてたまらなかった。作業をしているとたくさんの地域の方と話す機会がたくさんできて、とてもよかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	地域の方に「ありがとう」「がんばって」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	2011年の5月のときにボランティアさせていただいたお家に今年も行かせていただいた。そのとき、わたしたちのことを覚えてくださっていて本当にうれしかった。		
避難所であったほうがよかったもの	スリッパ、体育館シューズなど		
応援があったらやりやすかったこと	なし		

投稿紹介

子ども⑤	初陣		
年　齢	17歳	い つ 頃	2011年5月中旬
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	同じクラスの人全員(39人)		
どんな役割を果たしましたか？	住宅の泥かき、交流、話を聞いたりした(地震の時の)清掃		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	理由は学校全体で支援したいというところから1か月で学年分けていこうとなりました。私にとっては初めての被災地という所に行きました。それもまだ復旧していない場所へと。		
やってどう思いましたか？	正直、バスとかで景色を見ているとツラかったです。私たちは津波のワンシーンをTVでしか見てません。だけど実際見ると目の前にはTVで見た以上に心苦しい『ナニカ』が伝わってきました。ましてや津波がおそってくる所を想像するともっと悲しいです。初めてだったのもあるけれどツラかったです。		
周囲の反応はどうでしたか？	被災者の方はとても感謝されました。私はとある家で心に地震キズをつけた少女と遊んでいて『この子は一人で誰とも遊ぶ子がいないんです。』って言われました。その時は少女もとても楽しそうで親子さんもとてもうれしそうでした。学校に帰ってきてからは英雄のように言われましたが、それはあまり嬉しくなかったです。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	復旧貢献はとても思いました。泥を取り除いている時ふあ、自分は貢献しているんだと感じることはありました。そして初めてそのような被災地に行って、初めての光景に驚いたり、感動したりとたくさんの衝撃がありました。それは被災地での思い出でもあり貴重な体験でもあったと思います。私はそれを元に周りの人に伝えたり、毎日を生きて行こうと思います。		
避難所であったほうがよかったもの	しきる物(ダンボール、発砲スチロールなど)		
応援があったらやりやすかったこと	募金とか?		

子ども⑥			
年　齢	17歳	い つ 頃	平成23年5月21日～27日
ど こ で	東松島市		
だ れ と	舞子高校生　40人		
どんな役割を果たしましたか？	どろかき作業、公園のそうじ、避難所の人と一緒にカレーを食べてお話をした、被災地の高校生と話をした、被災地の方とお話しをすること、お宅訪問		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	少しでも力になれることがあればがんばって東北の人の支えになりたいと思ったからです		
やってどう思いましたか？	自分たちの力では泥を全て取り除くことは出来ませんでしたが、私の小さい力でも被災地の役に立てることがあるということが分かりました。そして、今回だけではなくて、これから日々変わる状況の被災地で私には何ができるか考えていきたいと感じました。		
周囲の反応はどうでしたか？	家族は東北の被災地について関心を向けて私の被災地での活動をたくさん聞いてくれました。地域の人に活動報告としてみんなの前で発表してほしいと言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	東北の人とつながりを持つことができた。また、ボランティアをするということは、泥かきなどの重労働だけではなくて被災者のお話を聞いたり、一緒にごはんを食べることも大切なことなんだとおもいました。		
避難所であったほうがよかったもの	ウェットティッシュ（除菌)とかが結構必要だった。		
応援があったらやりやすかったこと	学校の支えが強くしっかりしていたので大丈夫でした。		

子ども⑦	被災地ボランティア		
年　齢	17歳	い つ 頃	4月、5月、7月～8月
ど こ で	石巻市、東松島市		
だ れ と	クラスメイトと先生　40人前後		
どんな役割を果たしましたか？	学校の溝・体育倉庫のドロかき、避難所での茶話会、住宅のドロかき・清掃、公園の清掃、学校交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災地で自分にできることを少しでもやりたいと強く思った。困っている人がいれば助けるのが当たり前だと思ったし、なんとなくではないけれど、理由はあまりない。ただ助けたい。		
やってどう思いましたか？	自分たちが被災地に入ってボランティアをしても意味があったのかと思う。やってもやってもキリがなく、ただただ無力感が大きかった。ボランティアをさせてもらったあとの「アリガトウ」がとてもうれしくて、逆にはげまされている力になった。		
周囲の反応はどうでしたか？	TVで見たよ。被災地はどうやった?などくらい。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	すべてよかったと思う。		
避難所であったほうがよかったもの	パーテーション(人をくぎるもの)		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑧	東北ボランティア		
年　齢	18歳	い つ 頃	2011年5月
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	学校の人と40人ほど		
どんな役割を果たしましたか？	どろかき、庭のどろだし、皿洗い、ニーズ調査		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	TVを見て、何かしたいと思った。そしたら環境防災科として機会を与えられたから。もし機会が与えられなかったら、絶対に行けていないと思う。		
やってどう思いましたか？	東松島の人々のあたたかさがすごく感動した。想像してたよりずっと明るく優しい人ばかり、でも「津波で人が流されていくのをじっと見ていた」などという話を聞くと、やっぱり胸の内にはいろいろと抱えているんだと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	「お前は親せき代表として東北に行ってきた」と親せきに言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	作業の途中に、家の人と話した。その当時の状況などをいろいろと語ってくれ、体験談もいろいろとお話ししていただいた。いろいろな人と話すことで東北の人を身近に感じることができ、東北がすごく好きになった。		
避難所であったほうがよかったもの	長期的な支援者。		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑨	初めての被災地支援と二度目の被災地支援		
年　齢	17歳	いつ頃	平成23年5月21日～27日、8月4日～6日
どこで			
だれと	5月21日～27日　クラス40人　教員3人、8月4日～6日　全学年希望者約30人　教員3人		
どんな役割を果たしましたか？	・被災地の人々のお宅を訪問し、ヘドロの掃除やガレキ撤去をした。 ・8月に行った時には、神戸の大学生といっしょに作業をし、東北の大学に行って、東北の大学生、神戸の大学生、舞子高校の学生と共に「8月の3日間でのボランティアでの反省や気付いたこと」についてワークショップをした。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	僕が中学の時、消防士になりたいという夢があり、舞子高校の環境防災科に入り、防災について学んでいこうと思ったからである。しかし、3月11日僕の中学校の卒業式の時に震災が起こった。そして、僕が生まれた年が1995年の阪神淡路大震災と、なぜか自分の人生の節目に震災があるような、切っても切れない災害との関わりがあると思った。だから、災害についてよく学び、被害のあた人々の力になりたいと思ったからである。		
やってどう思いましたか？	5月の時と8月の時とヘドロの量とあまり変わらず、完全にヘドロだけがなくなるにはいったい何年かかるのだろうと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	5月に作業をさせていただいたお宅で夫婦たちのやっているビニールハウスの仕事をした時に、僕ら40人のために、ジュースなどのおもてなしをしてくれて、さらに僕たち「ありがとう」とよく言ってくれた。その他のお宅の人たちにも「来てくれて本当に助かった。ありがとう。」と言っていただいた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	5月に作業をさせていただいたお宅にまた8月に訪問した時、ヘドロで埋め尽くされていた。5月のビニールハウスとは違い、美味しそうなトマトが沢山実っていた。その時に、僕たちの一人一人の力は小さいものであるけど、クラス全員で力を合わせたらこんなにも変わるのだと感じた。そして、ボランティアはやったその時だけではなく、これからも”つながり”を持ち続けると、現地の人も喜ぶし、僕も嬉しい気持ちになるのだなと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	特になし(避難所であるのに、水や電気も使えたので十分だと思った。)		
応援があったらやりやすかったこと	特になし(現地の人々やボランティア団体の人々からお例や激励をもらい十分自分の中ではやりやすいし、嬉しかった。)		

子ども⑩			
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月
どこで	宮城県東松島市		
だれと	環境防災科2年(当時) 38人		
どんな役割を果たしましたか？	民家の庭のヘドロ取り・床下の泥かき・津波でダメになった庭の木を抜く・食器洗い・家の辺りの片付けetc		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校(学科で)参加		
やってどう思いましたか？	被災地の状況を知るには、自分が現地に行って直接目で確かめることが大事。テレビや新聞ではわからないことがたくさんある。		
周囲の反応はどうでしたか？	お世話になったお宅の方に「君たちのような若い人がいれば、まだまだ日本も捨てたもんじゃない」と言っていただいた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	現在もお世話になったお宅の方と手紙のやりとりをしている。宮城のおばあちゃん→おばあちゃんが1人増えた感じ		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑪	ボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月14日～20日
どこで	宮城県東松島市		
だれと	クラス		
どんな役割を果たしましたか？	民家の泥かき、そうじ、避難所の人と交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校で募集があったから、自分にできることを頑張ろうと思った。		
やってどう思いましたか？	自分にできることはとても小さく少なかった。町の様子を見て、復興には長い時間がかかると思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	特になかった		
やってよかったと思うことなど、教えてください	高齢者が行うには力がいる作業でした。今でもつながりをもてる関係になれてよかった。		
避難所であったほうがよかったもの	スリッパ		
応援があったらやりやすかったこと	消耗品の補給		

子ども⑫	ボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月(2012年8月)
どこで	宮城県東松島市		
だれと	学校		
どんな役割を果たしましたか？	・どろかき・地域(民家)の清掃		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	いち早く、元の生活に戻ってほしいと思った。		
やってどう思いましたか？	長期的な支援を続けていきたい。高校を卒業して大学生・社会人になっても。		
周囲の反応はどうでしたか？	被災者の方々から「ありがとう。舞子高校を忘れません」		
やってよかったと思うことなど、教えてください	たとえ津波が全てのものを流しても、人々がもう一度自分のまちに住み続けたいと思っているのだと感じた		
避難所であったほうがよかったもの	個人的にノートを一冊用意して、皆の声を書いてもらう。		
応援があったらやりやすかったこと	私たちが被災地の支援を行くにあたって、食料・お金等いろんな人からの支援があった。		

子ども⑬	ボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月14日
どこで	宮城県東松島市松島町		
だれと	クラス		
どんな役割を果たしましたか？	民家の掃除、被災者のお話をきく		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災地、被災者の人のために少しでも役にたちたかったから		
やってどう思いましたか？	役にたったかわからないけど「ありがとう」と何回も言ってくれてうれしかった		
周囲の反応はどうでしたか？	わからない		
やってよかったと思うことなど、教えてください	1人にできることは少ないかもしれないが、たくさんあつまると少しは役に立てる事		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑭	被災地ボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月14日～21日
どこで	宮城県東松島市		
だれと	クラスの38人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、物置きの組み立て、庭の枯れた木の伐採、撤去		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校から行くことになったから		
やってどう思いましたか？	テレビで見ていたものと、実際にやってみたのではまったくものがちがっていて被災地の人はずっとあの片付けをするのには限界があると思った		
周囲の反応はどうでしたか？	母に頑張って少しでも被災地の役に立ってこいといわれた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	自分たちがやったことによってほんとに少しだけど、きれいになったことがよかった。これのつみかさねが大切だと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	多量の毛布		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑮	東北ボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月
どこで	宮城県東松島市		
だれと	クラスメイトと先生約40人で		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、おふろそうじ		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校で行く機会があったから		
やってどう思いましたか？	実際に目で見て、肌で感じて、においをかいで自然が怖いと感じた。ボランティアをしても、自分1人の力で何がかわるんやろ?と無力感を感じた。でも、向こうの方の感謝の言葉や、笑顔または泣き顔を見てつながっていこう、支えていこうと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	「すごいね」と言われるようになった。環防の認知度が高まった。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	たくさんの出会いがあった。つながりができた。笑顔を見れた。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑯	東北ボランティア		
年　齢	17歳	い つ 頃	4月、5月、7月
ど こ で	石巻市、東松島市		
だ れ と	40人前後		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、被災者の方との交流（老若男女の色々な人、特に中高生）		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	環境防災科で学んだ縁で東北ボランティアを行う機会があったため。		
やってどう思いましたか？	最初は、目の前の無力感を感じて、ボランティアが終了すると「もっと東北への活動をしたい」と思うようになった。		
周囲の反応はどうでしたか？	泥かきをしたお宅のおばあさんから「ありがとう」と言われた。両親から「お疲れさん」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティアをしていて、被災者の人から「遠いところからありがとう」と感謝された時		
避難所であったほうがよかったもの	電子レンジ（冷たい弁当をあたためる）		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑰			
年　齢	18歳	い つ 頃	4月、5月、8月
ど こ で	宮城県東松島		
だ れ と	クラス		
どんな役割を果たしましたか？	床下のドロかき、庭のドロかき、ちゅうしゃじょうのドロかき、窓ふき、みぞそうじ、体育館の床みがき		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	クラスでいった時は、それをやることが目的だったから。それしか私たちにできることはなかったから。そのような機会をもらうことができたから。		
やってどう思いましたか？	私たちはボランティアとして現地に2～3日しかいないけど、現地の人は復旧・復興するまで、その作業をしなければならず、できることはかぎられているんだと思いしらされた。		
周囲の反応はどうでしたか？	再訪問するうちに、孫みたいだといってもらうことができた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	このようなかたちではあるけど、現地の方とつながることができた。		
避難所であったほうがよかったもの	防音シートなどがあるといいと思った。人があるくとすごく床にひびいていたから。		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑱			
年　齢	18歳	い つ 頃	5月14日～20日
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	クラス（39名+先生）		
どんな役割を果たしましたか？	津波の被害を受けた家庭の泥かき、清掃、床はずし		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ニュースで被害をみ見て、何か現地のためにしたいと思ったから		
やってどう思いましたか？	泥かきなどたいしたことはしていないが、「日本も捨てたもんじゃない」と言っていただきとても嬉しかった。現地の様子はテレビやニュースなどとは比べものにならなかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	被災された方に「遊びたいざかりの高校生にこんなことしていただいて、日本も捨てたもんじゃない」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	災害に対する視野が広がった。気付いた点として、避難経路が山につづいていた。その道は足場が悪く、高齢者の人には大変つらい道だと思う。経路の安全性が低いと思った。		
避難所であったほうがよかったもの	多めの毛布		
応援があったらやりやすかったこと	消耗品、特に清潔を保つもの		

子ども⑲	リアル		
年　齢	18歳	い つ 頃	5/14～20、8/9～12
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	約40人		
どんな役割を果たしましたか？	民家の泥かき、津波避難場所だった公園の泥かき		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校で募集があったから		
やってどう思いましたか？	初めての被災地に圧倒された		
周囲の反応はどうでしたか？	特に		
やってよかったと思うことなど、教えてください	実際に被災地の方のお話を直接きけた。テレビで見るのとは違うリアルをみて圧倒された。		
避難所であったほうがよかったもの	栄養のある食事		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども⑳	ぼきーん		
年　齢	17歳	い つ 頃	3月21日～4月1日
ど こ で	兵庫県神戸市		
だ れ と	地元の中高生30人以上		
どんな役割を果たしましたか？	募金をしてしもらった。声を出したり、チラシ配り。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	何か役に立ちたかった。お金はいると思うし、神戸の震災のお返しをしたかった。		
やってどう思いましたか？	みんな温かいと思った。このお金と一緒に気持ちも届くように願った。		
周囲の反応はどうでしたか？	お金を入れてくださった方が「ありがとう」「がんばってね」など		
やってよかったと思うことなど、教えてください	日本の為に力になれてよかった		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉑	初めて目の当りにした現実		
年　齢	18歳	い つ 頃	4月、5月半ば、今年8月
ど こ で	宮城県東松島市松島町		
だ れ と	クラスと先生40人		
どんな役割を果たしましたか？	どろかき、食器洗浄、水に浸かった庭の木を抜く、がれき運び、床下のそうじなど		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	依頼があったから。		
やってどう思いましたか？	同じ日本に住んでいるのに、どうしてこんなにもちがうのだろうか。どうして自分はこんなに無力なのだろうか。		
周囲の反応はどうでしたか？	テレビを見て、よく頑張ったね、と。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	行かなきゃ知らなかった、分からない現実が、そこには沢山あった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉒			
年　齢	18歳	い つ 頃	2011年5月
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	クラスのメンバー（37人）		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、庭そうじ、交流（お話）		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	2011年3月11日に家のテレビで見ていた。その時、何ができるのか考えていたが何も思いつかなかった。学校から行くかどうかという話をしてもらって、行くと決めた。		
やってどう思いましたか？	自分一人で活動しても、ほとんど役に立てない。けど何人かで協力すると、少しづつ大きな力になった。けど、本当に役に立っていたのかはわからない。自己満足だったのかもしれない。		
周囲の反応はどうでしたか？	「東北に行った人?すごいな」とすごくないのに言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	仲間の大切さを改めて感じた。被災地の人が笑顔になってくれた時があって嬉しかった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉓	東日本ボランティア		
年　齢	17歳	い つ 頃	5月
ど こ で	宮城県		
だ れ と	クラスメイト40人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、家の中の掃除		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	大変な被害をTVで見ていて、たまたま学校でボランティア募集を呼びかけていて自分も力になりたかったから		
やってどう思いましたか？	ボランティアが足りない		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	自分が力不足。		
避難所であったほうがよかったもの	重機		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉔	人の強さ、あたたかさ
年　齢	18歳
い つ 頃	5月中旬
ど こ で	宮城県東松島
だ れ と	クラスみんなと
どんな役割を果たしましたか？	避難所の方との交流。おじいちゃん、おばあちゃんとのお話し、子どもと遊ぶ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	クラス全員の時、私は足が折れていたのでドロかきできなかったので。
やってどう思いましたか？	避難所にいる方は想像以上に元気だった。しかし、そういった人たちにも、震災での辛い体験、思いがたくさんある。私はこの人たちのために何ができるのだろう?私はいるいみあるんかな。と思うことは多々あった。
周囲の反応はどうでしたか？	“あなたに話を聞いてもらえてスッキリした”“あなたに会えて良かった”という言葉
やってよかったと思うことなど、教えてください	上の言葉を聞いて、本間に自分やってよかったなあって思った
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㉕	すべて
年　齢	18歳
い つ 頃	5月中旬
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	クラス全員40人
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、ガレキ撤去、皿洗い、枯れた木をぬく
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校でボランティアに絶対行くと決まったのがきっかけ。自分が何かできるならやりたいと思った。
やってどう思いましたか？	自分の無力さを感じた。人の温かさを実感することができた。
周囲の反応はどうでしたか？	色んな人からすごいねーとほめてもらった
やってよかったと思うことなど、教えてください	すべてよかったと思う。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㉖	
年　齢	18歳
い つ 頃	5月頃
ど こ で	東松島市
だ れ と	クラスの皆と40人くらい
どんな役割を果たしましたか？	どろかき
なぜ、それをやろうと思いましたか?	やりたかったから
やってどう思いましたか？	自分の力はとても小さいと思った。
周囲の反応はどうでしたか？	住民にありがとうと言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	少しでも被災地の役に立ててよかった。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㉗	ちりも積もれば山となる
年　齢	18歳
い つ 頃	5月と7月
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	学校のクラス名と40人弱
どんな役割を果たしましたか？	ヘドロとり、家具洗い
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校で行ったから。
やってどう思いましたか？	つらかった。
周囲の反応はどうでしたか？	すごいねっていわれた
やってよかったと思うことなど、教えてください	他人事に思えなくなった。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㉘	つながり		
年　齢	18歳	いつ頃	2011年5月
どこで	東松島		
だれと	環境防災科3年クラス		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、学生交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?			
やってどう思いましたか？			
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	つながりができた。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉙	東北とのつながり		
年　齢	18歳	いつ頃	①2011.5②2011.7③2011.8
どこで	①③宮城県東松島市②岩手県釜石市・宮古市、宮城県気仙沼市、東松島市		
だれと	①クラスのみんな約40人②学校の有志約40人③友人と2人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、中高生と交流、写真の洗浄		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	3月11日になにかしたいと思ったけど、何もできなかったので、できるチャンスをもらえたから。		
やってどう思いましたか？	東北の人の強さ、優しさ、温かさなどが逆に勇気をくれたので、これからもつながり続けたいと思う。		
周囲の反応はどうでしたか？	色々な人にすごいなあと言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	小さな力でも、少しずつ復興の力になれると感じたけど、続けていかないといけないと感じた。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉚	未完成		
年　齢	18歳	いつ頃	5月上旬、8月中旬
どこで	宮城県石巻市と東松島市		
だれと	クラスの生徒と先生41人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、そうじ、雑草抜き、ゆか板はがし		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	きっかけは環境防災科の日頃のボランティア活動の一環として、初めは少し不安な気持ちで取り組みました。		
やってどう思いましたか？	少しでも役に立ったと思いますが、まだまだ完璧にボランティア活動を実行することができませんでした。		
周囲の反応はどうでしたか？	とりあえず、「大丈夫か?」と言われました。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティア活動全般です。しんどかった活動内容もありましたが、担当した人との関係や地域での関わりを持つことができたので良かったです。		
避難所であったほうがよかったもの	マスク、防寒器具		
応援があったらやりやすかったこと	家具の整理、広い敷地における雑草抜き		

子ども㉛	東北ボランティア		
年　齢	18歳	いつ頃	4月、5月、8月中旬、8月下旬
どこで	宮城県石巻市・東松島市、岩手県釜石市		
だれと	20人、40人、40人、2人、40人		
どんな役割を果たしましたか？	小中学校再開の手伝い、ドロかき、草抜き、まつりの手伝い、交流、ニーズ調査		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	東北のことをテレビや新聞でみて少しでも力になりたいと思った		
やってどう思いましたか？	自分の力は小さいけれど、少しでも力になりたいと思った。またこれからも関わり続けたい。		
周囲の反応はどうでしたか？	実際に行ってみての感想を聞かれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	ボランティア先で新たな出会いがあり、今もずっと連絡をとっている。		
避難所であったほうがよかったもの	プライベートを少しでも守るため、段ボールなどの仕切り		
応援があったらやりやすかったこと	(ガレキ撤去)ドロかきにはもっと人数が必要		

子ども㉜	必死の泥かき		
年　齢	18歳	い つ 頃	2011.5.14-20
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	39人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、庭そうじなど		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	私たちの力で何かでいることはないかと感じて。		
やってどう思いましたか？	1日でやっと1つの家の床下をとることができた。これを現地の人が毎日していると思うと何とも言えない気持ちになった。		
周囲の反応はどうでしたか？	ボランティアに行けない人たちから「私たちの気持ちも一緒にもっていってね」と言われた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	テレビや新聞では感じることのできない被災地のにおいや東松島市の方々のあたたかさにふれることができた。		
避難所であったほうがよかったもの	女の人用の生活用品		
応援があったらやりやすかったこと	物置き倉庫をどけて、その下のドロをとれたと思う		

子ども㉝	ボランティア		
年　齢	18歳	い つ 頃	11.5月
ど こ で	宮城県松島		
だ れ と	クラスの人40人程		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、どのう運び		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災者の方々が必要としていたため。		
やってどう思いましたか？	達成感があったが、小さなことだと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	部活の人たちは応援してくれた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	活動は小さなことだったけれど、力になれたと思う。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと	活動全て		

子ども㉞			
年　齢	17歳	い つ 頃	5
ど こ で	石巻市		
だ れ と	学校40人		
どんな役割を果たしましたか？	どろかき、床板はずし、石灰まき		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	阪神淡路大震災の時助けてもらったし、助けたかった。		
やってどう思いましたか？	高校生の私たちでもできる事があるのだとわかった		
周囲の反応はどうでしたか？	復旧に向けてのわずかなことですが、ありがとうと喜んでもらえた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	全て		
避難所であったほうがよかったもの	特に不便はしてません		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㉟	被災地支援		
年　齢	18歳	い つ 頃	H23.5/14-5/20
ど こ で	兵庫県		
だ れ と	クラスのみんな38人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、民家の清掃		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	クラスで支援を行うということで、精一杯自分のできることをしました。		
やってどう思いましたか？	どんな小さな支援でも被災地に役立てていること		
周囲の反応はどうでしたか？	わからない		
やってよかったと思うことなど、教えてください	民家の泥の除去を行っていました。終わった後に、「ありがとう」と声をかけてくださったことがとても嬉しかったです。		
避難所であったほうがよかったもの	暖房器具		
応援があったらやりやすかったこと	土のう運び		

子ども㊱	東北ボランティア		
年　齢	18歳	い つ 頃	2011.5
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	クラス全員39人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かきやそうじの手伝い		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	クラスで行く機会があったから		
やってどう思いましたか？	行かないと分からないことはたくさんあると思った。様々な視点からものをみないといけないと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	災害、防災に対する見方がかわった。もっと防災を考えるきっかけになった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊲	東日本大震災を通して		
年　齢	16歳	い つ 頃	平成23年5月21～27日
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	県立舞子高校環境防災科40名		
どんな役割を果たしましたか？	被災された自宅での泥かき、清掃		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	東日本大震災のニュースを見て、何か自分にも出来ることは無いかと考えたから		
やってどう思いましたか？	片づけても、とても片づけきれずに被害の大きさを改めて実感した		
周囲の反応はどうでしたか？	全ておわった時に、「ありがとう」と言われた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	テレビで見ることが多かったが、実際にボランティアを行うと、少しだけ現地の大変さを理解できた。		
避難所であったほうがよかったもの	ダンボール、非常持ち出し袋		
応援があったらやりやすかったこと	土のう袋を運ぶとき		

子ども㊳	ボランティア！！		
年　齢	17歳	い つ 頃	2011年5月頃、2012年8月頃1週間ずつ
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	2011年は環境防災科40名、2012年は環境防災科20名		
どんな役割を果たしましたか？	ヘドロなどの除去作業、被災者との交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	最初はみんな行くし行こうと思って。2回目は、なにかもう少し役に立てることがあればと思って。		
やってどう思いましたか？	つらい話を聞いて悲しかったが、伝えていって、次このようなことがなければと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	「ありがとう」と言われたこと。役に少しでもたてたこと。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊴	1週間のボランティア。		
年　齢	17歳	い つ 頃	H23.5.21-27
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	40人		
どんな役割を果たしましたか？	どろかき。現地の方との交流。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?			
やってどう思いましたか？	頑張るうちにきれいに元の様子に復旧するお手伝いができて、うれしかった。		
周囲の反応はどうでしたか？	「ありがとう」「お世話様です」等のおことばを頂いた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	公園のどろかきをして、小さい子などが遊べるようになった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊵	東日本大震災復興ボランティア
年　齢	17歳
い つ 頃	H24.5　1週間
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	学校でクラスの人と
どんな役割を果たしましたか？	ほとんどヘドロの除きょ
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校で行くことになったから。役に立てるのでうれしいと思った。でも不安も大きかった。
やってどう思いましたか？	少しでも役に立てて、うれしかった。やりがいがあった。
周囲の反応はどうでしたか？	家族におつかれ様と言われた。
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災者の人の気持ちに少し近づけたと思う。
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊶	東日本支援行動
年　齢	17歳
い つ 頃	5月
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	クラスのみんな
どんな役割を果たしましたか？	ドロかき、がれきのてっきょ、交流
なぜ、それをやろうと思いましたか?	もとから行きたかったが、学校で行くとなったので
やってどう思いましたか？	40人が参加したのに、ぜんぜん作業が進まなかった。床下のドロかきはしにくかった
周囲の反応はどうでしたか？	家族にほめられたが、ほめられるために行ったんじゃないからふくざつだった。
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災者との交流、ドロかき
避難所であったほうがよかったもの	くぎり
応援があったらやりやすかったこと	ボランティアの人数がまだまだ少なかった

子ども㊷	東北ボランティア
年　齢	17歳
い つ 頃	2011年5月
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	クラスメイトと40人で
どんな役割を果たしましたか？	ヘドロを土のう袋に入れた。
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校の行事
やってどう思いましたか？	被害の大きさを実感した。
周囲の反応はどうでしたか？	
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災者の方から「ありがとう」と言われ実感や喜びが湧いた
避難所であったほうがよかったもの	ラジオ
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊸	東日本大震災復興支援
年　齢	17歳
い つ 頃	8月
ど こ で	宮城県東松島市
だ れ と	学校の人達40人くらい
どんな役割を果たしましたか？	支援
なぜ、それをやろうと思いましたか?	少しでも力になりたいと思ったから。
やってどう思いましたか？	やってよかったと思った。これからもかかわりつづけていきたい。
周囲の反応はどうでしたか？	
やってよかったと思うことなど、教えてください	
避難所であったほうがよかったもの	
応援があったらやりやすかったこと	

子ども㊹			
年　齢	17歳	い つ 頃	平成24年5月21日～5月27日
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	舞子高校		
どんな役割を果たしましたか？	ドロかき、交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ちょっとでも被災者のためにちょっとでも力になりたかったから		
やってどう思いましたか？	大変だと思った		
周囲の反応はどうでしたか？	とくになかった		
やってよかったと思うことなど、教えてください	交流、仲が深まった		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊺			
年　齢	17歳	い つ 頃	5月21日～27日
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	環境防災科40人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、被災地での交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	被災者のためにできること		
やってどう思いましたか？	泥かきは大変だと思った		
周囲の反応はどうでしたか？	特になかった		
やってよかったと思うことなど、教えてください	公園での泥かき		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊻	力		
年　齢	17歳	い つ 頃	H24.5.21-27
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	環境防災科40名		
どんな役割を果たしましたか？	ヘドロかき(個人のお宅・個人の畑・公園や溝)		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	何か高校生も役にたてれたらなと…		
やってどう思いましたか？	私たちがしたことはほんの小さなことだと思うけれど、その小さな力でも東北の人の力になれてよかった		
周囲の反応はどうでしたか？	友達に「おつかれ」		
やってよかったと思うことなど、教えてください	「ありがとう」と「笑顔」の大切さ		
避難所であったほうがよかったもの	いす		
応援があったらやりやすかったこと	お金の支援		

子ども㊼	つながり支援		
年　齢	17歳	い つ 頃	5月21日～27日
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	兵庫県立舞子高等学校環境防災科40名		
どんな役割を果たしましたか？	どろかき、被災した老人ホームに花を届けた		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	花を届けたのは、少しでも被災した人の生の声を聞きたかったから		
やってどう思いましたか？	花を見ただけでこんなに元気になるもんなんだと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	「大変でしょう、ありがとう」ってどろかきの時に言われた。被災した人の方が大変なのに元気づけられた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	すべて。話を聞くだけでも気持ちが楽になったと言ってもらえてうれしかった。		
避難所であったほうがよかったもの	小さいスコップ、くわの手		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊽	ボランティア		
年　齢	17歳	いつ頃	平成24年5月21日～5月27日
どこで	宮城県東松島市		
だれと	環境防災科40人		
どんな役割を果たしましたか？	公園での泥かき		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	何か役に立とうと思って始めた。		
やってどう思いましたか？	テレビでみるより被害がひどくてとても悲しくなった。		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	東北のみなさんにありがとうといわれたからうれしかったからやってよかったと思った。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊾	自分が人のためにできたこと		
年　齢	16歳	いつ頃	平成24年5月21日～5月27日
どこで	宮城県東松島市		
だれと	環境防災科40人		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、がれきの撤去など		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ボランティアセンターからの要請		
やってどう思いましたか？	達成感を感じた。		
周囲の反応はどうでしたか？	家の方に「ありがとう」といわれた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	人への思いやりがわかった。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊿			
年　齢	17歳	いつ頃	2012.8.8-8.12
どこで	宮城県		
だれと	40人くらい、環境防災科と普通科の希望者		
どんな役割を果たしましたか？	中学生と一緒に冬水田んぼでくさぬき、かせつ住宅の人とさわ会、去年ボランティアしたおたくの人との再会。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	また行きたいと思っていたし、行けるチャンスがあったから。		
やってどう思いましたか？	とてもよかったと思う。会えてうれしかった。		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	子どもとふれあって、子どもの様子がらんぼう的だったり、ストレスがたまってるんだなぁと感じた。		
避難所であったほうがよかったもの	子どもがあそべる場所		
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊿①	東日本大震災ボランティア		
年　齢	17歳	いつ頃	2011年5月21日～5月27日、2011年8月～8月初め
どこで	宮城県東松島市松島町		
だれと	環境防災科40人		
どんな役割を果たしましたか？	東松島市松島町で泥かきをしました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	ずっと支援したいと思っていて、このボランティアをクラスですることになったので、やりました。		
やってどう思いましたか？	被災者の方々に感謝されとても良かったと思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？	友達や家族に被災地はどんな感じなのかを聞かれた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災者の人に「ありがとう」という言葉をもらったこと。避難所での集団生活の大変さ。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊷	東北ボランティア		
年　齢	17歳	い つ 頃	5月21日から27日
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	兵庫県立舞子高校環境防災科10期生40名		
どんな役割を果たしましたか？	昨年の5月にも行かせていただいたときは震災からまだ2か月あまりしかたっていなくて、まだ手がつけられていない所もありました。私たちはその中でお家のヘドロかきをさせてもらいました。		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	少しでも被災地の力になりたくて行かせてもらいました。		
やってどう思いましたか？	私たちがしたことは被災地が復興するのにとても微力ですが、少しでも力になったらと思いました。		
周囲の反応はどうでしたか？			
やってよかったと思うことなど、教えてください	現地の人に心からありがとうといってもらえたときは本当にやってよかったと思いました。		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊸	大失敗		
年　齢	17歳	い つ 頃	2011年5月頃
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	クラスの人と40人ぐらい		
どんな役割を果たしましたか？	被災したお宅に行かせてもらって床板はがし、くぎ抜き、泥かき、交流		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	行かせていただく機会を学校でつくってもらったので被災地に行ってどんなことでも活動したいと思った。		
やってどう思いましたか？	被災地の現状を知ることができ、被災者の方の話を聞くことができたが、自分たちにできることも限られているがその中でもやっていきたいと思えた。		
周囲の反応はどうでしたか？	被災地の現状を知りたがっていた。		
やってよかったと思うことなど、教えてください	すごくいい経験ができた。被災者の声も一部だとしても聞くことができた。一つ大きな失敗をしてしまい、コミュニケーションの大切さを再度確認することができた。		
避難所であったほうがよかったもの	体温調整が出来るもの。		
応援があったらやりやすかったこと	大きな物の移動など		

子ども㊹	東日本大震災復興支援		
年　齢	17歳	い つ 頃	8月
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	兵庫県立舞子高等学校		
どんな役割を果たしましたか？	泥かき、会話		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	何か助けになりたい		
やってどう思いましたか？	被災者の気持ちを多く知った		
周囲の反応はどうでしたか？	危険じゃないのか		
やってよかったと思うことなど、教えてください	TVでは伝わらない人の気持ちや現状が分かった		
避難所であったほうがよかったもの			
応援があったらやりやすかったこと			

子ども㊺	被災地ボランティア		
年　齢	18歳	い つ 頃	5月頃
ど こ で	宮城県東松島市		
だ れ と	クラスメイト約40人		
どんな役割を果たしましたか？	被災地の住宅の清掃		
なぜ、それをやろうと思いましたか?	学校で募集があったから		
やってどう思いましたか？	被災地に実際に行ってみて、被害の大きさを実感し、これからもボランティアを続けようと思った。		
周囲の反応はどうでしたか？	中学の同級生にすごいと言われた		
やってよかったと思うことなど、教えてください	被災地の状況を知れてよかった		
避難所であったほうがよかったもの	多めの毛布		
応援があったらやりやすかったこと			

震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト
報告書

発行日：2013年4月

発　行：公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047
東京都千代田区内神田2-8-4　山田ビル4F
TEL. 03-6859-0070
FAX. 03-6859-0069
http://www.savechildren.or.jp/



震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト
こども☆はぐくみファンド

主催：公益社団法人　セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

実施：一般財団法人　地域創造基金みやぎ

後援：文部科学省・復興庁・青森県教育委員会・秋田県教育委員会・岩手県教育委員会
宮城県教育委員会・山形県教育委員会・福島県教育委員会・仙台市教育委員会
財団法人 児童健全育成推進財団・特定非営利活動法人 いわて連携復興センター
みやぎ連携復興センター・一般社団法人 ふくしま連携復興センター